

第2回キャビネット会議

2015-2016年

報告事項Ⅱ

複合地区ガバナー協議会議長会議要録

- 開催日：2015年11月21日（土）
- 日 程：名誉顧問会登録受付／13:00～13:30
名 誉 顧 問 会／13:30～14:30
キャビネット会議登録受付／14:00～14:30
キャビネット会議／14:40～18:00
【分科会】／16:20～17:10
懇 親 会／19:00～20:30
- 会 場：キャビネット会議／至誠館大学（萩市）
懇 親 会／エスカイヤ城門



ライオンズクラブ国際協会 336-D地区
キャビネット事務局

報 告 事 項

- I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 矢 野 敏 明
1. 第2回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 (報告事項P. 1~5)
 2. 336 複合地区第1回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項P. 6~9)
 3. 日本ライオンズ連絡事務所・ライオン誌事務所移転案内 (報告事項P. 10~11)
 4. LCI 研修会のご案内 (報告事項P. 12~13)
 5. 第23回世界スカウトジャンボリーのご報告と御礼 (報告事項P. 14)
 6. 国際本部からの到着文書
 - ① 2015-2016年度アワード受賞基準について (報告事項P. 15~20)
 - ② メルビン・ジョーンズ墓地整備への寄贈の御礼 (報告事項P. 21)
 - ③ 滞納金を理由とする活動停止に関する規定変更について (報告事項P. 22)
 - ④ 講師育成エクセレンスシリーズについて (報告事項P. 23)
 - ⑤ 国際会長からのメッセージ (地区ガバナー宛) (報告事項P. 24~27)
 - ⑥ 国際会長からのメッセージ (会員宛) (報告事項P. 28~32)
 - ⑦ LERDER NETWORK (報告事項P. 33~40)
 - ⑧ ニュースワイヤー (報告事項P. 41~44)
 - ⑨ MEMBERSHIP PULSE (報告事項P. 45~46)
 - ⑩ 百周年記念ニュースレター (報告事項P. 47~49)
 - ⑪ LCIF 関連情報 (報告事項P. 50~54)
 7. 日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書
 - ① LCIF 拠出金一覧表 (2015年7~9月分) (報告事項P. 55~60)
 - ② LCIF 創設50周年記念献金 (後期) 資料 (報告事項P. 61)
- II. FWT エリアリーダー 松 前 龍 宗
1. 全日本 GMT・GLT・FWT・100周年実行委員会合同会議要録 (報告事項P. 62)
- III. LCIF コーディネーター 松 尾 敏 弘
1. LCIF 理事長公式訪問並びにセミナー開催報告 (報告事項P. 63~64)
- IV. GLT コーディネーター 竹 下 雅 雄
1. 第1回複合地区 GLT コーディネーター会議要録 (報告事項P. 65~68)
- V. FWT コーディネーター 松 尾 ヒ デ 子
1. 全日本女性シンポジウム報告 (報告事項P. 69~70)
- VI. 百周年記念コーディネーター 井 上 亮 二
1. 第1回地区百周年記念コーディネーター会議要録 (報告事項P. 71~72)
 2. 336 複合地区会員増強プロジェクト会議要録 (報告事項P. 73~75)
- VII. 会則・運営マニュアル編集委員長 岡 村 聖 爾
1. ライオンズ必携<第55版>主な改訂箇所一覧 (報告事項P. 76~89)

- VIII. PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長
池田 康彦
1. 第1回準地区IT委員長連絡会議要録 (報告事項P.90~92)
- IX. YCE・国際関係委員長
別所 清平
1. 第1回複合地区YCE委員長連絡会議要録 (報告事項P.93~95)
2. 第1回準地区YCE委員長連絡会議要録 (報告事項P.96~99)
- X. 大会参加・迎接・プロトコール委員長
福永 栄一
1. 第1回複合地区国際大会委員長連絡会議要録 (報告事項P.100~103)
2. 福岡国際大会について(太平洋アジア課からの文書) (報告事項P.104~105)
3. 第54回OSEALフォーラム(バンコク)参加者名簿 (報告事項P.106~108)
- XI. 環境保全・保健福祉委員長
坂根 勝
1. 平成27年度献血推進団体との意見交換会報告 (報告事項P.109~111)
- XII. ライオン誌日本語版委員
寺越 慎一
1. 第1回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項P.112~115)
2. 第2回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項P.116~118)
3. 第3回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項P.119~121)
4. 2014-15年度ライオン誌日本語版事務所監査委員監査報告書 (報告事項P.122~123)
- XIII. 2014-2015年度日本レベル監査委員
坂根 勝
1. 2014-2015年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告書 (報告事項P.124~129)
2. 2011-2015年度東日本大震災義捐金口座会計報告書 (報告事項P.130~136)
3. 2014-2015年度日本ライオン誌日本語版事務所会計報告書 (報告事項P.137~142)
- XIV. 336複合地区元協議会議長
松前 龍宗
1. スカウトジャンボリー世界大会報告
岡村336-D地区元地区ガバナー(現336複合地区会則・運営マニュアル編集委員長)からの提案で第23回スカウトジャンボリー世界大会支援がガバナー協議会で検討され採択、8複合地区議長連絡会議でも承認され全国のライオンズクラブから支援いただくことになりました。寺越議長、渡部議長と引継され、全日本ライオンズからの支援金は2015年9月末現在50,110,920円となっております。
その支援金にてタープテント2,190張、ガスコンロ2,400個を寄贈し、本年7月28日~8月8日、日本で44年ぶりの世界大会は成功裏に無事終了いたしました。
MD336各クラブのご支援に感謝し、報告いたします。

(2015-2016年度)

第2回複合地区ガバナー協議会議長会議要録

- ◎ 日時: 2015年8月26日(水) 13:30-16:30
- ◎ 会場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ◎ 出席者:
- | | |
|---------------|-------------|
| 330 複合地区協議会議長 | 近藤正彦 (世話人) |
| 331 複合地区協議会議長 | 佐々木 忠康 |
| 332 複合地区協議会議長 | 阿部 一茂 |
| 333 複合地区協議会議長 | 石崎義夫 |
| 334 複合地区協議会議長 | 印田 毅 (副世話人) |
| 335 複合地区協議会議長 | 白山慶三 |
| 336 複合地区協議会議長 | 矢野敏明 (副世話人) |
| 337 複合地区協議会議長 | 藤井勝彦 |

[ゲスト]

- | | |
|-----------------|------------|
| 国際理事(2014-2016) | 西川 義規 |
| 国際理事(2015-2017) | 佐藤 宜之 |
| 国際理事(2015-2017) | 安井 克之 |
| 国際理事会アポインティ | 鈴木 誓男 |
| LCIF 国際理事 | 栢森 新治 <欠席> |

[関連案件ゲスト]

- | | |
|-----------------------|-------|
| 第99回福岡国際大会ホスト委員長 | 不老 安正 |
| 2020 東京オリンピック・パラリンピック | 山浦 晟暉 |
| LCIF エリアコーディネーター | 桜井 孝一 |
| FWT 会則地域副リーダー | 河合 悦子 |
| 2016-2018 国際理事候補者 | 中村 泰久 |

13:30 近藤世話人により開会。議事に先立って、第54回 OSEAL フォーラムの PID ポンサック・フォーラム委員長一行の紹介あり。西川国際理事、佐藤国際理事、安井国際理事、鈴木理事会アポインティから挨拶あり。

◎ 議 事:

1. 国際理事および理事会アポインティからの最新情報

西川国際理事およびホノルル大会で選出された佐藤国際理事ならびに安井国際理事から挨拶と報告あり。最新情報は次のとおり。

- 2016-2017国際副会長には次の2名を国際協会が推薦する。
 - ▶ 第二副会長候補者: グッドラン・イングバトラー元国際理事(アイスランド)
 - ▶ 第三副会長候補者: ^{ジャン・ユンク}崔重烈元国際理事(韓国)
- 2016年福岡国際大会への参加協力。
- 山田国際会長メッセージ確認。クラブ強化への青写真、クラブ向上プロセス、子供の尊厳ウィーク(8月30日~9月5日)の実施。
- 山田国際会長テーマのDVDが各地区ガバナーに送付済み。公式訪問等で活用する。
- 8月執行委員会でガバナーの空席に対する任命。故・竹本純一 337-B 地区ガバナーの後任には、桑崎陽彦キャビネット幹事が任命された。

- 会長が各役職者 (GMT/GLT/FWT 含む) および 2016 年地区ガバナーエレクト・セミナーのグループリーダーを任命した。
- 長期計画委員会では新たな戦略プランの概要が承認され、今後各エリアフォーラムにおいて意見の聴取が行われる。キューバへのライオンズ再結成に関する審議、100周年に向けての計画等の審議あり。
- 新体制の LCIF 理事会第 1 回目が開催。これまでよりも交付金申請の機会が増えることになる。
- 今年度の会長アワードについては後日案内される予定。前年度の会長アワードのうち、RC と ZC のリーダーシップ・メダルは確定との連絡あり。
- ライフ・ジャケットにライオンズのロゴマークを付ける件は、ライオンズのプロジェクトや PR のためにロゴマークのついた物品を制作し使用する場合と同様、規定の書式により国際本部に申請する。使用可が下りた場合には、ロイヤリティの支払いが免除される。
- 地区ガバナー経費請求書とその規定が改定された。今年度から新しい書式で経費を請求する。
- メルビン・ジョーンズの墓所修理に日本のライオンズから2万ドルが寄贈されることになり、事務総長から感謝の手紙が発信された。
- 2016年1月に LCI 研修会が予定され、シカゴ国際本部での第二回目開催の運び。

2. 第54回 OSEAL フォーラムへの参加協力(12月3日～6日バンコク)

ポンサック・フォーラム委員長から、バンコクフォーラムへの参加協力依頼と、フォーラム行事や登録キット、フォーラム本部ホテルの予約についての説明あり。

- 12月4日開会式後に、日本の国際理事候補者レセプションと福岡国際大会レセプションが開催される予定。
- フォーラム登録は9月15日まで110米ドル、9月15日を過ぎると120米ドルとなる。
- 登録キット(カバン、フォーラムブック、名札、バッジ、クーポン券など)は用意する数に限りがあるので、事前登録をお願いする。
- ステアリング委員である国際会長、国際理事、理事会アポインティ、協議会議長には、フォーラム委員会がバンコク国際空港に出迎えの車を用意する。役員のアフライト情報を連絡事務所で取りまとめ、委員長へ送る。
- フォーラム委員長から、バンコクの安全を保障するとの発言あり。

質疑応答あり。詳しい登録方法などは後日連絡事務所へ送付される予定。

3. 第99回国際大会早期登録のお願い(2016年6月24日～28日福岡市)

不老ホスト委員長から、大会早期登録のお願いとホテル予約の説明あり。資料配布。

◎登録者数(案)

MD330	3,000 名	MD334	6,000 名
MD331	2,000 名	MD335	5,000 名
MD332	2,000 名	MD336	5,000 名
MD333	2,000 名	MD337	10,000 名
		日本合計	35,000 名

国際本部が 6,000 室を確保している。

大会本部ホテルは、国際会長用の部屋を差し引いた分が日本の各 MD に割り当てされる。

4. LCIF セミナー開催への協力依頼(10月15日(木)於:ホテルニューオータニ)

桜井 LCIF エリアコーディネーターから、ジョー・プレストン LCIF 理事長来日とセミナー開催への協力依頼あり。資料配布。

(1) プレストン理事長のスケジュールは10月12日来日、10月17日離日の予定となっており、10月15日東京1か所で公式訪問並びにセミナーが開催される。

公式訪問並びにセミナー(2部) レセプション・MJF に感謝し称える会(案)

- 開催日時: 2015年10月15日(木)
13:20~14:00 受付
14:00~16:00 セミナー
17:00~19:00 レセプション・MJF に感謝し称える会
- 開催場所: ホテルニューオータニ東京(ガーデンタワー宴会場階「鳳凰の間」)
- 登録料: 一人15,000円
- 参加要請数: 300名
- 9月7日付け開催案内を発信。9月25日までに集約(準地区→複合地区→LCIF 日本事務所)、10月7日までに集金(準地区→複合地区→LCIF 日本事務所)をお願いする。

(2) プレストン理事長の希望により、LCIF 交付金支援先の山形県 332-E 地区および東日本大震災復興状況視察として宮城県 332-C 地区を訪問する。MD332 阿部議長に協力依頼あり。了承。

(3) 2015年8月20日付け山田国際会長およびプレストン LCIF 理事長連名の書簡配布。8月8日から10日まで、新体制となった LCIF の第一回理事会会議が開催され、財団に深い知識と経験を持つ理事により専任の理事会ができた。LCIF がさらに人道支援を行うためには、安定した支援が必要となる。従来の MJF 献金に加え、日本のライオンズ会員全員が毎年献金会員(20ドル、50ドル、100ドル)となるよう協力依頼あり。献金会員の累進加算により、千ドル単位で PMJF ピンが交付されるとの新しい寄付プランの概要が説明された。

5. 2016-2018国際理事候補者の紹介

8月4日に行われた第1回国際理事候補者選挙管理委員会で、MD330 中村泰久候補者が全日本の推薦を得た。中村候補者が紹介され、挨拶あり。

6. 上級ライオンズ・リーダーシップ研究会(ALLI)

2015年12月8日~10日までバンコクで、標記リーダーシップ・セミナーが開催される。佐藤国際理事から、9月24日までにリーダーシップ及びセミナー課へ参加申込書を提出することと、従来、日本は第二副地区ガバナーが申し込みをしているが、規定のとおり、クラブ会長を務めた人であれば資格があるので、リーダーシップに意欲のある方が申し込んでほしいとの説明あり。なお現第一副地区ガバナーは地区ガバナーエレクト・セミナーを受けるので、標記セミナーの参加資格はないことを注意する。

国際本部で選考された後、申込書に記載の E メールアドレスに選考結果が通知される。参加通知が届いてから、参加費 125 米ドルを支払う。

7. FWT(家族及び女性チーム)について

河合 FWT 会則地域副リーダーから資料配布と説明あり。女性シンポジウム開催については了承とし、FWT 組織構築のお願いについては書面にまとめ各議長宛に提出を要請する。

FWT 全日本女性シンポジウム

- 日 時: 2015年10月21日(水)13:30~16:30 (受付12:00 昼食12:30)
- 場 所: キャッスルプラザ(名古屋)孔雀の間
- 講 演: 山田實紘国際会長、デイビッド・クリフォード会員開発部長
- 会 費: 6,000円(当日受付)
- 参加定員数: 350名
- 締切日: 10月1日(水)
- 主 催: FWT(家族及び女性チーム) Family and Women Team
- 申込・問合せ先: 334複合地区事務局

8. 各種報告事項

(1) MD334 印田議長から、Dr. J. YAMADA 国際会長就任祝賀会が7月28日盛大に開催され、1,340名が出席されたとの報告と感謝が述べられた。

(2) 近藤議長会世話人から資料配布とともに、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターとの薬物乱用防止活動に関する合意書締結の報告あり。了承。

(3) 国際会長公式訪問の準備状況について、MD337 藤井議長と MD331 佐々木議長から報告あり。

(4) 日本ライオンズ事務所統合委員会の第2回目会議が8月22日に行われ、近藤世話人から協議内容が報告された。9月1日に国際理事や前年度議長を招いて開所式を行い、日本ライオンズ事務所の所長・副所長の辞令を交付する。所長は濱田智子、副所長は鈴木秀晃とし、2016年1月1日より新体制が発足する。第3回会議を9月12日(土)に行う。了承。

(5) 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの協力金を受け入れる特別口座を開設する旨、山浦元国際理事から報告あり。了承。

9. 各種会議要録

- (1) GMT MD コーディネーター会議(7月30日)
- (2) 第1回国際理事候補者選挙管理委員会会議(8月4日)
- (3) (新旧)ライオン誌日本語版委員会会議(8月6日)
- (4) 全日本 GMT・GLT・FWT・100周年実行委員会・合同会議(8月11日)

上記会議要録・報告書コピー配布。

10. 日本ライオンズ連絡事務所運営関係

(1) 7月会計報告(貸借対照表・収支計算書)を確認した。8月を以って顧問契約を終了する。ただし社労士については毎月の業務委託料を継続して支払い、統合に関する相談料は別途まとめて支払う旨、近藤議長会世話人から説明あり。

(2) 移転に伴う各種届出については、近藤議長会世話人からの指示により、職員が住所変更による異動届を済ませたとの報告あり。

11. 次回会議

10月15日(木)10:00-12:00 第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

上記会議場所:日本ライオンズ事務所(ビル館銘板表記名)

東京都中央区八重洲2丁目6-15 JOTOビル9階

以上

2015～2016 年度 336 複合地区第 1 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2015 年 10 月 2 日 (金) 13:00～16:00
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会 議 長 (336-D 地区ガバナー)	矢 野 敏 明	○
” 副議長 (336-C 地区ガバナー)	片 岡 文 彰	○
” 幹 事 (336-B 地区ガバナー)	尾 崎 博	○
” 会 計 (336-A 地区ガバナー)	橋 本 充 好	○
336 複合地区大会参加・迎接・プロトコール委員長	福 永 栄 一	○
336 複合地区ガバナー協議会 事務局運営委員長 (336-D 地区幹事)	阿 合 孝 徳	○

次 第 :

1. 議長挨拶

2. 報告事項

(1) 第 2 回議長連絡会議 (8/26) 報告

[資料①] 2015-2016 年度 第 2 回議長連絡会議要録
議長より、資料に基づき報告があった。

3. 協議事項

(1) バンコクフォーラム「MD336 の夕べ」について

[資料②] バンコクフォーラム日程

[資料③] MD336 の夕べ会場

福永大会参加委員長より、資料をもとに説明があった。

- ・福岡国際大会レセプション及びジャパンナイトについて
開始 30 分は国際大会レセプション、その後引き続きジャパンナイトを開催。
受付担当者 2 名が必要となる。
- ・登録推進について
336 複合地区の目標は 150 名とされている。現在 116 名であるため、各地区で増員をお願いしたい。
- ・国際会長歓迎晩餐会について
336 複合地区の割り当て人数は 35 名である。各地区で希望者を取りまとめている。
ただきたい。受付担当者が必要となる。
A 地区 11 名、B,C,D 地区 8 名とすることが申し合わされた。
- ・MD336 の夕べについて
開催日時は 12 月 4 日 (金) 20:00-21:30、登録料は 10,000 円とする。
会場についても提案通り了承された。

(2) 第 99 回国際大会 (福岡) 早期登録について

[資料④] 福岡国際大会日程

[資料⑤] 福岡国際大会について (第 1 回国際大会委員長連絡会議資料)

福永大会参加委員長より、資料をもとに説明があった。

・登録人数について

336 複合地区で5,000 名の登録が要請されているため、各地区 1,000 名以上の登録をお願いしたい。

登録目標人数は、A 地区 1,700 名、B,C,D 地区 1,100 名とすることが申し合わされた。

・登録方法について

太平洋アジア課からの文書によると、福岡国際大会登録は、地区単位で団体登録をするとされているため、キャビネットで一括登録をし、大会キット引換、参加者への受け渡しが必要となる等、地区の負担が大きい。オフィシャルエージェントへ登録代行を委託する場合、代行手数料として一人当たり 1,080 円が必要となる。

・宿泊ホテルについて

国際協会からの割当は数室になる見込みであるが、国際協会の割当とは別に、オフィシャルエージェントで 500 室を押さえている。

・パレードについて

福岡では交通規制の都合上、パレードが 4 時間に制限されているため、参加人数を制限される可能性がある。

① 登録案内について

各地区単位で登録を取りまとめて、国際協会へ一括登録し、登録料もキャビネットより一括送金する。現地での大会キット引換は近畿日本ツーリストへ代行を依頼することとし、登録確認書を近畿日本ツーリストへ一括引き渡す。

近畿日本ツーリストは現地で大会キット引き換えブースを設定し、各参加者に引き渡す。ただし、福永委員長が代行手数料の引き下げを交渉する。

登録方法、登録キットの受け渡し等、不明な点もあるため、クラブ宛登録案内は詳細が判明後に配信することとされた。

② MD336 の夕べについて

福永委員長より、6 月 26 日（日）夕刻、福岡市内で開催することが提案され、了承された。

(3) 国際会長講演会開催について

〔資料⑥〕 会場資料

〔資料⑦〕 開催案内（案）

・開催日：2015 年 11 月 20 日（金）
会長講演（1h）、質疑応答（2h）

・対象：クラブ会長

・会場：おかやま未来ホール（仮予約）

岡山市北区下石井 1-2-1 イオンモール岡山 5F

336 複合地区国際会長セミナーについて、議長より開催に至る経緯の説明があり、ガバナー連名の開催案内（案）が示された。国際会長の要望により、セミナーの時間を 14：00～17：00 に変更し、原案通り了承された。

出席対象者は、クラブ会長、キャビネット構成員とし、開催案内は各地区において宛先・返信先等を変更して配信する。複合地区役員には複合事務局から案内をする。

なお、開催案内の内容については、国際会長並びに首席補佐官の宿泊の有無を含め、議長より国際会長首席補佐官に確認する。

開催に係る経費（会場費およびプロジェクター使用料として約 30 万円の見込み、必要に応じて国際会長と首席補佐官の宿泊費、資料印刷代等）は 4 地区で按分負担することを申し合わせた。

(4) 東日本豪雨災害に対する支援について

〔資料⑧〕 336 複合地区緊急援助資金拠出記録

平成 27 年 8 月に発生した東日本豪雨災害による被災者支援の対応を協議した。

333 複合地区への支援金として 336 複合地区緊急援助資金より 100 万円を拠出することを申し合わせた。議長連絡会議後に送金する。

(5) 運営マニュアル編集委員の任命について

〔資料⑨〕 2015-2016 年度 336 複合地区組織表

運営マニュアル編集委員会の委員長および副委員長以外の委員は、昨年度の委員 5 名を 2015 年 9 月末まで任期を延長していた。10 月以降の委員の任命について協議した結果、A 地区 山地元議長、B 地区 大谷第一副地区ガバナー、C 地区 徳永キャビネット幹事の 3 名が推薦された。各地区ガバナーより打診し、各位の了解が得られた。議長名で委嘱状を送付する（任期は今年度末まで）。

なお、運営マニュアルは 2015 年 12 月を完成目標とする。

(6) OSEAL 誘致準備委員会組織について

〔資料⑩〕 OSEAL フォーラム誘致準備委員会組織表（案）

〔資料⑪〕 336-C 地区 OSEAL フォーラム広島市誘致推進委員会（仮）構成員（案）

336 複合地区の誘致準備委員会組織表（案）について検討した。

タイトルの年度を削除し、原案通り了承された。矢野議長より、複合地区議長連絡会議で報告する。

(7) LCI 研修ツアーについて

〔資料⑫〕 LCI 研修会ご案内（案）

各地区ガバナーより、地区内で参加者を募ることとされた。

(8) 336 複合地区第 62 回年次大会について

〔資料⑬〕 336 複合地区第 62 回年次大会予算（案）

① 予算案について

矢野議長より予算案について説明があり、提案通り承認された。

② 代議員分科会について

例年 3 つに分けられている分科会について、昨年度議長より分科会を細分化することが申し送られている。継続審議とする。

(9) 100 周年記念関係

〔資料⑭〕 100 周年記念補助金申請書（案）

① 100 周年記念補助金申請について

申請書を確認し、国際協会へ送付することが了承された。

② 100周年アクティビティの推進依頼文について

10月1日開催の百周年記念コーディネーター会議の報告を受けてクラブ会長宛依頼文を作成することとされた。

(10) YCE 関係

〔資料⑮〕 トップテン・ユースキャンプおよび交換委員長賞受賞者推薦状

〔資料⑯〕 来日生移動経費明細

① 2014-2015年度トップテン・ユースキャンプおよび交換委員長賞について

336-B地区 北山 前YCE委員長を推薦することを決定した。336-B地区において申請書を作成し、11月6日までに複合事務局宛に送付願う。

② 2014-2015年度YCE 夏期来日生移動経費について

4地区按分が申し合わされていた2014-2015年度夏期来日生送迎費用について、台風による台湾来日生到着遅れのため宿泊等予定外費用が発生したが、この費用も含め4地区で按分することを準地区YCE委員長連絡会議で申し合わせている。また、他複合地区受入の台湾来日生分の予定外費用については複合地区負担とされたため、YCE移動経費として複合地区費旅費交通費より768,365円を拠出することになる。

準地区按分の経費、および、複合地区負担金についてガバナー各位の了承が得られた。

台湾来日生の日本国内移動については複合地区の費用負担が大きいため、台湾からの国内移動費値上げを打診することも含め、継続審議とする。

(11) その他

4. 閉会

ライオンズクラブ国際協会336複合地区組織表(2015~2016年度)案

(2015/7/7現在)

336複合地区ガバナー協議会構成員			
議長	矢野敏明	D	松江葵
副議長	片岡文彰	C	尾道
幹事	尾崎博	B	岡山西
会計	橋本充好	A	高知柏

336複合地区ガバナー協議会顧問			
谷野	徹	D	下関西
藤井	基博	C	福山東
名越	勉	B	倉吉

FWTエリアリーダー	
松前龍宗	A 高松玉藻

336複合地区各委員長			
会則・運営マニュアル編集委員長	岡村聖爾	D	下関北
PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長	池田康彦	C	広島
YCE・国際関係委員長	別所清平	B	米子
青少年・LQ・RAP委員長	木内千春	A	板野
大会参加・迎接・プロトコール委員長	福永栄一	C	広島ニュー
環境保全・保健福祉委員長	坂根勝	D	松江

日本8複合地区各種委員会委員			
国際理事候補者選挙管理委員会			
委員	大羽義定	D	益田あけぼの
ライオン誌日本語版委員会			
委員	寺越慎一	C	広島平和
日本ライオンズ連絡事務所監査委員			
ライオン誌日本語版監査委員			
委員	長谷川憲男	A	高知桂

G M T			
コーディネーター	渡部雅文	B	倉敷西
メンバー	真鍋隆	A	こんびら
メンバー	大谷博	B	岡山
メンバー	安田克樹	C	竹原
メンバー	藤本幸嗣	D	平生

G L T			
コーディネーター	竹下雅雄	D	萩
メンバー	川辺信郎	A	徳島城山
メンバー	太田健一	B	総社雪舟
メンバー	今井誠則	C	広島紅葉
メンバー	秋田千鶴	D	浜田

F W T			
コーディネーター(日)	松尾ヒデ子	C	福山フラワー
コーディネーター(英)	齋藤翠	A	石井

L C I F 委員会			
コーディネーター	松尾敏弘	C	福山中央

運営マニュアル編集委員会			
副委員長	松前龍宗	A	高松玉藻

百周年記念実行委員会			
コーディネーター	井上亮二	B	倉敷中央

第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会			
常任委員	渡部雅文	B	倉敷西
監査委員	寺越慎一	C	広島平和

緊急援助資金委員会			
委員長	矢野敏明	D	松江葵
委員	橋本充好	A	高知柏
委員	尾崎博	B	岡山西
委員	片岡文彰	C	尾道

B M D I T 専門委員			
委員(正)	池原堅	C	福山久松
委員(副)	長尾和彦	A	高松源平

336複合地区監査委員			
委員	寺越慎一	C	広島平和
委員	管武廣	A	松山湯築
委員	金岡誠	B	高梁

ガバナー協議会事務局運営委員会			
委員長	阿合孝徳	D	松江葵
委員	下飯野芳幸	A	高知東
委員	内山茂	B	岡山西
委員	徳永修	C	尾道

336複合地区第62回年次大会			
委員長	荒木恭司	D	松江葵

336複合地区ガバナー協議会事務局			
〒700-0907			
岡山市北区下石井2-1-18 ORIX岡山下石井ビル9F			
TEL: 086-234-0695 FAX: 086-234-0495			
E-mail: admin@lions-md336.org			

LCI 研修会のご案内

2015年10月15日

日本ライオンズ国際委員会

委員長 西川 義規

副委員長 近藤 正彦

副委員長 矢野 敏明

各複合地区協議会議長 殿

前略 34年ぶりに日本より山田国際会長が誕生し、日本ライオンズの発展が世界のライオンズからより期待されています。

さて、昨年度初めて開催されましたシカゴの国際本部における日本ライオンズ研修会ですが、本年度も引き続き国際委員会主催により、下記の通り第二回開催の運びとなりました。

減多に体験することはできない厳寒のシカゴでの研修となりますが、温かい本部職員一同のおもてなしをもって、今回も有意義かつ楽しい研修会となりますことと願っております。

つきましては、各議長の皆様より、1MDあたり4名以上の参加希望者のご推薦をお願い申しあげる次第です。 早々

記

- 1.期日: 2016年1月10日(日)~1月14日(木)
- 2.会場: ライオンズクラブ国際協会本部 (シカゴ)
- 3.参加申し込み締切: 2015年11月10日(火) 国際委員会宛
- 4.費用: 各自負担 (往復のフライトは指定フライトを各自で予約手配)

☆詳細につきましては、別紙参照。

2016年 LCI 本部スタディツアーについて：(案)

- ・参加に係る費用は個人負担となります。
- ・往復航空便の予約手配は各自で行ってください。
- ・シカゴ到着～シカゴ出発間は本部手配のグループ行動となり、移動費、宿泊費、食費等がかかります。

- ・暫定日程は以下の通りです。

2016年

1月10日(日) 成田発 午前便(NH、JL)推奨、同日朝シカゴ着

1月11日(月) 研修会

1月12日(火) 研修会

1月13日(水) 研修会

1月14日(木) シカゴ発 (朝便)推奨、翌日午後成田着

ご参考までに： 2015年10月1日現在フライト情報
(往路)

成田発 シカゴ着 NH 12便 (10:45発、同日08:25着)
JL 10便 (11:10発 同日08:55着)

(復路)

シカゴ発 成田着 NH 11便 (11:00発、翌日13:55着)
JL 9便 (12:35発 翌日15:35着)

略号： NH All Nippon Airways (全日空)
JL Japan Airlines International (日本航空)

23日本委第82号
平成27年8月21日

ライオンズクラブ国際協会336複合地区 御中

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 奥島 孝康

第23回世界スカウトジャンボリーのご報告と御礼

拝啓 7月28日より14日間にわたり山口市きらら浜で開催された第23回世界スカウトジャンボリーは、8月8日、成功裡にその幕を下ろしました。ここに謹んで、ご報告と、頂戴いたしましたご支援に対する御礼を申し上げる次第であります。

155の国と地域から参加した約3万4千人のスカウトは、大会テーマである「和」の精神に則り、会場内外で展開された各種プログラムやキャンプ生活における体験を通じて、国際理解や平和について学びました。また、大会の前後のホームステイでは、全国各地でおもてなしの精神に触れ、日本文化への理解を深めました。スカウトたちのジャンボリーでの経験が、本運動の目的である「より良き世界の創生」に資するものであることを確信いたしております。

ご寄贈いただきましたタープテント2,190張は、連日の晴天と猛暑のなか、休息と食事の場として貴重な日陰空間を提供しました。また、カセットコンロ4,800個は、毎日の炊事のみならず、交流の場で振る舞う自国料理の調理にも活用されました。皆様のご厚情に対し重ねて御礼を申し上げます。

今後ともボーイスカウト運動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展をお祈りいたします。

まずは取り急ぎご報告と御礼まで。

敬具



<問合せ先> 事務局 日本委員会担当 133-8517 東京都文京区本郷 1-34-3
tel: 03-5805-2639 fax: 03-5805-3678 e-mail: 2015@scout.or.jp



山田国際会長より
2015～2016年度アワードのガイドラインについて

Dignity.
Harmony.
Humanity.

宛先： 執行役員、元国際会長、国際理事、
理事会アポインティ、元国際理事、協議会議長、地区ガバナー各位

ライオンズ各位

皆さんの国際会長として、私は皆さんと力を合わせ、本年度をすばらしい一年にしていきたいと思
います。

恵まれない人々に希望をもたらすため、多くの会員がそれぞれの地域社会で熱心に奉仕に取り組
んでいますが、彼らの多くはその努力を一度も表彰されたことはありません。どうぞ、アワード受
賞基準に関する通知と推薦用紙に示されたガイドラインをよくお読みになり、それに従って会長
賞及びリーダーシップ賞の推薦を行ってください。

2015～2016年度アワードの受賞基準に関する通知

2015～2016会長賞推薦用紙

2015～2016リーダーシップ賞推薦用紙

推薦用紙の提出期限は、2016年2月20日ですのでご注意ください。

よろしく願いいたします。

国際会長
山田寛紘

Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。



Lions Clubs International

300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.671.5466

2015年7月

宛先：執行役員、元国際会長、国際理事、理事会アポインティ、元国際理事、協議会議長、地区ガバナー

ライオン各位

今年度、皆さんと一緒に任務にあたることを楽しみにしております。皆さんの国際会長として、私は皆さんと力を合わせ、本年度をすばらしい一年にしていきたいと思っております。

ご承知の通り、私の今年度のテーマは「命の尊厳と和」です。私たちは、奉仕活動を通じて人々に尊厳をもたらすことができます。この点を、アワードの推薦を行うにあたって意識していただきたいと思っております。恵まれない人々に希望をもたらすため、多くの会員がそれぞれの地域社会で熱心に奉仕に取り組んでいますが、彼らの多くはその努力を一度も表彰されたことはありません。

どうか、このような望まれている奉仕活動に献身的に取り組んでいるライオンで、過去3年間に一度も同種のアワードを受賞していないライオンをたたえるようにしてください。たとえば、過去3年以内にリーダーシップ・アワードを受賞しているライオンは、今年には会長賞のみの受賞資格があります。過去3年以内に会長賞を受賞しているライオンは、今年にはリーダーシップ・アワードのみの受賞資格があります。リーダーの役職を務めることにより、自動的にこれらのアワードの受賞資格を得られるということはありません。

会長賞：この賞の受賞者としては、住んでいる地域や国際協会全体に大きく貢献するような模範的奉仕によって目立った働きをしたライオンで、クラブ奉仕事業に直接的に関わり、国際協会プログラムに積極的に参加し、LCIFに支援を行い、さらに少なくとも1人の新入会員をスポンサーしたメンバーを考慮するべきです。さらに、会員維持や、退会者数を減らす上で貢献したライオンも、受賞者として検討されるべきです。

地区ガバナーは、アワード受賞のために設定された年間を通じての目標をすべて達成した場合に、会長賞受賞者としての資格が得られます。詳細は、地区ガバナー「ライオンズの尊厳」アワードをご覧ください。

リーダーシップ・アワード：この賞の受賞者としては、リーダーシップ育成の分野において国際協会に対し顕著な貢献を示したライオンズとレオを検討するべきです。質の高いリーダーシップは、国際協会にとって極めて重要であり、会員増強や奉仕事業とその奉仕事業がコミュニティーに与える効果と、ライオンズクラブの会員としての総合的な満足度に大きな影響を与えます。

ゾーン及びリジョン・チェアパーソンは、アワード受賞のために設定された年間を通じての目標をすべて達成した場合に、リーダーシップ・アワード受賞者としての資格が得られます。ゾーンおよびリジョン・チェアパーソンは本部に登録されていなければ資格を得られません。詳しくは以下をご確認ください。

ゾーン及びリジョン・チェアパーソン賞

アワード推薦用紙の提出手続き (承認された推薦用紙の提出期限は 2016 年 2 月 20 日)

1. 地区ガバナーが会長賞とリーダーシップ・アワード推薦用紙にすべて記入する
2. 国際会長の受賞基準を満たしているか地区ガバナーが確認する
3. 承認を得るために、地区ガバナーが複合地区の適切なライオンズ・リーダーに用紙を提出する
 - 直近に役職を務めた元国際会長 (いれば)
 - いなければ、現職の国際理事会メンバー (いれば)
 - いなければ、直近に役職を務めた元国際理事
4. **複合地区のリーダーと検討の上、**上記のうち該当するライオンズ・リーダーが承認し、推薦用紙を提出する
5. 単一地区で、上記のいずれにも該当するリーダーがいない場合には、
 - 地区ガバナーが自ら承認者として署名し推薦用紙を提出する (ただし日本には該当しない)
6. 複合地区で、上記のいずれにも該当するリーダーがいない場合には、
 - 協議会議長が推薦用紙の提出をとりまとめる

推薦用紙を承認し提出する責任のあるライオンズリーダーは、

- 複合地区から提出する全推薦用紙をすべて同時に提出する
- すべての会長賞推薦の優先順位と、すべてのリーダーシップ・アワード推薦の優先順位を、それぞれ別々に決定し、送付文の中にその順位を記載して提出する
- すべて記入した推薦用紙および送付文を、私のアシスタントまで E メール (Darlene.Gleich@lionsclubs.org) または FAX (1 - 630-706-9113) でご提出ください。

国際会長感謝状

この感謝状は、特にクラブの運営と構築を目指すクラブ会長たちの努力を全面的に支援した目覚ましい功績を表彰するためのもので、意味深い人道奉仕活動の実施にサポートを提供したライオンズに授与されるべきものです。

- 現職の理事会メンバー - 受賞者名空欄の感謝状が 1 人につき 50 枚配布されます。
- 元国際会長 - 要請に応じて、受賞者名空欄の感謝状が 1 人につき 50 枚まで提供されます。
- 元国際理事 - 要請に応じて、受賞者名空欄の感謝状が 1 人につき 25 枚まで提供されます。

会長ラペルピン

- 現職の理事会メンバー - 1 人につき 50 個が配布されます。
- 元国際会長 - 要請に応じて、1 人につき 50 個まで提供されます。
- 元国際理事 - 要請に応じて、1 人につき 25 個まで提供されます。

記念ラペルピン及び会長グッズ:今年度は、2015年7月より国際協会クラブ用品部から会長ピンのデザインを用いた記念ラペルピンやその他の会長グッズを購入することが可能です。

このピンは、以下の方法で購入できます。

- ✓ オンライン：[LCIストア 会長記念グッズ](#)
- ✓ Eメール注文：clubsupplies@lionsclubs.org
- ✓ 電話注文：1-630-571-5466 内線番号 6885（またはフリーダイヤル 1-800-710-7822、米国内のみ）

親善大使賞:今年度、ライオンズ任務で訪れた先で、また活動をする中で、親善大使賞に値すると思われるライオンがいらっしゃいましたら、その方の功績を簡潔に叙述した推薦状をオーケブルックの国際本部会長室 (President's Office) までお送りください。親善大使賞の推薦は、2016年3月31日まで受付けます。この賞は、年間に授与できる数が非常に限られているため、2016年4月下旬から5月上旬に最終決定をしたいと考えております。（この賞に関する詳細は、理事会方針書 20 章をご参照ください）

2015～2016 年度のチームの要として皆さんをお迎えできることは、私にとってこの上もない喜びです。皆さんのご協力に心より感謝いたします。

心をこめて

国際会長

山田 實純

同封物： 推薦用書式 - 会長賞
推薦用書式 - リーダーシップ・アワード

P722. JA - 7/2015



2015～2016 年度アワード推薦書－会長賞

本推薦書を承認するライオンズの指導者への注意事項：会長の要請により、必要事項がもれなく記入され、承認の署名が付いた推薦書に、すべての会長賞受賞候補者の推薦順位を明示した送付状を添えて、複合地区全体の推薦を全てまとめて同時に提出していただく必要があります。

会長のアワード受賞基準に関する通知に示されたガイドラインに従い（地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンは推薦しないでください。詳細は受賞基準に関する通知をよくお読みください）、以下のメンバーを 2015～2016 年度会長賞受賞者として推薦いたします。

氏名 _____ 会員番号 _____

住所 _____

市町村 _____ 都道府県／国名 _____

役職（該当する場合） _____

ライオンズクラブ名 _____ 地区名 _____

授与予定日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

この会員は、過去 3 年間（2012～2013 年度、2013～2014 年度、2014～2015 年度）のうちに会長賞を受賞しましたか？****

_____ はい _____ いいえ

****過去 3 年間に会長賞を受賞していない会員のみを授賞対象としてください。

過去に指導者を務めていた会員が、自動的にこれらのアワードの受賞資格を持つわけではありません。****

国際会長より書面で通知されたアワード受賞基準に従い、推薦の理由を簡潔に説明してください。

（必要に応じて裏面または別紙をご利用ください）

推薦者： _____ 役職名： _____

*承認者： _____ 役職名： _____

*推薦は地区ガバナーが行います。地区ガバナーは、推薦の承認に責任を負うライオンズの指導者に候補者を伝える前に、その会員が国際会長の基準を満たしているかを確認すべきです。その上で、複合地区内に元国際会長が存在する場合にはそのメンバーが推薦書を承認し、提出します。いなければ、現職の理事会メンバーが推薦書を承認した上で提出します。いなければ、直近の元国際理事が推薦書を承認した上で提出します。

上記のいずれにも該当しない単一地区の場合は、地区ガバナーが承認の上、推薦書を提出できます。

上記のいずれにも該当しない複合地区については、協議会議長より推薦書をご提出ください。

P535. JA



2015～2016 年度アワード推薦書ーリーダーシップ・アワード

本推薦書を承認するライオンズの指導者への注意事項：会長の要請により、必要事項がもれなく記入され、承認の署名が付いた推薦書に、すべてのリーダーシップ・アワード受賞候補者の推薦順位を明示した送付状を添えて、複合地区全体の推薦を全てまとめて同時に提出していただく必要があります。

会長のアワード受賞基準に関する通知に示されたガイドラインに従い（地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンは推薦しないでください。詳細は受賞基準に関する通知をよくお読みください）、以下のメンバーを 2015～2016 年度リーダーシップ・アワード受賞者として推薦いたします。

氏名 _____ 会員番号 _____

住所 _____

市町村 _____ 都道府県/国名 _____

役職（該当する場合） _____

ライオンズクラブ名 _____ 地区名 _____

授与予定日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

この会員は、過去 3 年間（2012～2013 年度、2013～2014 年度、2014～2015 年度）のうちにリーダーシップ・アワードを受賞しましたか？****

_____ はい _____ いいえ

****過去 3 年間にリーダーシップ・アワードを受賞していない会員のみを授賞対象としてください。過去に指導者を務めていた会員が、自動的にこれらのアワードの受賞資格を持つわけではありません。****

国際会長より書面で通知されたアワード受賞基準に従い、推薦の理由を簡潔に説明してください。
(必要に応じて裏面または別紙をご利用ください)

*推薦者： _____ 役職名： _____

*承認者： _____ 役職名： _____

*推薦は地区ガバナーが行います。地区ガバナーは、推薦の承認に責任を負うライオンズの指導者に候補者を伝える前に、その会員が国際会長の基準を満たしているかを確認すべきです。その上で、複合地区内に元国際会長が存在する場合にはそのメンバーが推薦書を承認し、提出します。いなければ、現職の理事会メンバーが推薦書を承認した上で提出します。いなければ、直近の元国際理事が推薦書を承認した上で提出します。

上記のいずれにも該当しない単一地区の場合は、地区ガバナーが承認の上、推薦書を提出できます。

上記のいずれにも該当しない複合地区については、協議会議長より推薦書をご提出ください。



Lions Clubs International

300 W 22ND STREET OAK BROOK ILLINOIS 60523-8642 USA 630.571.5466

Scott Drumheller

EXECUTIVE ADMINISTRATOR & SECRETARY

2015年8月11日

複合ガバナー協議会議長の皆様そして日本ライオンズ会員の皆様

メルビン・ジョーンズにはビジョンがありました。恵まれない人々への奉仕に取り組む国際的な組織を作るというビジョンです。ジョーンズは「他人に尽くすことを始めなければ、人生の大半は成し遂げられない」と語ったと言われていました。世界大恐慌や戦争等、多くの課題に直面しましたが、打ちのめされたりすることはありませんでした。そうした中でずっとジョーンズは休むことなくそのビジョンの実現に向け努力したのです。1962年に他界した時、ジョーンズが創立した団体 - ライオンズクラブ国際協会 - は、100カ国以上に及ぶものへと成長していました。そして今日「人道奉仕におけるグローバル・リーダー」と呼ばれる組織になったのです。

メルビン・ジョーンズは米国イリノイ州シカゴ近辺マウント・グリーンウッドにある質素な墓地に埋葬されました。死後55年近く経った今、私たちは100年に渡る人道奉仕を祝う準備をしています。

ライオンズの100周年を記念するにあたり、何億もの人々の人生にプラスの影響を及ぼしたジョーンズに敬意を表すべく埋葬地を広げ、しかるべきものにするのは大切なことです。

この度ご厚意により寄贈いただきました20万ドルで、改良プロジェクト計画を進めることができます。これはライオンズの創始者メルビン・ジョーンズをたたえることにつながるだけでなく、今後何世代ものライオンズが創始者に敬意を示すために訪問する墓地周辺に、やすらぎの場を設けることにもつながります。この度のご厚意に対する感謝の念を示すため、墓地に日本からの寄贈であることを示すしかるべき銘板を取り付けさせていただきます。

ライオンズクラブ国際協会を代表しまして、心より御礼申し上げます。皆さまからの贈り物のおかげで、協会は数えきれない多くの人々に役立つことをしてくれたメルビン・ジョーンズのために何かができるのです。

ライオンズクラブ国際協会
事務総長 スコット・ドラムヘラー

写し： 山田實紘 国際会長
西川義規 国際理事
安井克之 国際理事
佐藤宣之 国際理事
鈴木誓男 国際理事会アポイント

lionsclubs.org

2015/9/16

各地区キャビネット事務局 御中

いつもお世話になっております。

さて、2015年7月から、「滞納金を理由とする活動停止」に関する規定が以下の通りに変更となりました。

2015年7月以降は、90日を超える滞納残高が、会員1人当たりUS\$20またはUS\$1,000のいずれか低い額を上回っているクラブは、自動的に停止処分を受ける。クラブが停止処分を受けた月の翌月28日までに未納残高を全額納めなかった場合には、クラブは自動的に解散処理される。3回解散となったクラブは復帰することができなくなる。

地区内クラブ口座一覧表が毎月上旬に地区ガバナー宛てにEメールで送られますので、クラブの支払い状況をご確認くださいようお願いいたします。60日以上滞納金があるクラブには、大至急お支払いいただくようご依頼ください。(当月分の支払い状況と現残高は、MyLCIの会計計算書ページで確認することができます。) 9月上旬に8月末付の地区内クラブ口座一覧表がEメールで届いていない場合には、お知らせください。

6月末に請求された国際会費をまだお支払いいただけていないクラブは、10月上旬に活動停止になる可能性があります。国際本部にはそのクラブリストがありませんので、地区で上記を行っていただくことが重要となります。また、ご送金いただいたにもかかわらずクラブに入金記帳されていない場合にも該当しますので、正しく入金記帳されていることをご確認ください必要があります。誤った専用口座に振り込まれますと、ご確認くださいまでそのままになってしまいます。

オンラインでクラブ会計計算書と半期分国際会費請求書を閲覧・印刷する方法をご覧ください。

以上、ご協力に感謝いたします。

ライオンズクラブ国際協会
太平洋アジア課



Lions Clubs International

講師育成研究会修了者の皆様

本日は、皆様のようなライオンズのために特別に用意された新しいパイロットプログラムについてお知らせします！さらにスキルを磨きたいと願う講師育成研究会修了者のために、講師育成エクセレンスシリーズ(FDES)が始まります。2015-2016年度には、2つの講師育成エクセレンスシリーズ(FDES)が開催されます。シリーズの1つは2015年12月2日と16日に、もう1つのシリーズは2016年3月4日と18日に行われます。

この研修シリーズは四つのウェビナーを通じて実施され、各ウェビナーの前には事前に済ませなければならない課題が課されます。ウェビナーによって、世界中にいる他の講師育成研究会修了者とリアルタイムでつながり、意見を交換しながら、講師としての技能をさらに高めることができます。詳細については、[講師育成エクセレンスシリーズ\(FDES\)ページ](#)をご覧ください。

対象となるのは、国際協会が主催する講師育成研究会を修了し、研究会以降に研修行事で講師を務めたことのある、この技能コースを役立てることのできるライオンです。受講者は、自らの技能を高め、自分の所属エリアで行われるライオンズのリーダーシップ育成研修会に貢献したいという強い意志を持っていなければなりません。また、ウェビナーは英語で行われるため、受講者は、英語を理解し、英語で参加できなければなりません。

受講希望者は、[オンライン](#)に掲載されている申請書を提出する必要があります。申請書の一部である推薦フォームには地区ガバナー、複合地区グローバル指導力育成チーム(GLT)コーディネーター/GLTエリアリーダー、及び協議会議長の署名が必要です。

申請書は、研究会及びセミナー課(Eメール: institutes@lionsclubs.org, FAX: 630-706-9010)に、2015年10月26日までに提出してください。寄せられた申請書をリーダーシップ開発部がすべて審査した上で、英語で受講できる有資格の参加者を世界中から、各シリーズにつき最高25名まで選びます。

ご質問がある場合、または更なる情報が必要な場合には、ご遠慮なく当方までお知らせください。(Eメール: institutes@lionsclubs.org、電話: 630-468-6740、FAX: 630-706-9010)

ご協力に感謝申し上げます。有能な講師チームを強化し、会員の増加と発展を促すにあたり、皆様とともに緊密に協力していくことを楽しみにしております。

リーダーシップ開発部
リーダーシップ研究会及びセミナー課長
キャシー・ライアン
ジョシュア・フリードマン

Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信の停止または設定変更をご希望の場合は、[こちらをクリック](#)してください。

ライオンズ指導者各位

地区ガバナー全員に送信したメッセージを、皆様にも配信させていただきます。主要アワードに関する情報のほか、地区ガバナーから各クラブに女性の勧誘、そして家族や友達の勧誘を呼びかけるようお願いしております。力を合わせてクラブを拡大し、奉仕を広げて人々に尊厳をもたらしましょう！

山田 實紘



地区ガバナー各位

ホノルルでは新年度の華々しいスタートを切ることができました。この勢いに乗せて、この一年を成長と発展の年といたしましょう。

われわれが直面している課題の一つに、人道奉仕への増え続けるニーズがあります。これに対応できるよう奉仕の能力を広げるためには、会員数を増やさなくてはなりません。各クラブに対しては、家族や友人に入会を勧めることで、会員増強をまず身近なところから始めるよう奨励してください。また、クラブの長期的な成長と充実のためには、女性の勧誘にも引き続き優先的に取り組んでいく必要があります。

地区の拡大を実現するためのもっとも効果的な方法は、新クラブを結成することです。次のライオンズクラブをどこに作るか、もう考えていますか？地区チームと協力して、ニーズのある地域で新しい奉仕を提供できる新クラブを設立しましょう。

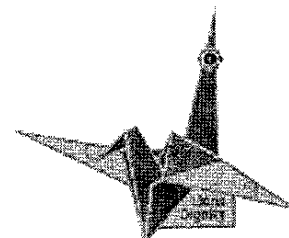
拡大に伴って目を向けなければならないのが、奉仕の新たな世紀へとライオンズを正しく導いていける新リーダーの育成です。われわれはチームであり、私が皆さんを必ずサポートすることを忘れないでください。力を合わせてクラブを拡大し、人々に尊厳をもたらしましょう！

国際会長
山田 實紘

「ライオンズの尊厳」アワード ゴールドを目指して

「ライオンズの尊厳」アワードでは、年間を通じ一貫した会員増強を実現することで、特別なゴールドかシルバーのピンを獲得することができます。第1期に受賞するための条件は以下の通りです。

- ・ ゴールドピン: 5年平均を上回る会員純増を達成し、地区内に少なくとも一つの新クラブを結成
- ・ シルバーピン: 地区内で会員純増を達成



第1期 ゴールドピン獲得のカギは、新クラブの結成です。地区計画の優先事項に必ず盛り込んでください。「ライオンズの尊厳」アワードウェブページから詳細を確認し、第1期のゴールド受賞を目指しましょう！

その他の重要事項

(報告事項) -24-

以下の事項も、着実に成功を目指す上で重要となります。

- クラブの拡大と「ライオンズの尊厳」アワード獲得に向け、100周年記念会員増強賞を推進しましょう。
- 8月30日から9月5日の子供の尊厳ウィークに合わせて特別奉仕事業を企画し、子供たちを支援するようクラブに呼びかけましょう。
- MyLCIを介してゾーン及びリジョン・チェアパーソンを報告し、チェアパーソンたちにゾーン賞及びリジョン賞をご推進ください。
- クラブ会長には、「成功への7つの鍵」をクリアしてクラブ会長賞を獲得するようご奨励ください。

Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信停止をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

ライオンズ指導者各位

地区ガバナー全員に送信したメッセージを、皆様にも配信させていただきます。重要なアワードの情報や注意事項を共有するだけでなく、地区ガバナーの皆さんには新クラブの結成に重点をおいていただきたいと訴えました。ご自分の地区のガバナーが、この重要な目標を達成するために、どうかご支援とご協力をお願いします。ともに努力して地区を強化し、私たちを必要としている新たな地域に奉仕をもたらしましょう。

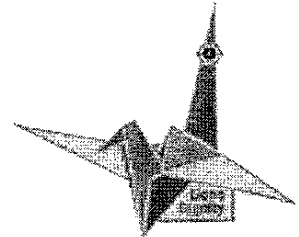
どうぞよろしくお願いいたします。

山田 實紘



地区ガバナー各位

今年、目標を達成し、私たちの奉仕する能力を高め、そして未来に私たちを導くような強いリーダーを見出すことを、私たちの成功として定義するというお話してきました。今月は、成功すると何が目に見える形で手に入るのか、についてお知らせします。



過去5年間の平均以上の会員増加を達成し、かつ少なくとも一つのクラブを第1期と第2期の両方で達成した地区ガバナーには、特別にデザインされた「ライオンズの尊厳ピン」が贈呈されます。優秀な成績を収めた地区ガバナーはまた、会長メダルと、チームと共有するための四つのリーダーシップ・メダルを授与されます。

この表彰を受けるチャンスを最大限にするには、少なくとも一つ、新クラブを地区で結成することが鍵となります。ライオンズの尊厳ピンを授与される道のりにとどまるには、第1期に一つ新クラブを結成することが必須です。ですから、11月30日までに、クラブを結成するために、地区のチームと引き続き努力を続けましょう。

よろしくお願いいたします。

国際会長
山田 實紘

その他の重要事項

以下の事項も、確実に成功を目指す上でとても重要です。

- 引き続き、100周年記念会員増強賞を通して地区内のクラブとライオンズが表彰を受け、100周年を祝う記念プログラムに参加することを奨励していきましょう！
- クラブが、100周年記念奉仕チャレンジのプロジェクトである青少年、視力、飢餓および環境の四つの各分野において、少なくとも一つ奉仕を実施するように周知促進していきましょう。
- 「視力の世界奉仕ウィーク」(10月4-10日)のための特別奉仕プロジェクトを計画する際には、ステップバイステップで地域社会奉仕ニーズ調査とプロジェクトの企画や宣伝につい

でのガイドを提供する、オンライン ライオンズ学習センター のコース「地域社会奉仕の提供」を活用しましょう。

- 「地区ガバナー公式訪問報告書」と「地区経費請求書」チュートリアルも使ってみてください。この簡単なオンライン・チュートリアルは、払い戻しが受けられる経費と、M-26やC-30と呼ばれる重要な書式の記入方法について確認するためのものです。

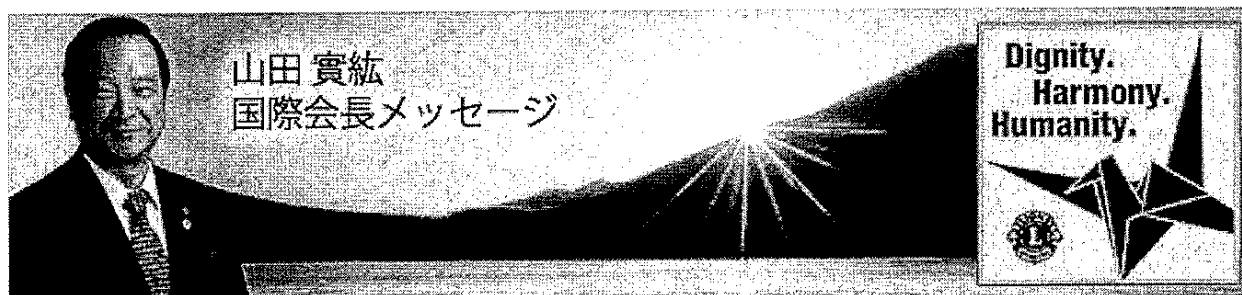
Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

クラブのリーダーに宛てた私の8月のメッセージを、皆さんにもお送りいたします。

年間を通じてクラブのリーダーたちには役立つ情報や資料をお知らせしていく予定ですが、皆さんからも是非、「クラブ強化への青写真」と「クラブ向上プロセス(CEP)」を使ってクラブサクセスの計画を立てるよう、全クラブにご奨励ください。また、8月30日～9月5日の「子供の尊厳ウィーク」期間中には各クラブで特別な奉仕事業を企画・実施していただきたいとも思っています。力を合わせてクラブを強化し、人々に尊厳をもたらしましょう。

山田寛紘



ライオン殿

あなたのクラブは地域社会の充実のためにすでに多くを行っていらっしゃると思いますが、クラブの成功に向けた計画を立てることで、その成果はさらに大きなものとなります。目標を定め、その達成に必要なステップを明確にすることで、今年度、そしてそれ以降もクラブが迷わず成功に向かっていけるプランを立てることができるのです。

しっかりとした計画があれば新会員もクラブに引きつけられ、結果として奉仕を拡大することにもつながりません。クラブの奉仕事業が地域のニーズとメンバーの興味に合ったものであることも確認できます。計画を立てることによって、未来のクラブリーダーの特定と育成がスムーズに行われ、クラブの方向性についてもメンバーが主体的に熱意を持って考えることができるようになるでしょう。

クラブの計画を今すぐ立てて、まっすぐ成功を目指しましょう！

国際会長
山田寛紘

クラブの計画に着手する

クラブサクセスを実現するための計画を今すぐ立てましょう！その一歩として、次の二つの資料が大いに役立ちます。

クラブ強化への青写真 - 「クラブ強化への青写真」で成功の一年を目指しましょう。「青写真」を使うことで、クラブの現状を評価し、目標を立て、その現実に向けたステップを探ることができます。「青写真」で立てた目標を提出したクラブには、特別な証書が贈られます。

クラブ向上プロセス(CEP) - 「クラブ向上プロセス(CEP)」を使って、クラブの計画を次のレベルに進めましょう。楽しい参加型のワークショップは、クラブが今後も新たな高みに到達し続ける上で役立ちます。CEPプロとCEPライト、二つのバージョンからお選びください。

「尊厳ウィーク」イベントをPR

8月30日～9月5日の子供の尊厳ウィークは、クラブの存在感をアピールしつつ、子供たちの健やかで幸せな生活を応援する絶好のチャンスです。子供の尊厳ウィークのプレスリリースを地元マスコミに送付し、クラブが行っている活動やその影響力、参加の機会について地域住民に知ってもらいましょう。

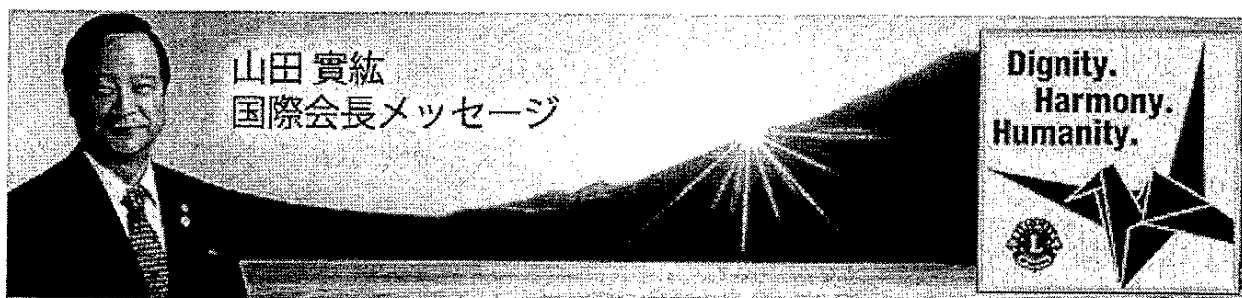
子供の尊厳ウィークイベント・ページには、100周年記念奉仕チャレンジの一環であるこの特別イベントを企画するためのガイドや事業案が掲載されていますので、ご覧ください。企画をまだ始めていない場合には、尊厳ウィークのチラシをダウンロードし、早速クラブにお知らせください！

クラブリーダーへの 9 月のメッセージをお伝えいたします。

100 周年記念奉仕チャレンジの目標を達成するため、本ライオン年度中に青少年・視力・食料支援・環境保全の分野で少なくとも 1 つの奉仕事業を主催していただくよう、クラブリーダーの皆さまにお願いいたします。また、10 月 4 日から 10 日にかけての視力保護のための世界奉仕ウィークに向けて、特別奉仕事業をクラブで計画してください。会員増強の取り組みを活性化させるために、クラブリーダーは「アスク・ワン(一人誘おう)」を推進してください。会員増強と奉仕の素晴らしい成果を今年度達成するために、共に取り組みましょう。

よろしく願いいたします。

山田 實紘



ライオン各位

この 100 年間、ライオンズは奉仕を通じて世界中の地域社会を向上させてきました。100 周年を祝し、100 周年記念奉仕チャレンジを通じて 1 億人を支援していただくようライオンズの皆さまにお願いいたします。これまでに私たちは 4,000 万を超える人々を支援してきましたが、まだ数百万人が支援を必要としています。

本ライオン年度中に、青少年・視力・食料支援・環境保全の 100 周年奉仕分野のうち少なくとも 1 つの奉仕事業を主催していただくよう、各クラブにお願いいたします。視力保護と青少年の明るい未来のために、また健全で清潔な地域社会を維持し、子供たちがお腹を空かせて眠りにつくことがないように力を合わせましょう。

MyLCI 奉仕活動報告を通じて事業を報告したクラブは、100 周年記念バナーパッチを獲得することができます。しかし、人々を助け、人々の人生を変えるという喜びと達成感こそが真の報奨といえるでしょう。100 周年の目標達成と人々に個人の尊厳をもたらすために、世界中のライオンズと共に取り組みましょう。

よろしく願いいたします。

山田 實紘
国際会長

アスク・ワン(一人誘おう)による影響力の向上



アスク・ワン キャンペーンによって、クラブは地域社会により大きな影響力を発揮することができます。新規会員の獲得が奉仕とクラブの成果向上につながります。そのすべてはクラブへの入会を誘うことから始まります。

視力保護のための世界奉仕ウィーク

10 月 4 日から 10 日にかけての視力保護のための世界奉仕ウィークに向けて、地域社会における視力保護のための特別奉仕事業を企画してください。これは、世界中のライオンズと共に 100 周年を祝い、地域社会を向上させるだけでなく、顕彰獲得の機会でもあります。

視力に関わる世界奉仕ウィークページに、100 周年奉仕チャレンジのための企画ガイドや事業案が掲載

(報告事項) -29-

地域社会に違いをもたらせるように、友人、家族、隣人を対象としたアスク・ワンの実践をライオンズに呼びかけてください。[アスク・ワン Web ページ](#)をご覧ください。

されていますのでご覧いただき、事業立案を開始してください。

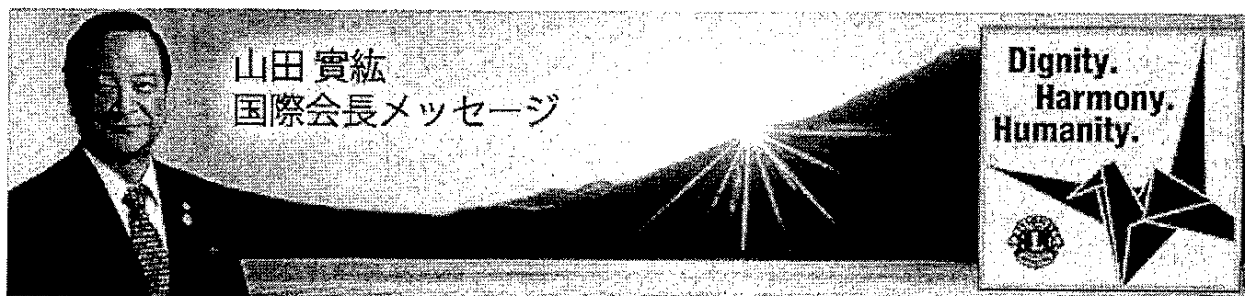
Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

クラブのリーダーに宛てた私の10月のメッセージを、皆さんにもお送りいたします。

クラブのリーダーの皆さんには、100周年記念会員増強賞について引き続きクラブの会員に周知促進を図るようお願いしております。本アワードプログラムは、クラブを強化するとともに会員をたたえるのにつけての方法です。これを活用し、ともに大きな成果を上げようではありませんか。またクラブには、10月10～16日の「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」に向けた特別事業を実施するようお願いしております。今年度の優先事項として会員増強と奉仕に引き続き取り組んでいきましょう！

どうぞよろしくお願いいたします。

山田實紘



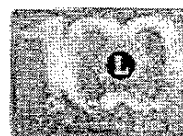
ライオンズ会員各位

100周年記念は一生に一度しか訪れない、世界各地のライオンズの歴史を祝うまたとない機会です。これはまた、私たちの未来がいつそう明るいものとなるように尽くしている会員とライオンズクラブの働きをたたえる機会でもあります。

100周年記念会員増強賞は、全ての会員とライオンズクラブに、100周年を記念する期間限定のアワードを獲得するチャンスを与えてくれます。

会員のために設けられたシルバー、ゴールド、ダイヤモンド・レベルの100周年記念アワードを獲得しよう

2018年6月30日までに新会員と新クラブをスポンサーして100周年記念会員増強賞を獲得してください。新会員または新クラブが正規の状態を維持している期間が長ければ長いほど受けられる表彰も増えます。



プレミアまたはワールドクラス100周年ライオンズクラブになろう

ワールドクラス100周年クラブとなるチャンスをお見逃しなく！クラブが確実にこの表彰を受けるためには、年度末までに少なくとも3人の新会員をクラブに加える必要があります。



本プログラムと、受賞可能な賞に関する詳細については100周年記念会員増強賞についてのウェブサイトをご覧ください。

詳細はこちら！

どうぞよろしくお願いいたします。

国際会長
山田實紘

新会員を招請してインパクトを高める

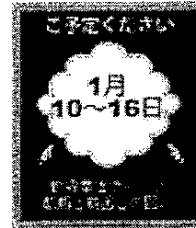
1月は飢餓と貧困の撲滅に取り組もう

(報告事項) -31-



新会員を招請することで、クラブは地域により大きなインパクトを与えることができます。新会員を増やすことは、奉仕の力を強化し、クラブに継続的な成功をもたらすだけでなく、皆さんやクラブに100周年記念会員増強賞の特別な表彰を受けるチャンスをもたらします。

それはすべて、家族や友人、あるいは隣人に声をかけ、クラブへの入会を誘うことから始まります。会員増強の取り組みを活気づけるための方法や資料については、アスクワン(1人誘おう)のウェブサイトをご覧ください。



8億人以上の人々が貧困に苦しんでいます。それぞれの地域で特別な奉仕事業を企画しそれを1月10～16日の「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」に実施することにより、社会に貢献することができます。

この特別な100周年記念奉仕チャレンジのイベントを計画するための情報については、「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」のウェブページをご覧ください。いまから計画を立て、私たちライオンズを必要としている人たちに手を差し伸べ、尊厳と希望をもたらしましょう。

Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
 配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

LEADER

NETWORK

2015～2016年度第1号



Lions Clubs International

2015～2016年度国際テーマ:命の尊厳と和

**Dignity.
Harmony.
Humanity.**



毎年、何千羽もの小さなツルがヒマラヤの山々を超えて渡っていきます。この困難な旅を生き残れるかどうかは、群れに属する一羽一羽の協力、チームワーク、家族のつながり、そして調和にかかっています。

日本では、ツルは伝統的に長寿のシンボルとされてきました。折り紙のツルは最も基本的で一般的な形なので、子どもたちは誰でもその作り方を教わります。日本には、折り鶴に病気の友人や家族が良くなるようにと願いを込める習慣もあります。また、ツルは日本だけでなく世界中の国々で平和の象徴でもあるのです。

平和、希望、信念、チームワークと、奉仕を通じて世界をひとつにすることは、2015～2016年度の国際テーマ「命の尊厳と和」の中心的な要素です。

人間が尊厳を保つために必要な基本のひとつは、自分自身と家族を養う力を持つことです。しかし今日の世界では、数百万人もの人々が不確かな未来に直面し、自らの生活をめて子どもを慈しむという希望を持たずにいます。山田会長は「児童への奉仕を今年度の主な焦点に据え、「子どもの尊厳イニシアチブ」によって彼らの生活を改善するようにライオンズに呼びかけています。例えば、入院している子どもたちに希望を与え、難民キャンプの児童のニーズに応え、空腹であれば食料を与えることや、リーディング・アクション・プログラムを拡大するといった取り組みです。

児童その他の人々に奉仕する中で、ライオンズは世界を変革し、調和・理解・平和の種を蒔いています。山田会長は今年度、私たちの一人ひとりが自分とは異なった文化を理解し、尊重するよう呼びかけています。地区ガバナーや協議会議長は連絡を取り合い、国際的な共同奉仕事業の機会を見極めることが奨励されます。クラブもまた、国際姉妹提携プログラムを通して文化交流に参加できます。物の見方の異なるライオンズとの交流は私たちの視野を広げ、自らの地域社会に有意義な奉仕を提供するためのひらめきを与えてくれるでしょう。

私たちはほぼ100年間にわたり、奉仕の伝統を築き上げてきました。2015～2016年度にも、その伝統を守り抜かなければなりません。100周年記念奉仕チャレンジの目標は、今から2018年6月30日までの期間に1億人に奉仕することです。この目標を達成するには、各分野での奉仕件数を3倍に高め、それぞれの取り組みをMyLCIのアクティビティ報告を通して報告する必要があります。山田会長は、私たちがこの目標を達成し超えていけると確信しています。

私たちはともに会員数を140万人近くまで増加させてきました。その努力を今後も継続する一方で、指導力も育成しなければなりません。そうすれば、ライオンズは次なる奉仕の1世紀にも有意義な存在であり続けることができるはずで、ライオンズは新たなアイデアを受け入れ、グローバル指導力育成チームと協力して有能なリーダーの発掘と育成に取り組むべきです。また、グローバル会員増強チームと協力し、会員増強を推進する新たな方法を見つける必要もあります。例えば、「アスク・ワン（一人誘おう）」会員増強キャンペーンを通し



て家族や女性に入会を呼びかけるなどの方法です。ライオンズとしてともに奉仕した家族は他者に奉仕する家風を築きます。そしてライオンズとして、私たちのクラブに未永く奉仕する力を与えてくれるでしょう。



2015～2016年度のグローバル会員増強チームとグローバル指導力育成チーム



グローバル会員増強チーム (GMT) とグローバル指導力育成チーム (GLT) は、協力して会員増強と指導力育成の促進に取り組みます。

GMTには、新会員を確保し、新クラブを結成し、クラブを向上させて会員維持率を高めることによる会員増強を監督する責任があります。GLTは、新たなリーダー候補を発掘し、指導力育成研修の質を高めることでその効果を最大化し、全レベルのライオンズに有意義な研修・育成プログラムを奨励および提供するために尽力します。

両チームは以下の3つの基本的な目標を共有しています。

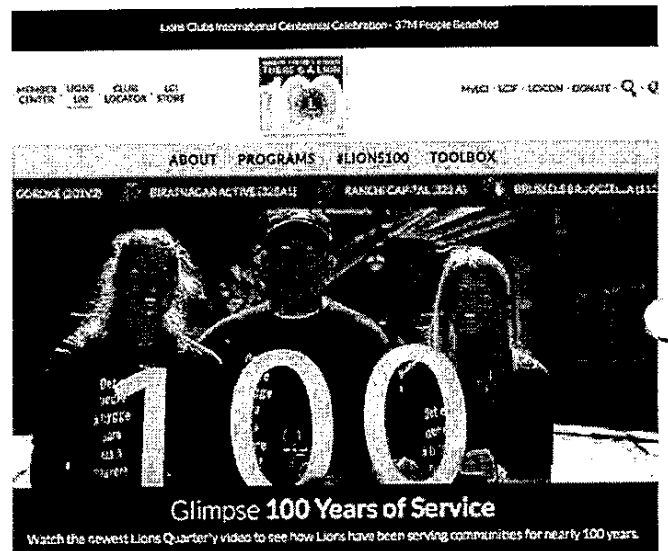
- 継続的な会員増強
- クラブのさらなる向上
- リーダーシップの質の向上

私たちは、これらの献身的な2015～2016年度ライオンズリーダーと複合地区および地区GMT/GLTに感謝するとともに、世界中のライオンズが彼らの支援と熱意を活用することを奨励します。それは、指導力育成と会員増強のあらゆる取り組みを最大限に成功させることにつながるでしょう。



100周年に関する最新情報

すでにご存じのように、ライオンズクラブ国際協会は2017～2018年度に100周年を迎えます。その祝賀はもう始まっています！100周年のテーマは「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」です。100周年記念は私たちの過去を称え、現在の意義と将来への計画を明確化するために役立つでしょう。



100周年記念チームの体制が設けられ、この記念活動の目標を達成すべく、ライオンズの指導と意欲喚起を支援していくこととなります。このチームは、100周年記念実行委員会、複合地区100周年記念コーディネーター、地区100周年記念コーディネーター、そしてクラブのリーダーで構成されます。100周年記念実行委員会は複合地区および地区100周年記念コーディネーターの活動を指導し、コーディネーターは各GMT、GLT、地区ガバナー・チームと協力して以下を行います。

- 100周年記念のプログラムと取り組みへの支援をクラブのリーダーと会員に呼びかける
- 主要な会員増強・奉仕目標の達成に向けて計画を立てる
- 世界中の各地域社会で100周年記念への熱意、認識、支援を生み出す

全言語で提供されている lions100.orgウェブサイトは、100周年記念のすべてに関する確かな情報源となっています。100周年記念奉仕チャレンジ (CSC)、会員増強賞プログラム、拡大を続ける包括的なツールキット、出版物等の詳細が掲載され、複合地区および地区100周年記念コーディネーター用のセクションも設けられています。さあ - 今すぐ100周年記念に参加しましょう！



2015～2016年度第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修

2015～2016年度第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修プログラムは、次期地区ガバナーの研修ニーズに対応すべく綿密に計画された包括的なアプローチを重層的に提供するものです。4つの要素で構成されるこのプログラムを通じて、将来の地区ガバナーは任期中に各地区を戦略的に管理し、変化に対応し、革新を促し、新たな機会を活用し、課題を克服するための態勢を十分に整えることができます。その4つの要素は以下の通りです。

- **個別研修 (2015年10月～12月)**:これはDGEセミナー・グループリーダーからの支援と指導を得ながら行う自習部分で、GLTエリア研修の基礎となる特別な課題と関連資料に取り組みます。各課題とも最後に理解度を確認するオンライン評価が設けられ、それぞれを決められた期日までに終了しなければなりません。
- **複合地区研修 (開催時期は各複合地区が決定)**:この部分では、複合/単一地区GLTコーディネーターに依頼し、各地域の第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修にいくつかのトピックを盛り込んでもらいます。これらの実用的なトピックは、重要なリーダーシップ・スキルと効果的な地区運営を焦点とするもので、地域のニーズに応じて柔軟に適用できます。
- **GLTエリア研修 (2016年1月/2月)**:この部分では、第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクトが担当のGLTおよびGMTエリアリーダーや仲間と協力し、指導力育成と会員増強に関する地区の目標と行動計画を完成させます。
- **2016年地区ガバナーエレクト・セミナー (2016年6月22～24日)**今年のセミナーは日本の福岡で行われ、対話型ワークショップと情報提供セッションを通して次期地区ガバナー全員に意欲喚起と多文化体験の機会を提供します。

第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修に対するこの刺激的なアプローチの成功は、すべての関係者の積極的な関与と献身にかかっています。福岡でお会いしましょう！

2015～2016年度のリーダーシップ研究会

「光栄にも学習をともにできた仲間の皆さん、またその中で生まれたすばらしい友情に、心から感謝しています。このすばらしいライオンズの家族を強化していくために何を目指せばよいか、全く新しい展望を持ち帰ることができました。」

「帰ってから3回、ライオンズの会議に行ってきました。私は今、意欲に満ちています。分かち合うべき成果が山ほどあるのですから！」

リーダーシップ・スキルを高めながら、ライオンズとしての熱意をこのように新たにする経験をお求めですか？それなら今すぐ、2015～2016年度ライオンズ・リーダーシップ研究会のどれかに申し込みましょう。

今年度の日程はGLTのリーダーと協力して立てられており、彼らは各会則地域の研修・育成ニーズに最も適した研究会を見極めてくれました。



2015～2016年度ライオンズ・リーダーシップ研究会の日程
(開催日時および場所は変更の可能性あり)

Constitutional Area/Region	Areas I & II USA, Affiliates, Bermuda and the Bahamas Canada	Area III South America, Central America, Mexico & Islands of the Caribbean Sea	Area IV Europe	Area V The Orient & Southeast Asia	Area VI India, South Asia, Africa, the Middle East	Area VII Australia, New Zealand, Papua New Guinea, Indonesia & Islands of the Pacific Ocean	Africa
Emerging Lions Leadership Institute (ELI)	March 19-21, 2016 Denver, Colorado, USA	October 31- November 2, 2015 Cordoba, Cordoba, Argentina			March 12-14, 2016 Delhi, India	April 8-10, 2016 Brisbane, Queensland, Australia	
Advanced Lions Leadership Institute (ALI)	November 14-16, 2015 Chicago, Illinois, USA	April 16-18, 2016 Salvador, Bahia, Brazil	January 17-19, 2016 Rovaniemi, Lapland, Finland	December 8-10, 2015 Bangkok, Thailand	September 26-28, 2015 Colombo, Sri Lanka	September 8-10, 2015 Auckland, New Zealand	February 7-9, 2016 Lagos, Nigeria
Faculty Development Institute (FDI)	November 13-16, 2015 Chicago, Illinois, USA		October 5-8, 2015 Augsburg, Bavaria, Germany	February 25-28, 2016 Nagoya, Japan	September 25-28, 2015 Colombo, Sri Lanka		February 6-9, 2016 Lagos Nigeria

各研究会の申込書は国際協会ウェブサイトに掲載されています。非常に多くの申し込みが寄せられるため、必ず参加できるという保証はありません。すべての研究会に関して、経費を賄うための返金不可の参加費が必要です（芽生えるおよび上級ライオンズ・リーダーシップ研究会はUS\$125、講師育成研究会はUS\$150）。この参加費は、研究会開始日の4週間前までに支払わなければなりません。

3種類の各研究会で取り上げられるトピックの簡単な説明と日程案は、国際協会ウェブサイトの「育成プログラム」のページをご覧ください。

講師育成研究会

講師育成研究会 (FDI) は、進行役としてある程度の経験があり、ライオンズの研修行事で講師を務めている会員がスキルを高める絶好の機会です。そのカリキュラムでは、プレゼンテーションのスキルに重点を置くだけでなく、他にも数々のスキルと概念を取り上げています。それらは提供される研修の質を高め、究極的には国際協会の指導力育成プログラムの効果そのものを左右することになるでしょう。この4日間の集中的な研修行事では、参加者が討論、実演、実践を通してこうしたスキルを身に付けていきます。研修を終えた各参加者は地元で研修行事を企画して実施する必要があり、それを終えて初めてFDIの「修了者」と認められます。次のページに掲載されている109人のライオンズは、各会則地域で最近FDIを履修しました。これらのFDI参加者を祝福し、皆さんの地域で研修ニーズが認められた時には彼らと以前のFDI修了者の存在を思い出してください。必ず力を貸してくれることでしょう！



フィリピン、マニラ

2015年5月14~17日

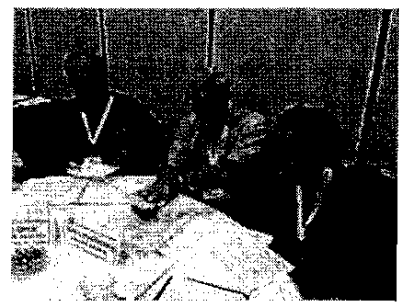
204 Rosalinda A. Tolan
 380 Jing Rong
 381 Gan Du
 386 Dong Shen
 389 Yan Kang
 389 Yong Lin
 300 A1 Chang Lu-Chang
 300 A2 Gloria Huang-Ying Chen
 300 A2 Hsiang-Tsao Liu
 300 A3 Su Tan Wei
 300 C1 Hsiu-Chu Li
 300 C3 Chin Fang Lai
 300 G2 Ting-Yu Ssu
 301 A1 James Dean Fulcher
 301 D2 Benilda C. Cuerpo
 301 D2 George Ong-Tan
 301 E Arnold G. Alindada
 308 A2 Mary Law
 308 B2 Wai Keong Cheong
 310 A2 Prayat Sirinaphaphan
 310 A2 Dr. Surangrat Vardhannabhuti
 310 C Krirk Tungsanga
 310 C Yasuhisa Nakamura
 32 A Kimio Sasaki
 332 C Shunichi Suzuki
 333 C Osashi Matsumoto
 333 E Shinichi Otake
 334 E Masayoshi Maruyama
 335 A Hiroaki Tatsumi
 335 D Osafumi Egusa
 336 B Hiroshi Otani
 337 B Hiromi Kawano
 354 A Byung-MinHwang
 354 C Han-Oh Chung
 354 F Gi-Bong Kim
 355 B1 Young-Chul Seo
 355 E Soon-Tak Choi
 356 C Myung-Ja Park
 356 D Jae-Pung Yoo
 356 E Kyung-Mo Kim



ボスニア・ヘルツェゴビナ、サラエボ

2015年5月25~28日

120 Mart Viileberg
 121 Ewa Helka
 121 Justyna Krochmal
 123 Ervand Kostandyan
 123 Ovik Nagapetian
 123 Armine Oganesyanyan
 123 Elena Ovchinnikova
 124 Istvan David
 126 Mirjana Cusek-Slujski
 126 Nada Savoric
 129 Primoz Stosicki
 129 Zoran Vodopija
 130 Vassil Kljajkov
 130 Momchil Kornazov
 132 Dragi M. Filevski
 132 Vesna Z. Pacanoska
 アルバニア Enisa Shehu
 アルバニア Teuta Shehu
 ベラルーシ Lolita Alexeeva
 ベラルーシ Daiga Baranovskaya
 ボスニア・ヘルツェゴビナ
 Mehmed Kundurovic
 ボスニア・ヘルツェゴビナ
 Sabina Mujezinovic
 ラトビア Inguna Beinerte
 ラトビア Zigurds Beinerts
 キルギス共和国
 Galina Gorovikova
 モルドバ共和国
 Violeta Ioxa
 モルドバ共和国
 Vlad Pusca
 モルドバ共和国
 Iulia N. Schwarzwald
 ウクライナ Iryna Osinska
 ウクライナ Larisa Osinska



米国イリノイ州ショウンバーグ

2015年5月31日~6月3日

1 D Fred A. Peska
 1 H Terry L. Knollenberg
 2 X1 Fred B. Conger
 2 X2 Barbara Lynn Nacol
 3 H Tom R. Cummings
 4 C3 Linda P. Wagner-Griffin
 4 C4 Kenneth F. Ibarra
 5 NW Patricia A. Vannett
 5M 1 Earl N. Orvik
 5M 6 Paul R. Kowitz
 6 SE Ronald L. Smith
 7 L Claudia Griffin
 8 I Michael R. Kennedy
 9 NC Gary M. Schriver
 9 SW Sheri L. Holliday
 11 C1 Lloyd R. Foster
 13 D David Gauch
 13 J Charles R. Newland
 14 F David H. Hollern
 16 L Rosemarie P. Townend
 16 N Winster D. Ceballos
 19 E Frank M. Bega
 20 K1 Barbara L. Moody
 20 S Lorri E. Rieger
 21 B Claroy P. Hanson
 21 C N. Alan Lundgren
 23 B Donato D. DiVirgilio
 26 M5 Patricia M. Scott
 27 C1 Dwaine A. Habrat
 31 H Mike Elmore
 33 K Paul W. Calnan
 35 I Suzy M. Stathas
 37 N Sharon L. West
 37 O Tim C.K. Haight
 37 O Dennis J. Stevenson
 49 B Robert D. Marcinkowski
 A 16 Lloyd M. Clifton
 A 711 Dan Sibanda
 N 2 Claire L. Brunelle



2015～2016年度地方ライオンズ・リーダーシップ研究会

地方ライオンズ・リーダーシップ研究会（RLLI）プログラムは、複合地区および単一地区レベルでの指導力育成研修を奨励し支援するものです。複合地区および単一地区GLTコーディネーターはこのプログラムを通して、各地で行われる研究会への限られた補助金とカリキュラム支援を要請できます。

RLLIのカリキュラムの目的は、リーダーシップ・スキルを磨きたいと考えているライオンズの力を養うことです。チームワーク、多様性、自分自身の使命声明文、スピーチなど、リーダーシップに関するさまざまなトピックに取り組む中で、参加者は確固とした基礎を身に付けていきます。この貴重な研修機会の詳細は「地方ライオンズ・リーダーシップ研究会」のウェブページをご覧ください。

下記の55の複合地区と15の単一地区にお祝いを申し上げます。これらの地区は2015～2016年度地方ライオンズ・リーダーシップ研究会の実施を承認されました。リーダーシップ開発部には今年、記録を更新する76件もの要請が寄せられました！リーダーシップ・スキルの向上に対する皆さんの意欲と献身に感謝いたします。

会則地域 1

1	イリノイ州
2	テキサス州
4	カリフォルニア州
5	ノースダコタ州
11	ミシガン州
13	オハイオ州
15	ワイオミング州
19	ワシントン州
20	ニューヨーク州
22	メリーランド州
24	バージニア州
30	ミシシッピ州
33	マサチューセッツ州
35	フロリダ州
39	オレゴン州/アイダホ州
46	ネバダ州
50	ハワイ州

会則地域 2

U ケベック州

会則地域 3

D	パナマ
F	コロンビア
H	ペルー
J	ウルグアイ
LA	ブラジル
LC	ブラジル
LD	ブラジル
M	パラグアイ
O	アルゼンチン
R	ドミニカ共和国
S	ボリビア

会則地域 4

101	スウェーデン
104	ノルウェー
107	フィンランド
108	イタリア
109	アイスランド
115	ポルトガル
118	トルコ
126	クロアチア
132	マケドニア

会則地域 5

300	台湾
301	フィリピン
308	マレーシア
310	タイ
337	日本
354	韓国
355	韓国
356	韓国
380	中国 深圳
381	中国 広東
382	中国 大連
383	中国 青島
386	中国 浙江
387	中国 遼寧
388	中国 陝西

会則地域 6

305	パキスタン
306	スリランカ
316	インド
317	インド
318	インド
321	インド
322	インド
323	インド
324	インド
325	ネパール

会則地域 7

201	オーストラリア
307	インドネシア

アフリカ

403	マダガスカル
404	ナイジェリア
409	コンゴ
413	ザンビア
414	チュニジア

2015～2016年度複合地区指導力育成資金援助プログラム

複合地区指導力育成資金援助プログラムの目的は、第一および/または第二副地区ガバナーを対象とした複合地区レベルの研修を支援することです。リーダーシップ開発部ではカリキュラムに含めるべき特定のトピックを提供しますが、研修内容のバランスは、複合地区の研修に責任を負うGLTが複合地区特有のニーズに基づき決定します。このプログラムの具体的詳細が記された申請書は、「複合地区指導力育成資金援助プログラム」のウェブページに掲載されています。資金枠には限りがありますので、複合地区GLTコーディネーターの皆さんはできるだけお早めに申請書をご提出ください。



GLT地区資金援助プログラム

質の高いリーダーシップはあらゆる組織にとって不可欠です。ゾーン・チェアパーソンは、クラブ/ゾーンが国際協会を十分に理解し、その会則と方針の範囲内で活動し、クラブの健康を維持し向上させることができるよう尽力しています。またGMTとGLT双方の積極的なメンバーとして、ライオンズリーダーの質の向上、一貫した増加、継続的な育成の推進に取り組んでいます。

GLT地区資金援助プログラムは、地区レベルでのゾーン・チェアパーソン研修に限られた資金援助を提供するものです。地区GLTコーディネーターは、この資金援助プログラムを活用することが奨励されます。各年度地区当たりUSD\$500を上限とし、地区の支出額に対するマッチング資金として対象となる支出額の払い戻しが行われます。申請書は国際協会ウェブサイトの「グローバル指導力育成チーム・コーディネーター・センター」に掲載されています。

国際協会Eラーニング最新情報

初夏には国際協会の指導力育成ウェビナー、「クラブ幹事研修」「クラブ会計研修」「リーダー・管理者としてのクラブ会長」に記録的な数のライオンズが参加しました。多くが初めてだった参加者は計2,081人で、その一人ライオン・ソニアは次のように述べています。「私が経験したことは絶対に想像もつかないでしょう。全く新しい世界が開けたのです。」クラブ役員研修その他のウェビナーの録画はウェビナー・アーカイブに掲載されています。

指導力育成ウェビナーは、各地で顔を合わせて行う研修の代わりとなるものではありません。むしろそうした研修を、自宅・職場・クラブといった便利な場所で容易に利用できる方法により高め豊かにしようとするものです。今年度は以下のようなウェビナーが予定されています。

- ひとつの大冒険：ゾーン・チェアパーソンの役割
- 世代間のハーモニー：多様性のあるライオンズクラブ国際協会を導くには
- 目標と行動計画の設定
- 会議運営
- 対立の解消
- テーブルと国境を越えて：構築
- ライオンズ同士の関係
- リーダーシップ・ツールとしてのソーシャルメディア
- 効果的なプレゼンテーション
- 元地区ガバナーにとってのライオニズム
- 協議会議長の役割

12月までに予定されているウェビナーについては、現在登録を受け付けています。ライオンズの知識を高めるため、今日にでも登録してください！国際協会の指導力育成ウェビナー

ゾーン・チェアパーソン用の新たな自習モジュールが登場

ゾーン・チェアパーソンはゾーン内のクラブにとって不可欠な存在です！各地区ガバナーに選ばれた皆さんは、以下を奨励し推進する役割を果たします。

- 健全で活発なクラブ
- クラブと地区レベルの情報に精通したリーダー
- 会員増強、指導力育成、運営上の目標に協力して取り組む委員会

各ゾーン・チェアパーソンが効果的に職務を果たすには、自らの役割のあらゆる側面に配慮し、成功への計画を立てて実行し、その過程で関係するすべてのグループに重要な情報を伝達しなければなりません。こうした複雑な役割を果たすため、手を貸してくれる人々や情報確保に役立つ資料を活用してください。まだ連絡していない場合には、まず地区GLTコーディネーターに研修に関する情報を問い合わせましょう。次に、リーダーシップ情報センターの「研修教材/資料」のページを確認し、新たに改訂されたゾーン・チェアパーソン用のオンライン自習モジュールを履修してください。

この自習モジュールでは以下を取り上げています。

- ゾーン・チェアパーソンの役割と責任の要約
- 手を貸してくれる人々と情報確保に役立つ資料の概要
- 任務に向けて計画を策定・実行する中で考慮すべき重要な問題
- よくある課題に対処するための戦略

上記はすべて、各10分ほどの4つの短いパワーポイント・スライドにまとめられ、時間のある時に、必要に応じて何度でも確認できます！それぞれワークブックも添えられており、印刷して要点の検討、メモ、復習に役立てられます。

The position of zone chairperson encompasses these roles simultaneously.

To help you achieve this objective, you will need to ensure that clubs in the zone:

- Understand their position and importance in the association
- Function with a clear understanding of the association's constitution
- Have an effective communication plan
- Strive for continuous growth

The district governor's advisory committee is expected to meet at least three times annually. This is one important topic of discussion at each advisory committee meeting.

The zone chairperson collaborates with the district governor to ensure clubs in the zone.

This slide on page 7 of your workbook.



研修ツールとともにテクノロジーを使いこなそう
インターネット接続のわずかな料金を自宅・職場・クラブ
ハウスにいるライオンズを結び付け、その場でともに指導
力育成コースに参加させられるとしたら、何が実現される
でしょう？答えは新しいアイデアが皿に盛られ、経験の
活発な分かち合いを楽しめるパーティです！



お気付きのように、指導力育成に関しては自主的に参加する
オンライン・コース、すなわちウェビナーが便利です。個々の
ライオンズが何百人もの仲間と結び付き、このツールを役立
ててきました。ウェビナーにグループとして参加したり、二人一
組でオンラインのライオンズ学習センター（LLC）を体験した
ライオンズから、ますます多くの報告が寄せられています。
Eラーニングを交流の場にすることで、ライオンズはさらに
以下のような成果も上げています。

- セッション終了後にグループでウェビナーの内容について話し合うことで、学習の深化や新たな知見が得られている。
- テクノロジーに精通したライオンズがウェビナーやLLCの初心者
にこれらのツールの手ほどきをしている。この方法により、初
心者は支援を受けながら安心してそのテクノロジーを体験し、
親しんでいくことができる。
- 研修が楽しくなり、個々の利用者を結び付けるテクノロジー
によって、地域のライオンズの間でも世界中のライオンズの間
でも連携が拡大している。

クラブや地区でグループを作ってウェビナーに参加したり、
LLCのコースを体験することを考えてみてください。グループの
規模によってはプロジェクターを用意し、スクリーン上の情
報が全員に見えるようにするとよいでしょう。ウェビナーと
LLCのコースはグループの一人が登録するかログインするだけ
で利用できますが、参加者全員の氏名とグループで分かち合
った感想をリーダーシップ開発部までご提出ください。グ
ループでの研修セッションが楽しく実りあるものとなります
よう！

ちょっとしたアイデア

近い将来にクラブ役員、ソーン・チェアパーソン、その他の
研修を開くご予定ですか？その研修の手配面に地域社会や
レオを参加させてはいかがでしょうか？それはまさしく、
地区GLIコーディネーターのリンダ・ジグラー元協議会
議長がしたことです。彼女は地元高校の校長と協力して日
程を組み、その高校で地区のクラブ役員研修を開く計画
を立てました。地元のレオが手配を手伝って登録を担当
し、研修セッションの一部に招待されました。

クラブ会議のお決まりの場所を出て地域社会に研修会
場を設けることにより、ライオンズはその一員として認
知度を高めることになったのです。この研修に参加した
ライオンズクラブの役員はより大きな集団の一員として、
深く幅広い意見交換を行う機会を与えられました。また、
研修にレオが加わったことで、レオとライオンズはとも
に学習を高めることができました。なんとすばらしいア
イデアでしょう！

お便りをお待ちしています！

LEADER NETWORKの目的は、研修と指導力育成に役立つ情報
やアイデアをグローバル指導力育成チームの皆さんに提供
することです。「ちょっとしたアイデア」、本紙へのご
提案、または次号（2015年11月）への掲載を希望される
トピックがありましたら、ぜひお聞かせください。宛先は
leadership@lionsclubs.org です。

どんな地域社会にも、やることが残されている。どんな国にも、癒すべき傷がある。どんな心にも、それを成し遂げる力が宿っている。

マリアン・ウィリアムソン 作家

LN41 JA 8/15



Lions Clubs International

9月のニュースワイヤーでは、視力保護のための世界奉仕ウィークを紹介して、クラブの例会をリニューアルするための有用な情報・資料や、アスク・ワンに関する詳細情報などを提供します。

視力保護のための世界奉仕ウィーク



この10月4日～10日に、山田会長は、目の健康、失明、視覚障害に関する認識を高めるための特別な奉仕行事に世界中のライオンズとともに参加することを呼びかけています。視力検査、眼鏡や補助器具の提供、目の健康教育は、適切な眼科医療を受けることができない友人や隣人にあなたのクラブが尊厳をもたらすことができる方法のほんの一例に過ぎません。さらにあなたの事業は、1億人の人々に奉仕するという100周年記念奉仕チャレンジの目標達成を後押しします。視力保護のための世界奉仕ウィークのページで詳細情報を参照して、事業の計画を今すぐ始めてください。

今すぐ「アスク・ワン」!



あなたの地域社会により大きな影響を与えて、「アスク・ワン」を進めましょう。いたってシンプルです。世界中の140万人のライオンズが1人の親族、友人、または隣人をライオンになるよう誘うだけで、絶大な効果が得られます。最初の一步を踏み出して1人を誘うだけで、ライオンズと奉仕される人々の両方の人生が変わります。新しい「アスク・ワン」ビデオを観て、新規会員の写真を askone@lionsclubs.org まで送ってください。

平和ポスター・コンテスト・キットの注文締切日は10月1日です

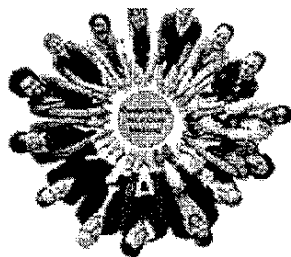
毎年、ライオンズクラブ国際協会の平和ポスター・コンテストでは、世界中の子供たちに芸術を通じて平和へのビジョンを表現する機会を提供しています。ライオンズクラブは、地域の学校や青少年団体とともにコンテストのスポンサーおよび主催者になることができます。今年のテーマである「平和を分かち合おう」のキットは、クラブ用品部(検索語: 平和ポスター・キット)から2015年10月1日までオンラインで入手できます。平和ポスター・コンテストのページで詳細情報を参照し、新しい平和ポスター・ビデオを観て昨年の優秀賞受賞者をご覧ください。

クラブに合った例会づくり - あなたのクラブ、あなたのやり方で!



Your Club, Your Way!

あなたのクラブ例会、今のままで大丈夫? 「あなたのクラブ、あなたのやり方で」ガイドは、すべてのライオンズが現在のクラブ例会を検証して、幅広い会員層のニーズを最も満たす形で例会を構成するのに役



立ちます。例会をさらに魅力的なものにするためのさまざまなヒントや新しい方法を見つけて、結び付きを強めて参加と関与を促すための新しい形態のテクノロジーを導入してください。このガイドには、会員の意見を収集するための簡単なアンケートも含まれています。「あなたのクラブ、あなたのやり方で」ガイドをダウンロードしてください。

新しいビデオ: 第98回国際大会ハイライト

6月に、ホノルルで開催されたライオンズ国際大会に世界中のライオンズが集まりました。新しい大会ハイライト・ビデオでは、国際パレードの熱気と文化、展示ホールと総会でのライオンズ同士の友情、大会の舞台であるハワイの美しい風景を紹介しています。このビデオは [LCI YouTubeチャンネル](#) でご覧いただけます。

ライオンズ四季報(LQ)



[LQ](#) を観て、カウアイのライオンズが菜園の支援を通じて地域社会への食料供給を援助している様子をご覧ください。

コンテスト

平和ポスター・コンテスト

今年度のテーマ「平和を分かち合おう」の平和ポスター・コンテスト・キットを購入してください。

ハイライト

ライオンズ・ブログ

最新のライオンズ奉仕プログラムや世界各地で活躍するライオンズの特集記事をご覧ください。

デジタル版ライオン誌

ライオン誌(国際本部版)は、オンラインでご覧になれます。このデジタル版には追加コンテンツ、ビデオ、リンクがあります。

行事

行事予定表

所属クラブが地元で参加できる、ライオンズの今後の行事をご確認ください。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
 配信停止をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。



ニュースワイヤー

ニュースワイヤー10月号では、糖尿病教育月間、ライオンズ創立100周年祭の最新ビデオ、視力の世界奉仕ウィークなどを紹介します。

こんにちはライオンズ！ LCIconに今すぐ登録しましょう！



第99回ライオンズクラブ国際大会は、2016年6月24日～28日に日本の福岡市で開催されます。福岡は日本の南西部に位置し、日本最古の禅寺がある場所でもあります。福岡は、新鮮で豊かな海の幸を使った料理や日本屈指の規模の屋台街で知られる食の街です。

大会では、ライオンズならではの多種多様な文化を披露するインターナショナル・パレードなどの行事が福岡市の中心部で催されます。大会に関する最新情報については、LCIconのウェブサイトをご覧ください。

今すぐ大会に登録すれば、早期割引料金の130ドルで登録できます。また、国際協会を通してホテルの部屋を予約すると、所属クラブの代議員と同じホテルに泊まることができます。

創立100周年祭の新たなビデオ: 盲人の騎士(「盲人のために暗闇と戦う騎士」)

現在、国際協会のウェブサイトより、ライオンズ創立100周年祭に関連する最新のビデオの閲覧とダウンロードをすることができます。盲人の騎士として、ライオンズが過去100年にわたり世界中の目の不自由な人々に対して取り組んできた奉仕活動の歴史をご覧ください。ライオンズ100周年ビデオでは、地域に根ざした豊かな奉仕活動の歴史を垣間見ることができる貴重な写真や映像が紹介されています。100周年ビデオ・シリーズについては、ライオンズ100周年ウェブサイトをご覧ください。また、100周年に関連した活動やビデオをソーシャルメディアで共有する場合、必ず「#LIONS100」のハッシュタグを付けてください。

100周年、成功への道のり

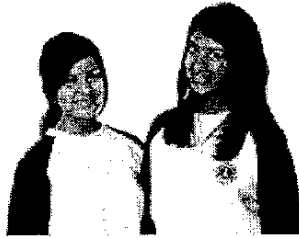


100周年記念奉仕チャレンジが始まって1年が過ぎ、1億人に奉仕するという目標の折り返し点に到達したことをご報告します。しかしながら、まだ大勢の人々がライオンズの皆様の奉仕と支援を必要としています。所属のクラブが活動に参加するには？2015年の10月4日～10日にかけて、視力保護のための世界奉仕ウィークに参加し、目の健康、盲目および視力障害についての啓蒙を行う奉仕事業を実施することで、創立100周年祭の目標達成に協力することができます。詳細については、視力保護のための世界奉仕ウィークのサイトをご覧ください。

糖尿病教育月間への参加

ライオンズは毎年11月、糖尿病患者の世界的な増加についての認識向上と、世界糖尿病デー (11月14日)の普及を目指した奉仕事業を開催しています。今すぐ糖尿病奉仕事業の計画をスタートして、関連行事を成功させましょう。一例として、ウォーキング活動、地域センターでの無料の糖尿病スクリーニング、地域の学校での健康的な食事に関するイベントなどが挙げられます。奉仕事業のその他の行事例については、「糖尿病の教育および活動に関連する25の奉仕事業例」をご覧ください。

ライオンズクラブ:次世代のライオンズ



元レオをライオンズに招待しましょう！青少年の彼らはレオとして、奉仕事業の企画や他の人々に奉仕活動の動機付けを行うことを学び、リーダーシップ・スキルを高め、生涯にわたり奉仕活動に参加する姿勢を身につけています。ライオンズに元レオを招待することで、奉仕活動を継続できるだけでなく、所属のクラブに新たなアイデアをもたらしてくれます。レオからライオンへの移行についての詳細、および青少年の活動が、地域、国内、国際的に与えてきた変化や影響についてもっと知る。

ライオンズ四季報(LQ)



ライオンズ創立100周年祭に関連する最新のビデオについては、[LQ](#)をご覧ください。

行事

[視力を分かち合おう](#)
今月の100周年記念奉仕チャレンジに参加しましょう。

行事予定表

所属クラブが地元で参加できる、ライオンズの今後の行事をご確認ください。

ハイライト

[ライオンズ・ブログ](#)

最新のライオンズ奉仕プログラムや世界各地で活躍するライオンズの特集記事をご覧ください。

[デジタル版ライオン誌](#)

ライオン誌(国際本部版)は、オンラインでご覧になれます。このデジタル版には追加コンテンツ、ビデオ、リンクがあります。

コンテスト

[国際作文コンテスト](#)

目の不自由な子供たちと、平和への思いの共有を目指します。



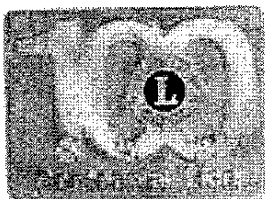
Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

Membership PULSE



新クラブの結成 | 会員の招請 | 会員増強 | 各種会員レポート

ダイヤモンド100周年ライオンになりましょう！



記念にぜひご参加ください！今から2018年6月にかけて、すべてのライオンズには100周年記念に加わるチャンスがあります！100周年記念会員増強賞では、新会員を招請し、または新クラブの結成に手を貸したライオンズを表彰します。これらのライオンズには100周年スポンサー・ピンと証書が自動的に贈られますが、表彰はそこで終わりではありません。入会させた新会員や結成させたライオンズクラブが長く活動を続けるほど、獲得できるアワードが増え、そのレベルは累進的に上がっていきます。

ライオンズクラブにもアワードを獲得する機会があり、手始めは今年度内に3人以上の新会員を入会させることです！

獲得できるアワードは100周年記念会員増強賞のウェブサイトでご確認ください。今日にでも行動を開始しましょう！

支部を設置 - 会員増強と満足度維持

ライオンズクラブ支部は、クラブ会員を増やすとともに、会員の満足度を維持するためにも役立つ絶好の方法です。クラブ支部を結成するには少なくとも5人の会員が必要です。その会員は「親」クラブに所属しますが、別に例会を開き、独自の奉仕事業を選択できます。

クラブ支部を設けることには、以下のように数々の利点があります。

- クラブ支部は世界各地で、家族、女性、若手会員を増やすために役立っています。
- クラブ支部の設置は、少人数のグループが特別な目的に基づき例会の時間や奉仕事業を決定できるようにすることで、会員の満足度を維持するために役立っています。
- 地区は多くの場合、新ライオンズクラブを結成する前に地域社会に奉仕を提供する方法として、クラブ支部を利用しています。

クラブ支部の設置は100周年記念会員増強賞の獲得にも役立つでしょう。クラブ支部の新会員のスポンサーになり、あるいはクラブ支部が成長して独自のクラブになれば、さまざまなアワードの獲得へと着実に進んでいくことができます！

クラブ支部ガイドをダウンロードして、いかに簡単に着手できるかをご確認ください！今日にでも支部の設置に乗り出しましょう。

勧誘ツール

ライオンズ入会申請書は、いつでもすぐ使えるすばらしい勧誘ツールです！次回の地域行事で手渡せるよう、ダウンロードして印刷しておくべきです。常に友人、家族、若手、その他の地域の人々に情報を広めるとともに、インパクトを及ぼすための支援を呼びかけましょう。新会員を招請すると100周年スポンサーとして自動的に表彰され、その新会員が長くクラブに留まるほど、獲得できるアワードも増えていきます！

ご質問は

会員を確実に満足させるには？

誰かをクラブに誘うことはほんの始まりに過ぎません。クラブの健康を維持するためには、会員がライオンとしての経験を楽しんでいることが不可欠です。会員の満足度調査ガイドは、クラブを成功させ続ける方法を、順を追って理解していくために役立つツールです。ガイドの末尾には会員アンケートが付いています。次回の例会で配布し、会員がクラブでの経験をどのように感じているかを調べてください。結果をじっくり検討し、その情報を役立てて会員の満足度を維持する計画を立てれば、ライオンズとしての経験を常に最善のものにすることができます。

スポンサーとしてのストーリーをお聞かせください。

お便りをお待ちしています！100周年記念は間近に迫っています。会員開発部では、スポンサーとしての皆さんのストーリーと写真を募集します。最近、誰かをクラブに入会させたでしょうか？その詳細と、新会員と写した写真をお送りください！ライオンズクラブのソーシャルメディアやブログページに掲載させていただきます。応募はすべて CentennialMembership@lionsclubs.org までお寄せください。

ご質問は membershippulse@lionsclubs.org までお問い合わせください。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信停止をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。

100周年 コーディネーター ニュースレター



奉仕を通して導く

100周年記念奉仕チャレンジのほんの1年目であるにもかかわらず、ライオンズは圧倒的な形で応えてくれます。私たちは現時点で4,000万人への奉仕を行っており、目標である1億人の3分の1以上を達成しています。23,000近くのクラブが奉仕チャレンジの少なくとも1分野のアクティビティに参加しており、6,000クラブが、四つ全部のチャレンジ分野に参加してダイヤのパッチを獲得しました。皆さんの担当クラブはいかがでしょうか？100周年記念コーディネーターとして皆さんはMyLCIへのアクセスをお持ちです。MyLCIとアクティビティ報告システムを利用して、担当地区または複合地区内クラブの参加状況をチェックすることができます。近いうちに、100周年記念奉仕チャレンジと会員増強の取り組みへのクラブの参加状況を示す包括的な報告書を、MyLCIでご覧になれるようになります。この新しい報告書が完成しましたらお知らせいたします。

100周年記念奉仕チャレンジに加え、100周年記念活動の計画を始めるよう、地区及び複合地区に呼びかけております。新しく設けられた100周年記念補助金プログラムを通じて資金援助を得ることが可能です。この補助金プログラムでは、複合地区はUS\$15,000(1準地区当たりUS\$1,500、ただしUS\$15,000を上限とする)までの資金を申請することができます。単一地区は最高US\$2,500の資金を申請することができます。複合地区100周年記念コーディネーターが、協議会議長の署名を得た上で補助金申請書を提出する責任を負います。申請書は協会ウェブサイトLions100.orgから「プログラム」をクリックすればダウンロードすることができます。

新会員を招請してインパクトを高める

「新会員を招請してインパクトを高める」は、単なるフレーズではありません。実際にそうなのです。新会員が一人ライオンズクラブに入会する毎に30人の奉仕をすることが可能になるのです。つまり、単純に計算しても新会員が1万人入会すれば、世界中で30万人の暮らしにインパクトをもたらせることになります。

100周年記念会員増強賞プログラムにおいて目指しているのは、各クラブが年間最低3人の会員を加えること、そして各地区が年間最低一つの新クラブを増やすことです。

100周年記念会員増強賞プログラムでは早くも成果が見られています。コーディネーターの皆さんの役割は、この会員増強賞プログラムをクラブ、地区、複合地区に積極的に推進することによりGMTとGLTを支援することです。

地域社会とつながる

100周年をどのようにしてお祝いする予定ですか？今こそ、地域社会とつながり「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」という私たちのメッセージを伝えるために、100周年記念活動や祝賀行事等を計画する時です。

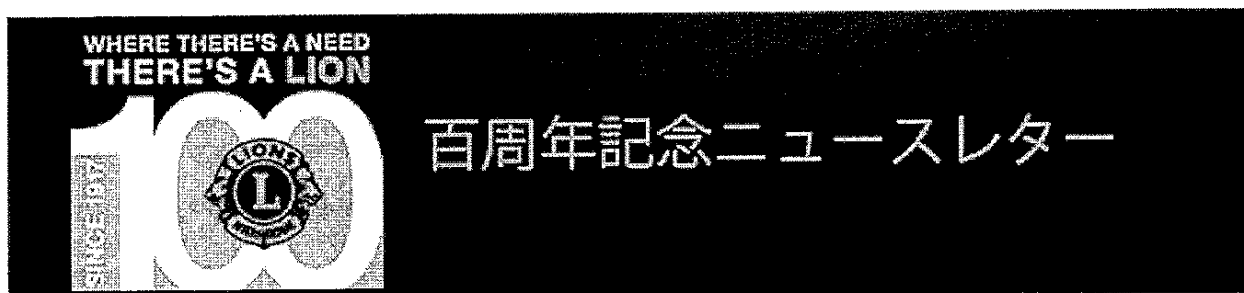
100周年を祝うだけでなく、100周年記念レガシープログラムにも参加するようクラブにお願いしています。100周年記念レガシープログラムには、例えばライオンズの紋章入り時計塔を地域の広場に建てる、ライオンズ公園を作る、クラブ所在地域への境界線入り口に新しいライオンズクラブ標識を立てるといった建設・設備関連事業や、クラブから地域への遺産として永く残るその他無数の事業が含まれます。

耳寄りな100周年ニュース

ライオンズクラブ国際協会では、各地区及び複合地区100周年記念コーディネーターにご着用いただくため、重要性がますます高まっているこの役職を務めてくださっていることを示す特別なピンを注文しています。さらに、担当地域内で100周年記念に取り組んでいるクラブに渡していただけるよう、他の100周年ピンもお届けします。

コーディネーター同士でアイデアや成功例を共有できるようにするためのコーディネーター専用の特別なウェブサイトの設置が可能かという質問が、多くのコーディネーターから寄せられました。これを受けて世界中の100周年記念コーディネーター同士がつながることのできるよう特別なフェイスブック・ページが設けられました。

最後になりましたが、100周年記念コーディネーターの旅費を賄うための予算が設けられました。地区コーディネーターの予算は年間US\$250、複合

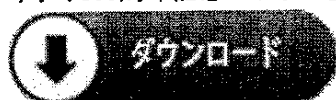
SHARE    MORE...

ライオンズ各位

100周年記念は、ライオンズ創立100周年を祝うために世界中のライオンズを団結させてくれます。以下は、今年度そして100周年記念期間中皆さんと皆さんのクラブがお祝いに参加できる三つの方法です。

- 奉仕を通して導くために、青少年、視力、飢餓、そして環境の四つの各奉仕分野において少なくとも一つの100周年記念奉仕チャレンジ事業を実施してください。クラブがチャレンジに参加した各年度のバーナッチを獲得できるよう、行った100周年記念奉仕事業を、必ずMyLCIを使って報告してください。
- 新会員を招請してインパクトを高めるために、少なくとも3人の新会員を招請しクラブに加えることを、クラブの目標としてください。新会員の招請と新クラブ結成の支援を行うことにより、皆さんと皆さんのクラブは、100周年記念会員増強賞の限定特別アワードを獲得することができます。
- 地域社会とつながるために、100周年コミュニティ・レガシー事業を企画してください。各地域社会に永くインパクトをもたらすであろう特別な事業を見出して、100年にわたるライオンズの奉仕を祝いましょう。独自のレガシー事業企画に関する詳しい情報をお届けしますのでご期待ください。

今すぐ100周年記念のチラシをダウンロードし、クラブの仲間と情報を分かち合いましょ！



力を合わせて取り組み、100周年記念を大成功させましょ！

どうぞ宜しくお願いいたします。

国際会長
山田寛紘



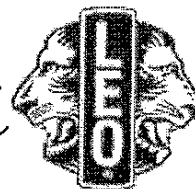
視力保護に取り組む世界奉仕ウィーク

10月4日～10日の視力の世界奉仕ウィークに参加ましょ。100周年記念奉仕チャレンジのこの特別イベントに関するクラブ向けチラシを今すぐダウンロードして、クラブの会員に配布してください。行った事業は必ずMyLCIを使って報告し、また、100周年記念事業と写真をソーシャルメディアに投稿する際にはハッシュタグ「#Lions100」を忘れずに付けてください。

ご予約ください：1月10日～16日は飢餓と貧困となくすための世界奉仕ウィーク

レオクラブを対象とする100周年記念表彰

ライオンズファミリーのメンバーとしてレオも、100周年が生み出す盛り上がりを感じています。100周年記念期間に結成されたレオクラブは、期間限定の結成確認書と100周年レオクラブ結成証書を受け取ります。ライオンズも、100周年記念奉仕チャレンジへの支援をしたレオクラブを、ダウンロード可能な賞状を用いて表彰することができます。



100周年記念硬貨

米国財務省では、ライオンズクラブ100周年を記念する限定版の100周年記念1ドル硬貨を造幣します。デザインの承認は2015年12月に行われ、記念硬貨が購入できるようになるのは2017年1月と予定されています。ライオンズクラブ国際財団は視力ファースト・プログラムを支援するための資金として、記念硬貨が1枚売れる毎に10ドル(40万枚を上限とし最大400万ドル)受け取ります。

その他の100周年記念関連情報

- [100周年ツールボックス](#)では、ライオンズの歴史を紹介する100周年ビデオが公開されています。
- 各地で開かれる[フォーラム](#)に参加し、100周年記念についてのセミナーに出席して情報を得てください。記念品も用意されています。
- Lions100.orgで100周年関連ニュースや最新情報をご覧ください。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。



Lions Clubs International
FOUNDATION

OUR FOUNDATION

ライオンズ各位

今月初めに、ソウデロア台風(台風13号)が太平洋で猛威をふるいました。強力な台風ソウデロアによって数十名の命が失われ、数百万世帯が断水、停電に見舞われて避難を余儀なくされました。この台風が通過した地域では、豪雨や高波、洪水、土砂崩れが発生しました。



ライオンズクラブ国際財団(LCIF)は 即座に対応しました。サイパンの救援活動のために、地区 204 ミクロネシアのライオンズに 1 万ドルの緊急援助交付金が交付されました。また緊急のニーズおよび長期的な復興支援のために、複合地区300 台湾に 20 万ドルの大災害援助交付金が交付されました。

MD 300 台湾、中国、ミクロネシアのライオンズは近隣住民の支援に奔走しています。しかし、彼らは皆さまざまのご支援を必要としています。ソウデロア台風の被害からの復興は容易ではありませんが、ライオンズと当財団は被災地域の短期・長期的な人道上的ニーズを支援します。LCIF の災害救援基金への寄付をご検討いただき、被災者に希望をもたらせるようご協力をお願いいたします。

ソウデロア台風の被害を受けたすべての人々に思いを馳せましょう。

よろしくお願いいたします。

ジョー・プレストン
ライオンズクラブ国際財団理事長

ANZI-太平洋諸島フォーラム

2015 ANZI-太平洋諸島フォーラム, "Don't Stop Thinking about Tomorrow (明日のことを考えよう)" が 9 月 4 日~6 日にニュージーランドのオークランドで開催されます。この地域のライオンズが参加できる多くのセミナーやネットワーキングイベントが行われます。9 月 5 日(土曜日)午前 10 時 30 分からの LCIF のプレゼンテーションに是非ともご参加ください。また、LCIF ブースにお立ち寄りいただき、各種交付金やプログラムに関する情報を入手してください。



米国/カナダ・フォーラム



2015 米国/カナダ・フォーラム が 9 月 17 日~19 日に米国ミシガン州グランドラピッズで開催されます。このフォーラムでは、北米全域のライオンズに研修とフェロウシップが提供されます。9 月 19 日(金曜日)午後 2 時からの LCIF のプレゼンテーションに是非ともご参加ください。また、LCIF ブースにお立ち寄りいただき、各種交付金やプログラムについてスタッフにお尋ねください。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。



Lions Clubs International
FOUNDATION

私たちの財団

ライオンズ各位

先頃のペルー、ブラジル、ベリーズの訪問で、私は多くのライオンズやレオの素晴らしい活動を拝見しました。

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)からの交付金を活用したリマ近郊のレオは、安全訓練、リハビリ、職業訓練を実施し、人身売買の若き被害者とその子供たちに希望をもたらしています。子供たちを対象とした LCIF の社会性と情動の学習プログラムであるライオンズクエストは、ペルーの 30 の学校で実施されています。



また、私は LCIF とライオンズが長年にわたって支援してきたブラジル、カシアス・ド・スルのアイバンクも訪問しました。ブラジルのパソ・フンドにある眼科病院を訪問した際には子供たちが歌を歌って歓迎してくれました。

世界中のライオンズの日々の取り組みを、私は大変誇らしく思います。ご自分の地域で実施されている優れた奉仕活動を他のライオンズとも共有できるようにお知らせください。

よろしくお願いいたします。

ジョー・プレストン
ライオンズクラブ国際財団理事長

視力保護のための世界奉仕ウィーク



10月4日から10日にかけて、回避可能な失明に対する意識啓発を目的とするライオンズの国際的なイベント、視力保護のための世界奉仕ウィークが実施されます。これは、ライオンズと LCIF が協力して達成した成果を振り返ると共に、まだ成し得ていない事案について考える素晴らしい機会です。皆さまのクラブは、10月8日の世界視力デーに奉仕事業を主催することによって回避可能な失明を根絶し、地域における視力向上に貢献することができます。視力検査や普及啓発など、友人や知人の視力障害を改善して違いをもたらす数多くの方法があります。奉仕の種類に関わらず、この100周年奉仕イベントに是非ともご参加ください。

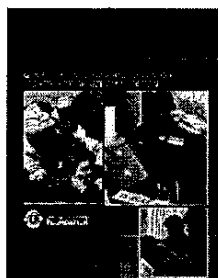
ヨーロッパフォーラム

2015 ライオンズヨーロッパフォーラム「思いやりと友情」が10月9日から11日にかけてドイツ、アウクスブルクで開催されます。ヨーロッパ全員のライオンズが参加できる多くのセミナーやネットワーキングイベントが行われます。10月10日(土曜日)午前10時30分からの LCIF の一般セミナーに是非ともご参加ください。また、LCIF ブースにお立ち寄りいただき、各種交付金やプログラムに関する情報を入手してください。



LIONS
EUROPA-FORUM 2015
LIONS - SYMPATHY AND FRIENDSHIP
9 - 11.10.2015 | Augsburg | Essen & Garmisch

交付金申請締切間近

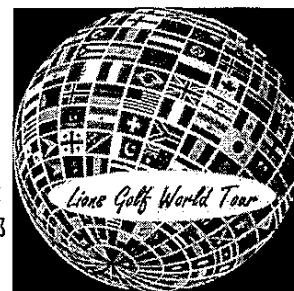


包括的で持続可能な眼科医療システムの構築を中心に、視力ファーストでは眼科医療サービスの提供、眼科医療施設の建設または改善、専門家の訓練、医療が不十分な地域での目の健康教育などの事業に対して視力ファースト交付金を提供しています。ライオンズは視力ファースト・プログラムのサービスを世界中の人々に拡大するため、2つの資金調達キャンペーンを通じて4億1,500万ドルを投じています。2016年1月の視力ファースト諮問委員会(SAC)会議で審議される視力ファースト交付金申請の期限は10月9日ですのでご注意ください。

(報告事項) -51-

ライオンズ ヨーロッパ ゴルフチャンピオンシップ

2015 ライオンズ ヨーロッパ ゴルフチャンピオンシップが 2015 年 11 月 30 日から 12 月 7 日にかけてスペイン、コスタデラルスで開催されます。陽ざしあふれる快適な地中海性気候のコスタデラルスには、世界一流のゴルフコースがあります。トーナメントは、プリサイス リゾート エル ロンピドで開催されます。ライオンズ ヨーロッパ ゴルフチャンピオンシップの詳細は www.lionsgolf.info (web サイトは英語のみ) をご覧いただくか、パンフレットをダウンロードしてください。収益の一部は LCIF と GAVI アライアンスの共同事業であるはしか根絶プログラムに寄付されます。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA
配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#) してください。



Lions Clubs International
FOUNDATION

私たちの財団

ライオンズ各位

米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された 2015 年スペシャルオリンピックス世界大会に出席した私は、すべてのアスリートが競技の機会を得ることで発揮される力と参加することの重要性を学び、機会と励みが得られれば、いかに選手たちが活躍できるかを目の当たりにしました。

ヘルシー・アスリート検査のボランティアを務めたカリフォルニアのライオンズをはじめ、これまで 14 年以上にわたって競技や検査を支援していただいた世界中のすべてのライオンズを誇りに思います。また、スペシャルオリンピックスでの財団パートナーのご協力にも感謝いたします。



パートナーの協力によって、ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) の支援がライオンズだけでは成し得ないより多くの人々にも届きます。このためにも、私たちが LCIF の継続的な成長を目指すことが重要です。

昨年度、私は会員増強のためのアスク・ワンをお願いいたしました。これは LCIF にも当てはまります。LCIF は私たちの財団です。私たち一人ひとりが財団の成長と成功に対する責任を負っています。すべてのライオンが財団についての知識を有している必要があります。

今年度は、LCIF への貢献をライオンに呼び掛けるアスク・ワンを皆さまにお願いいたします。私たちが率先して行動しましょう。皆さんにとって LCIF はどのような意味を持つのか、世界中の数百万人の人生に毎年どのような影響を与えているかをライオンズに話してください。

よろしくお願いいたします。

ジョー・プレストン
ライオンズクラブ国際財団理事長

ビル・ゲイツからのメッセージ

LCIF は、GAVI アライアンスを通じてより多くの人々が予防接種を受けられるように、2017 年までに 3,000 万ドルの資金調達に取り組んでいます。調達した資金に対して、英国国際開発省およびビル・メリンダ・ゲイツ財団が同額の資金を拠出するため、総額は 6000 万ドルになります。ビル・メリンダ・ゲイツ財団の共同会長および理事であるビル・ベイツ氏より、ライオンズへのビデオメッセージが寄せられました。



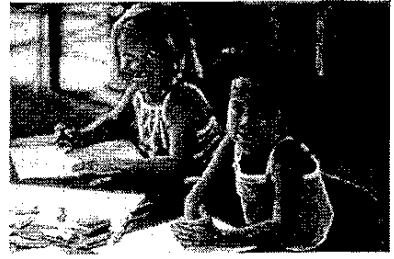
LCIF が四つ星評価を再び獲得



LCIF は、効率的な財政運営および説明責任と透明性への取り組みを評価され、チャリティ・ナビゲーターの四つ星評価を獲得しました。最高評価である四つ星を獲得したことは、LCIF が不正行為を最小化し、財政的に責任ある方法で継続的に使命を遂行する優れたガバナンスと最優良事例を実践していることを示すものです。これにより、皆さまの寄付を LCIF が寄付者の意図に沿った事業の支援に使用しているという信頼感を抱いていただくことができます。

交付金申請期限の変更

LCIF の新 理事会設立に伴い、理事会会議開催時期ならびに一部の交付金申請期限が変更されました。2016 年 1 月以降、一般援助交付金申請期限は理事会会議開催の 90 日 前までとなります。申請は 1 月、5 月、8 月に審査されます。一般援助交付金申請の次の期限は、2016 年 2 月 2 日です。



Lions Clubs International & LCIF | 300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL | 60523 | USA

配信の停止または設定変更をご希望の場合は [こちらをクリック](#)してください。

2015-2016年度 7月分 LCIF拠出金一覧表

2015年8月17日

LCIF日本事務所

7月分(ライオンズレポート 1ドル = 123円)				2015年7月 - 2015年7月 累計					
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
330-A	4	4,000	12,386	16,386	330-A	4	4,000	12,386	16,386
330-B	16	16,000	2,920	18,920	330-B	16	16,000	2,920	18,920
330-C	1	1,000	0	1,000	330-C	1	1,000	0	1,000
MD330計	21	21,000	15,306	36,306	MD330計	21	21,000	15,306	36,306
331-A	23	23,000	0	23,000	331-A	23	23,000	0	23,000
331-B	5	5,000	275	5,275	331-B	5	5,000	275	5,275
331-C	6	6,000	1,000	7,000	331-C	6	6,000	1,000	7,000
MD331計	34	34,000	1,275	35,275	MD331計	34	34,000	1,275	35,275
332-A	6	6,000	2,333	8,333	332-A	6	6,000	2,333	8,333
332-B	7	7,000	1,000	8,000	332-B	7	7,000	1,000	8,000
332-C	4	4,000	0	4,000	332-C	4	4,000	0	4,000
332-D	60	60,000	1,000	61,000	332-D	60	60,000	1,000	61,000
332-E	13	13,000	60	13,060	332-E	13	13,000	60	13,060
332-F	1	1,000	580	1,580	332-F	1	1,000	580	1,580
MD332計	91	91,000	4,973	95,973	MD332計	91	91,000	4,973	95,973
333-A	7	7,000	1,000	8,000	333-A	7	7,000	1,000	8,000
333-B	8	8,000	0	8,000	333-B	8	8,000	0	8,000
333-C	19	19,000	1,060	20,060	333-C	19	19,000	1,060	20,060
333-D	5	5,000	0	5,000	333-D	5	5,000	0	5,000
333-E	7	7,000	0	7,000	333-E	7	7,000	0	7,000
MD333計	46	46,000	2,060	48,060	MD333計	46	46,000	2,060	48,060
334-A	119	116,600	0	116,600	334-A	119	116,600	0	116,600
334-B	49	49,000	80	49,080	334-B	49	49,000	80	49,080
334-C	10	10,000	940	10,940	334-C	10	10,000	940	10,940
334-D	74	74,000	9,422	83,422	334-D	74	74,000	9,422	83,422
334-E	7	7,000	0	7,000	334-E	7	7,000	0	7,000
MD334計	259	256,600	10,442	267,042	MD334計	259	256,600	10,442	267,042
335-A	30	30,000	0	30,000	335-A	30	30,000	0	30,000
335-B	1	1,000	0	1,000	335-B	1	1,000	0	1,000
335-C	61	61,000	3,160	64,160	335-C	61	61,000	3,160	64,160
335-D	12	12,000	0	12,000	335-D	12	12,000	0	12,000
MD335計	104	104,000	3,160	107,160	MD335計	104	104,000	3,160	107,160

2015-2016年度 7月分 LCIF拠出金一覧表

2015年8月17日

LCIF日本事務所

7月分(ライオンズレポート 1ドル = 123円)		2015年7月 - 2015年7月 累計							
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	21	21,000	3,368	24,368	336-A	21	21,000	3,368	24,368
336-B	8	8,000	3,350	11,350	336-B	8	8,000	3,350	11,350
336-C	56	56,000	14,400	70,400	336-C	56	56,000	14,400	70,400
336-D	5	5,000	0	5,000	336-D	5	5,000	0	5,000
MD336計	90	90,000	21,118	111,118	MD336計	90	90,000	21,118	111,118
337-A	21	21,000	0	21,000	337-A	21	21,000	0	21,000
337-B	8	8,000	300	8,300	337-B	8	8,000	300	8,300
337-C	19	19,000	420	19,420	337-C	19	19,000	420	19,420
337-D	12	12,000	1,720	13,720	337-D	12	12,000	1,720	13,720
337-E	5	5,000	1,400	6,400	337-E	5	5,000	1,400	6,400
MD337計	65	65,000	3,840	68,840	MD337計	65	65,000	3,840	68,840
合計	710	707,600	62,174	769,774	合計	710	707,600	62,174	769,774

2015-2016年度 8月分 LCI-拠出金一覧表

2015年9月11日

LCIF日本事務所

8月分(ライオンズレポート 1ドル = 124円)				2015年7月 - 2015年 8月 累計					
地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
330-A	21	21,000	8,320	29,320	330-A	25	25,000	20,706	45,706
330-B	139	139,000	45,076	184,076	330-B	155	29,900	47,996	77,896
330-C	3	3,000	0	3,000	330-C	4	4,000	0	4,000
MD330計	163	163,000	53,396	216,396	MD330計	184	58,900	68,702	127,602
331-A	16	16,000	0	16,000	331-A	39	39,000	0	39,000
331-B	2	2,000	640	2,640	331-B	7	7,000	915	7,915
331-C	6	6,000	0	6,000	331-C	11	11,000	1,000	12,000
MD331計	24	24,000	640	24,640	MD331計	57	57,000	1,915	58,915
332-A	3	3,000	8,320	11,320	332-A	9	9,000	10,433	19,433
332-B	2	2,000	0	2,000	332-B	9	9,000	1,000	10,000
332-C	9	9,000	501	9,501	332-C	13	13,000	501	13,501
332-D	48	48,000	4,160	52,160	332-D	108	108,000	5,160	113,160
332-E	0	0	0	0	332-E	13	13,000	60	13,060
332-F	4	4,000	0	4,000	332-F	5	5,000	580	5,580
MD332計	66	66,000	12,981	78,981	MD332計	157	157,000	17,734	174,734
333-A	2	2,000	920	2,920	333-A	9	9,000	1,920	10,920
333-B	8	8,000	720	8,720	333-B	17	17,000	720	17,720
333-C	21	21,000	4,460	25,460	333-C	40	40,000	5,520	45,520
333-D	6	6,000	400	6,400	333-D	11	11,000	400	11,400
333-E	11	11,000	1,540	12,540	333-E	18	18,000	1,540	19,540
MD333計	48	48,000	8,040	56,040	MD333計	95	95,000	10,100	105,100
334-A	55	55,000	0	55,000	334-A	174	171,600	0	171,600
334-B	26	26,000	6,000	32,000	334-B	75	78,630	6,080	84,710
334-C	15	15,500	100	15,600	334-C	25	25,500	1,040	26,540
334-D	12	12,000	2,720	14,720	334-D	86	86,000	12,142	98,142
334-E	18	18,000	0	18,000	334-E	25	25,000	0	25,000
MD334計	126	126,500	8,820	135,320	MD334計	385	386,730	19,262	405,992
335-A	5	5,000	520	5,520	335-A	35	35,000	520	35,520
335-B	11	11,000	1,860	12,860	335-B	12	12,000	1,860	13,860
335-C	14	14,000	2,920	16,920	335-C	75	75,000	6,080	81,080
335-D	3	3,000	0	3,000	335-D	15	15,000	0	15,000
MD335計	33	33,000	5,300	38,300	MD335計	137	137,000	8,460	145,460

2015-2016年度 8月分 LCIF拠出金一覧表

2015年9月11日

LCIF日本事務所

8月分(ライオンズレポート 1ドル = 124円)		2015年7月 - 2015年 8月 累計							
地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	13	13,000	2,800	15,800	336-A	34	34,000	6,168	40,168
336-B	3	3,000	2,950	5,950	336-B	11	11,000	6,300	17,300
336-C	18	18,000	8,900	26,900	336-C	74	74,000	23,300	97,300
336-D	4	4,000	3,306	7,306	336-D	9	9,000	3,306	12,306
MD336計	38	38,000	17,956	55,956	MD336計	128	128,000	39,074	167,074
337-A	25	25,000	1,179	26,179	337-A	46	46,000	1,679	47,679
337-B	4	4,000	20	4,020	337-B	11	11,000	320	11,320
337-C	11	11,000	620	11,620	337-C	30	30,000	1,040	31,040
337-D	1	1,000	580	1,580	337-D	13	13,000	2,300	15,300
337-E	2	2,000	0	2,000	337-E	7	7,000	1,400	8,400
MD337計	43	43,000	2,399	45,399	MD337計	107	107,000	6,739	113,739
合計	541	541,500	109,532	651,032	合計	1,250	1,126,630	171,986	1,298,616

2015-2016年度 9月分 LOI 拠出金一覧表

2015年9月9日

LCIF日本事務所

9月分(ライオンズレート 1ドル = 121円)						2015年7月 - 2015年9月 累計					
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)		
330-A	9	9,000	26,932	35,932	330-A	34	34,000	47,638	81,638		
330-B	73	73,000	40,009	113,009	330-B	228	228,000	88,005	316,005		
330-C	14	14,000	8,353	22,353	330-C	18	18,000	8,353	26,353		
MD330計	96	96,000	75,294	171,294	MD330計	280	280,000	143,996	423,996		
331-A	18	18,000	0	18,000	331-A	57	57,000	0	57,000		
331-B	11	11,000	870	11,870	331-B	18	18,000	1,785	19,785		
331-C	1	1,000	2,200	3,200	331-C	12	12,000	3,200	15,200		
MD331計	30	30,000	3,070	33,070	MD331計	87	87,000	4,985	91,985		
332-A	9	9,000	4,720	13,720	332-A	18	18,000	15,373	33,373		
332-B	0	0	0	0	332-B	9	9,000	1,000	10,000		
332-C	26	25,800	4,873	30,673	332-C	41	40,800	5,375	46,175		
332-D	11	11,000	980	11,980	332-D	119	119,000	6,140	125,140		
332-E	4	4,000	760	4,760	332-E	17	17,000	820	17,820		
332-F	1	1,000	0	1,000	332-F	6	6,000	580	6,580		
MD332計	51	50,800	11,333	62,133	MD332計	210	209,800	29,288	239,088		
333-A	16	16,000	2,000	18,000	333-A	25	25,000	3,920	28,920		
333-B	8	8,000	960	8,960	333-B	25	25,000	1,680	26,680		
333-C	54	54,000	7,194	61,194	333-C	94	94,000	12,714	106,714		
333-D	24	24,000	420	24,420	333-D	35	35,000	820	35,820		
333-E	3	3,000	1,320	4,320	333-E	21	21,000	2,860	23,860		
MD333計	105	105,000	11,894	116,894	MD333計	200	200,000	21,994	221,994		
334-A	106	106,700	1,480	108,180	334-A	280	278,300	1,480	279,780		
334-B	18	17,100	320	17,420	334-B	93	95,730	6,400	102,130		
334-C	15	15,000	2,770	17,770	334-C	40	40,500	3,810	44,310		
334-D	32	32,000	7,285	39,285	334-D	118	118,000	19,427	137,427		
334-E	10	10,000	0	10,000	334-E	35	35,000	0	35,000		
MD334計	181	180,800	11,855	192,655	MD334計	566	567,530	31,117	598,647		
335-A	7	7,000	2,900	9,900	335-A	42	42,000	3,420	45,420		
335-B	34	34,000	23,345	57,345	335-B	46	46,000	25,205	71,205		
335-C	9	9,000	21,134	30,134	335-C	84	84,000	27,214	111,214		
335-D	25	25,000	1,480	26,480	335-D	40	40,000	1,480	41,480		
MD335計	75	75,000	48,859	123,859	MD335計	212	212,000	57,319	269,319		

2015-2016年度 9月分 LCIF拠出金一覧表

2015年9月9日

LCIF日本事務所

9月分(ライオンズレポート 1ドル = 121円)		2015年7月 - 2015年 9月 累計							
地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF 献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	13	13,000	2,800	15,800	336-A	34	34,000	6,168	40,168
336-B	20	20,000	13,583	33,583	336-B	31	31,000	19,883	50,883
336-C	9	9,000	7,640	16,640	336-C	83	83,000	30,940	113,940
336-D	3	3,000	1,000	4,000	336-D	13	12,000	4,306	16,306
MD336計	45	45,000	25,023	70,023	MD336計	161	160,000	61,297	221,297
337-A	58	57,935	8,060	65,995	337-A	104	103,935	9,739	113,674
337-B	6	6,000	5,075	11,075	337-B	17	17,000	5,395	22,395
337-C	8	8,000	4,427	12,427	337-C	38	38,000	5,467	43,467
337-D	10	10,000	1,820	11,820	337-D	23	23,000	4,120	27,120
337-E	4	4,000	0	4,000	337-E	7	7,000	1,400	8,400
MD337計	86	85,935	19,382	105,317	MD337計	189	188,935	26,121	215,056
合計	669	668,535	206,710	875,245	合計	1,905	1,905,265	376,117	2,281,382

LCIF 創設50周年記念献金(後期) 資料 (単位= \$)

2015.10.11

s.shibuta

地区	2015/07/01~18/06/30				①2015~16 【9月末現在】				
	3年間	(MJF口数)	単年度	(MJF口数)	実績	(MJF口数)	増減	(MJF口数)	達成率
330-A	888,486	414	296,162	138	81,638	34	-214,524	-104	27.6%
330-B	1,650,398	1038	550,133	346	316,005	228	-234,128	-118	57.4%
330-C	327,572	213	109,191	71	26,353	18	-82,838	-53	24.1%
	8,710		2,903				-2,903		0.0%
MD330	2,875,167	1665	958,389	555	423,996	280	-534,393	-275	44.2%
331-A	903,735	780	301,245	260	57,000	57	-244,245	-203	18.9%
331-B	429,651	393	143,217	131	19,785	18	-123,432	-113	13.8%
331-C	184,203	102	61,401	34	15,200	12	-46,201	-22	24.8%
	19,142		6,381				-6,381		0.0%
MD331	1,536,730	1275	512,243	425	91,985	87	-420,258	-338	18.0%
332-A	284,976	183	94,992	61	33,373	18	-61,619	-43	35.1%
332-B	295,886	186	98,629	62	10,000	9	-88,629	-53	10.1%
332-C	376,023	315	125,341	105	46,175	41	-79,166	-64	36.8%
332-D	567,834	477	189,278	159	125,140	119	-64,138	-40	66.1%
332-E	187,652	159	62,551	53	17,820	17	-44,731	-36	28.5%
332-F	123,150	81	41,050	27	6,580	6	-34,470	-21	16.0%
	33,063		11,021				-11,021		0.0%
MD332	1,868,584	1401	622,861	467	239,088	210	-383,773	-257	38.4%
333-A	467,006	318	155,669	106	28,920	25	-126,749	-81	18.6%
333-B	343,764	246	114,588	82	26,680	25	-87,908	-57	23.3%
333-C	604,030	450	201,343	150	106,714	94	-94,629	-56	53.0%
333-D	452,014	345	150,671	115	35,820	35	-114,851	-80	23.8%
333-E	889,530	630	296,510	210	23,860	21	-272,650	-189	8.0%
	109,109		36,370				-36,370		0.0%
MD333	2,865,453	1989	955,151	663	221,994	200	-733,157	-463	23.2%
《東》	9,145,935	6330	3,048,645	2,110	977,063	777	-2,071,582	-1,333	32.0%
334-A	3,843,927	3387	1,281,309	1,129	279,780	280	-1,001,529	-849	21.8%
334-B	935,076	732	311,692	244	102,130	93	-209,562	-151	32.8%
334-C	805,275	696	268,425	232	44,310	40	-224,115	-192	16.5%
334-D	859,036	726	286,345	242	137,427	118	-148,918	-124	48.0%
334-E	735,476	777	245,159	259	35,000	35	-210,159	-224	14.3%
	1,378		459				-459		0.0%
MD334	7,180,167	6318	2,393,389	2,106	598,647	566	-1,794,742	-1,540	25.0%
335-A	335,137	276	111,712	92	45,420	42	-66,292	-50	40.7%
335-B	1,713,720	1338	571,240	446	71,205	46	-500,035	-400	12.5%
335-C	957,777	801	319,259	267	111,214	84	-208,045	-183	34.8%
335-D	388,404	261	129,468	87	41,480	40	-87,988	-47	32.0%
	10,670		3,557				-3,557		0.0%
MD335	3,405,708	2676	1,135,236	892	269,319	212	-865,917	-680	23.7%
336-A	826,075	543	275,358	181	40,168	34	-235,190	-147	14.6%
336-B	347,909	180	115,970	60	50,883	31	-65,087	-29	43.9%
336-C	753,548	561	251,183	187	113,940	83	-137,243	-104	45.4%
336-D	442,057	279	147,352	93	16,306	13	-131,046	-80	11.1%
	117,704		39,235				-39,235		0.0%
MD336	2,487,292	1563	829,097	521	221,297	161	-607,800	-380	26.7%
337-A	1,164,314	987	388,105	329	113,674	104	-274,431	-225	29.3%
337-B	530,424	420	176,808	140	22,395	17	-154,413	-123	12.7%
337-C	589,064	357	196,355	119	43,467	38	-152,888	-81	22.1%
337-D	378,820	300	126,273	100	27,120	23	-99,153	-77	21.5%
337-E	249,521	201	83,174	67	8,400	7	-74,774	-60	10.1%
	68,753		22,918				-22,918		0.0%
MD337	2,980,897	2265	993,632	755	215,056	189	-778,576	-566	21.6%
《西》	16,054,164	12822	5,351,388	4,274	1,304,319	1128	-4,047,069	-3,146	24.4%
日本	25,200,000	19152	8,400,000	6,384	2,281,382	1,905	-6,118,618	-4,479	27.2%

議 事 録

全日本GMT・GLT・FWT・100周年実行委員会 合同会議

日時 2015年8月11日 13:30~17:00

会場 日本ライオンズ連絡事務所

出席者 鈴木誓男 国際理事会アポインティ・GMT会則副リーダー
金子正之 GMTエリアリーダー（東日本）
丸山正芳 GMTエリアリーダー（西日本）
不老安正 GLT会則地域副リーダー
牛木 護 GLTエリアリーダー（東日本）
城阪勝喜 GLTエリアリーダー（西日本）
河合悦子 FWT会則地域副リーダー
大石 誠 FWTエリアリーダー（東日本）
松前龍宗 FWTエリアリーダー（西日本）
高田順一 国際協会百周年実行委員会会則地域副委員長
ライオン誌取材 河村

協議事項 1.全日本レベルの協力体制
2.各会則副リーダー・委員長・現状報告
3.今後の進め方

高田委員長の司会で開会

鈴木副リーダー（金子・丸山エリアリーダー）報告

7月より新しい陣容で99周年年度を推進。一致団結して次の100年を構築する山田国際会長を支えて行こう。10万人から20万人へ、後8万人GMTで4万人FWTで4万人を達成しよう。会員の1割が5人家族会員になると4万人増強達成

不老副リーダー（牛木・城阪エリアリーダー）報告

来年の世界大会準備は種々問題を解決しつつ着々と進行している。リテンションも大切。公認ガイニングライオン・FDIセミナー・DGEセミナー・CEP等テキストの早期見直しも必要。いずれにしても会員増強が大切である。

河合副リーダー（大石・松前エリアリーダー）報告

10月21日 FWT全日本女性シンポジウムの成功を期す。350人程度の陣容でライオン誌でのPRも依頼する。7月29日のFWT会議・公認ガイニング研修も多くメンバーが熱心に参加した。4万人会員増強に力を入れたい。

決議合意&追加報告

- 名称を日本会員増強プロジェクトチームとし、このチームで目的を達成しましょう
- 会員増強プロジェクト会議の各複合版を開催し、各複合で目標達成を図る。進行役は100周年MDコーディネーターが担当
- 日本会員増強プロジェクトチームの内容をライオン誌に掲載し、増強ムードを高める
- 会員増強推移を毎月ライオン誌に記載し、全日本レベルの評価を検討する
- 100周年アワード・表彰を細かくチェックし、会員増強を推進
- 国際本部DVD作成、国際会長メッセージを徹底
- 山田国際会長記念植樹・メルビンジョーンズお墓整備も日本が行う
- 来年1月10~13日 国際本部研修を30名規模で開催予定
- 来年度のDGE/FVDG/SVDG/FDIセミナー計画進行中
- 次回合同会議開催は未定

以上

ジョー・プレストンLCIF理事長公式訪問並びにセミナー 次第 Chairperson of LCIF official visit & Seminar Program

司会:LCIFエリアコーディネーター L.桜井孝一
Master of ceremony : Koichi Sakurai,
LCIF Area Coordinator

《公式訪問・セミナー》14:00～16:00

1. 両国国歌
National Anthem(America & Japan)
2. ライオンズ・ヒム
The Lions' Hymn
3. 開会挨拶
Opening Address
LCIF国際理事 L.栢森新治
Shinji Kayamori, LCIF Board of Trustee
4. 来賓紹介
Guest's Introduction
LCIFエリアコーディネーター L.桜井孝一
Koichi Sakurai, LCIF Area Coordinator
5. 国際理事挨拶・LCIF理事長紹介
I.D.'s Address and
Chairperson of LCIF's Introduction
国際理事 L.西川義規
Yoshinori Nishikawa, International Director
6. LCIF理事長挨拶並びに講演
Chairperson of LCIF's Address and
Lecture
LCIF理事長・前国際会長 L.ジョー・プレストン
Joe Preston, Chairperson of LCIF ·
Immediate Past President
7. 謝辞および閉会挨拶
Thanks Address, Closing Address
LCIFエリアコーディネーター L.澁田繁晴
Shigeharu Shibuta, LCIF Area Coordinator

***** 休憩 *****

《レセプション・MJFに感謝し称える会》17:00～19:00

司会:LCIFエリアコーディネーター L.桜井孝一
Master of ceremony : Koichi Sakurai,
LCIF Area Coordinator

1. 開宴のことば
Opening Address
LCIF330MDコーディネーター L.安達成功
Shigenori Adachi, LCIF 330MD Coordinator
2. 国際会長挨拶
IP's Address
国際会長 L.山田實紘
Dr. Jitsuhiro Yamada, International President
3. 会長・理事長アワード贈呈
Appreciation Awards Ceremony ·
Appointment Presentation
LCIF理事長・前国際会長 L.ジョー・プレストン
Joe Preston, Chairperson of LCIF ·
Immediate Past President
4. 乾杯
Toast
国際理事 L.佐藤宜之
Yoshiyuki Sato, International Director
5. ライオンズ・ローア
Lions Roar
国際理事 L.安井克之
Katsuyuki Yasui, International Director
6. 閉宴のことば
Closing Address
LCIF334MDコーディネーター L.加藤助太郎
Suketaro Kato, LCIF 334MD Coordinator

**2015～2016年度
ジョー・プレストンLCIF理事長公式訪問並びにセミナー 出席者名簿**

◎ ご登録頂く前に、「お願い」の文書に必ずお目通し下さい。

◎ 貴複合地区内の参加者についてお取りまとめのうえ、LCIF日本事務所にメールにてご返送下さい。

＜提出期限年月日：2015年9月25日(金)＞

【336 複合地区】

提出年月日：2015年9月30日(水)

No.	MJFに感謝し称える会表彰対象者	役職名	氏名	(元議長、元ガバナーの場合)就任年度	準地区名	所属LC名
1		FWTエリアリーダー・元協議会議長	松前 龍宗	2014-2015	336-A	高松玉藻
2		協議会議長・地区ガバナー	矢野 敏明		336-D	松江葵
3		地区ガバナー	橋本 充好		336-A	高知柏
4		地区ガバナー	尾崎 博		336-B	岡山西
5		地区ガバナー・地区LCIFコーディネーター	片岡 文彰		336-C	尾道
6		前地区ガバナー・複合地区LCIFコーディネーター	松尾 敏弘	2014-15	336-C	福山中央
7		第一副地区ガバナー	大谷 博		336-B	岡山
8		第二副地区ガバナー	安田 克樹		336-C	竹原
9		元地区ガバナー・地区LCIFコーディネーター	光貞 政明	2010-11	336-D	岩国錦
10		元地区ガバナー・地区LCIFコーディネーター	三谷 智省	2007-08	336-A	高知柏
11		キャビネット幹事	内山 茂		336-B	岡山西
12		キャビネット幹事	徳永 修		336-C	尾道
13		地区LCIF委員長	東 信喜		336-A	高知黒潮
14	○		溝渕 義雄		336-A	高知南
15		地区GMTコーディネーター	上原 正樹		336-B	岡山西
16		キャビネット副会計	渡邊 勝		336-B	岡山
17						
18						
19						
20						

※ 必要に応じて行を増やしてお使い下さい

議事録

八複合地区MD/GLTコーディネータ会議

2015年9月14日(月)13:30~16:30 於、東京駅前ビル・ハロー貸し会議室

出席者:

GLT 会則地域副リーダー(日本) PID 不老 安正
GLT エリアリーダー (東日本) PCC 牛木 護
GLT エリアリーダー (西日本) PCC 城坂 勝喜

MD・GLT コーディネーター

MD330 PCC 佐藤精一郎	MD331 PDG 山口 富雄
MD332 PCC 宮田 謙	MD333 PDG 植村 茂敏
MD334 PDG 榎本 瞬治	MD335 PDG 吉田 英行
MD336 PDG 竹下 雅雄	MD337 PDG 玉川 孝

司会・記録: GLT エリアリーダー(東) 牛木 護

1. 不老会則地域副リーダー挨拶

ハワイでの第98回国際大会において選出された山田国際会長の下、発足した国際理事会におけるGLTに関する基本方針は、ブタペスト理事会において決議されることになっており、本日まで資料を含め指示が来ていない。しかし、新年度も2ヶ月以上経過しており活動を停滞させておくわけには行かない。国際協会では、昨年度のGLTガバナーエレクト研修の一環として、2015~2016年度地区ガバナー一人ひとりの指導力育成目標とそれに合わせた行動計画を集めた。その計画書のコピーを配布しましたので担当する地区ガバナーの目標、行動計画に基づいてMD・GLTコーディネーターとして各MDの目標、行動計画書を提出していただいた上で、今年度の日本ライオンズクラブGLT目標と行動計画を決定したい。若手・青年アカデミーを担当する複合地区単位でGLT委員の選考を検討したい。

2. エリアリーダー挨拶

・牛木 GLT エリアリーダー(東)

東日本エリアとしては、去る9月10日北海道旭川市における山田国際会長の東日本地区公式訪問に合わせて、GLT 東日本エリアの拡大MD・GLT コーディネーター会議を開催した。4複合地区からの出席者は、GLT・MD コーディネーターのほかMD 議長・地区ガバナー、第2副地区ガバナー、GLT 地区コーディネーター (MD331のみ) であり、開会時に山田国際会長が佐藤理事、安井理事、鈴木(誓)国際理事会アポイントを伴われ、挨拶に

こられ、次世代を担う若年層、女性会員に対するリーダーシップ育成など国際会長方針に対応した GLT 活動推進を強調された。会議では、MD コーディネーターよりの報告のほか GLT・地区コーディネーターの地区キャビネット内におけるゾーン・チェアパーソンに対する指導力向上対策、役員交代による引継ぎ状況などについて協議した。

・城坂 GLT エリアリーダー(西)

今年 12 月 3 日～6 日タイ・バンコックで開催されるアジア・アセアン・フォーラム直後 12 月 8 日～10 日予定されている上級ライオンズ・リーダーシップ研究会の出席対象者について、国際協会ウェブサイトでは「クラブ会長の職務を全うして、第 1 副地区ガバナーには就いたことのないライオン」と通知されたが、第 2 副地区ガバナーも除きたいとの連絡が鈴木誓男国際理事会アポインティよりあったので協議したい。

3. 各 MD・GLT コーディネーターからの報告＝今までの取り組みと新年度の取り組み＝

MD330 PCC L.佐藤 精一郎

・地区 GLT の課題として、次世代指導者の発掘・推薦体制が、第一副地区ガバナーのエレクト研修、CE が充実していない、ファシリテータによる弱小クラブに対するクラブ強化の実績がなく、ZC も受けていない点がある。

MD331 PDG L.山口 富雄

・9 月 10 日山田国際会長訪問前の東日本 GLT コーディネーター会議には全地区の第 2 副地区ガバナー、地区 GLT コーディネーターが出席した。この合同会議は 2012 年以来毎年 9 月に行っている。

MD332 PCC L.宮田 謙

・今年度、前任の高橋義太郎 MD コーディネーターより引き継いだ。青年アカデミーの一環として、福島において MD 330 の中村国際理事候補者を講師に招き「若手フォーラム」を開催し盛況であった。

MD333 PDG L.植村 茂敏

・過去 4 年間、ガバナーチーム、GLT チームの組織としての機能についてチームの概念を理解してもらうことを大きな目的としていた。チームとしての活動が徐々に理解され始め各地区における温度差が縮小された。

・複合としての立場は、情報の提供、講師の紹介、各々の研修の資料をタイムリーに行う。

・公認ガイディングライオン、CEP ファシリテータ、クラブの健康診断・ブルーシート、

若手青年アカデミー等も複合において十分機能している。

・今年度は、GLT、GMT、FWT、100周年複合コーディネーター(4人)で特別会員増強チームを組織し、準地区ガバナーに提案し、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソンを召集し、会員増強(8万人)を達成するよう活動する。

MD334 PDC L.榎本 瞬治

・国際協会の方針に従いGLTの活動目標として、これからのリーダーを見つけ出し育成する。指導者を研修・教育・指導・激励する。

・MD334日本会員増強プロジェクトチームを立ち上げ、会員増強、退会防止を図る。

・上級ライオンズ・リーダーシップ研究会には、会長経験者で第1、第2副地区意ガバナーを除く将来ガバナーを行う意欲のある若手(50歳前後)を選出していきたい。

MD335 PDG L.吉田 英行

・MD・準地区の、GMT・GLT・クラブサクセス・女性会員の合同会議を年3回、2月には1泊2日で行った。準地区GLTコーディネーター任期3年を守るべく指導したい。

・A地区では公認ガイディンググライオン研修会8回終了し修了証20名バッチ授与した。

・B地区では4年前から次世代リーダー育成を行い3期生567人が受講した。複合主催の次世代リーダー育成セミナー(講師：佐藤国際理事候補)を開催し、128名受講した。

MD336 PDG L.竹下 政雄

・ガイディングライオン研修、地区コーディネーター・委員長の合同会議を実施し、現況、今年度の計画をお聞きした。4半期ごとのMDへの報告をお願いした。岡山で開催した公認ガイディングライオン養成研修会には63名参加。

・B地区では2クラブをエクステンションした。3月には佐藤国際理事候補を講師に次期ガバナー、第1第2副地区、幹事、会計予定者対象のGLT研修会を開催した。

MD337PDG L.玉川 孝

・国際協会へ今年度地方ライオンズクラブリーダーシップ研究会申請書を提出した。2016年1月開催予定(参加者30名)である。

・各地区に青年アカデミーを開設するよう要請している。公認ガイディングライオンの認定が肩書きのみになって実務を何もやらない傾向があり困っている。

・リーダーには意見集約は教えるが、組織を動かすテクニックがない課題がある。CGLは旅費が繋るのでMDではなく準地区でやる。A地区は活発でZC、クラブセミナーを開催。

4. GLT MD コーディネーターガイド説明 城坂 GLT エリア・リーダー(西日本)

・国際協会発行の2014~2015年度「グローバル指導力育成チーム」に従い説明された。

・2015年12月8日~10日バンコクで開催される上級ライオンズ・リーダーシップ研究

会の出席者について、第2副地区ガバナーをすでに参加申し込みしているMDもあるので城坂エリア・リーダーから鈴木国際理事会アポインテーターに電話で問い合わせしたところ、今回は第2副地区ガバナーの出席を認めることにした。

5. 上記3の対する具体的活動計画審議

(1) 日本会員増強PT発足により、GLTも各MDにおいてGMT,FWT,100周年複合コーディネーターで特別会員増強チームを組織し、準地区ガバナーに提案し、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソンを召集し、会員増強、退会防止を推進する。

(2) 第1、第2地区副ガバナーMD研修会を東西とも11月に開催する。

東日本地区 2015年11月18日(水)13:30~17:00 東京にて

第1副地区ガバナーセミナー 於:日本ライオンズ連絡事務所

講師 GLT 東日本エリア・リーダー L.牛木 護

第2副地区ガバナーセミナー 於:貸し会議室(連絡事務所裏)

講師 GLT MD333 コーディネーター L.植村 茂敏

西日本地区 2015年11月27日(金)13:30~17:00 福岡にて

講師、会場は未定

(3) 日本レベルでの青年アカデミーを複合、準地区において一層推進するため各地区にリーダーを配置し、これからのリーダーを発掘し、育成する。

6. 実務連絡・

・東日本GLT複合コーディネーター予備会議

日時 2015年11月18日11:00~12:00 於:日本ライオンズ連絡事務所

7. 次回予定

日時 2015年11月5日(木) 13:30~17:00 於:日本ライオンズ連絡事務所

FWT全日本女性シンポジウム 次 第

受付 12:00 昼食 12:30

開会 13:30

閉会 16:30

司会：FWTMD333 副コーディネーター L伊藤 和子

第一部 式典・講演会

1. 開会のことば FWTエリアリーダー(西日本) L松前 龍宗
2. ライオンズクラブ役員紹介 FWTMD334副コーディネーター L松田美喜枝
3. FWT 第5会則地域副リーダー挨拶 L河合 悦子
4. 8 複合議長連絡会議世話人挨拶 L近藤 正彦
5. 講演 2015-2016 年度 国際会長 L山田 實紘
2014-2016 年度 国際理事 L KARLA HARRIS

休憩 10分

第二部 パネルディスカッション

1. パネルディスカッション テーマ「FWTの現状、そして未来」

・パネリスト 8 複合地区正コーディネーター

L小川 晶子 (330) L石田 幸子 (331) L矢羽々睦子 (332)

L長澤千鶴子 (333) L小泉 素子 (334) L瀧北美智子 (335)

L松尾ヒデ子 (336) L伊藤 敦子 (337)

・コーディネーター L河合 悦子 FWT 第5会則地域副リーダー

① 各パネリストのお話

② 会場にご参加の皆様との質疑応答

2. 総括 国際理事会アポイントナー、
GMT会則地域副リーダー L鈴木 誓男
3. 閉会のことば FWTエリアリーダー(東日本) L大石 誠

全日本女性 参加者名簿
2015年10月21日(火) 13:30~16:30
(受付12:00~、昼食12:30)

【336複合地区】

	地区	役 職	L. メンバーの場合L.を入れて下さい	氏 名	クラブ名 (LCはつけないで下さい)	備 考
1	336-A	FWTエリアリーダー	L.	松前 龍宗	高松玉藻	
2	336-C	FWT複合地区コーディネーター(正)	L.	松尾ヒデ子	福山フラワー	
3	336-A	FWT複合地区コーディネーター(副)	L.	齋藤 翠	石井	
4	336-D	第二副地区ガバナー	L.	秋田 千鶴	浜田	
5	336-A	FWT地区コーディネーター(正)	L.	小谷 眞由美	高知中央	
6	336-A	FWT地区コーディネーター(副)	L.	小松 和子	高知よさこい	
7	336-B	FWT地区コーディネーター(正)	L.	有本 みどり	岡山ハーモニー	
8	336-B	FWT地区コーディネーター(副)	L.	小谷 涼子	岡山グリーン	
9	336-C	FWT地区コーディネーター(正)	L.	徳山 君枝	福山フラワー	
10	336-C	FWT地区コーディネーター(副)	L.	信重 やえこ	三原浮城	
11	336-D	FWT地区コーディネーター(正)	L.	前村 きみこ	宇部ハーモニー	
12	336-D	クラブ会計	L.	竹内 登紀子	宇部ハーモニー	
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

第一回地区百周年記念コーディネーター会議 議事録

日時：2015年10月1日（木）13時～ 会場：東京都中央区八重洲 松岡ビル4階

出席者：別添資料の通り

議事録作成人：L正木 守 議事録署名人：L高田順一、L荒尾勝彦

①高田PID挨拶

- ・国際本部において百周年の実行委員会が開催されたので、その内容を本日お伝えします。

②出席者紹介

- ・各複合コーディネータ、各地区コーディネータの紹介が高田PIDよりなされた。

③議事録作成人、署名人指名

- ・作成人：L正木守 署名人：高田、荒尾

④資料確認

⑤議事（高田PIDより）

- ・国際協会で百周年のための資料がバインダーで配布されたので、その中身をCDで本日配布いたしました。英語の資料です。
- ・英語の資料を極力訳して、本日配付の紙資料としました。
- ・資料2より、国際協会の百周年実行委員会の構成メンバーを説明。
- ・資料1により、地区コーディネータの任期職務等について説明。
- ・国際協会としては、クラブにも百周年に関する役職を設けていただきたい意向がある。
- ・資料4の名簿を各自確認した。
- ・資料5により、9月24-25日の国際協会実行委員会の議事報告がなされた。
 - ・CSCについては、1年目で4千万人に対して奉仕を提供しました。
 - ・MyLCI報告率が次第に上昇している。2010年には34%、昨年度は過去最高の59%。CSCの数も上昇するものと思われます。
 - ・全地区が100%達成を目指すことを確認した。
 - ・百周年記念会員増強賞について説明した。
 - ・新入会員、スポンサー、クラブエクステンションのクラブおよびスポンサー等に様々なアワードが贈呈されます。
 - ・CAC、GMT、GLT、FWTが協力して会員増強プロジェクトチームを結成します。日本、複合、地区、クラブ連動して動きます。
 - ・レガシープロジェクトについて資料5により説明。
 - ・クラブや地区が百周年を記念して1つのプロジェクトを行うことを国際協会が提案した。2016-2018年度に予定されている。
 - ・日本におけるクラブ周年事業がレガシープロジェクトに該当する。事業を行うに際してライオンズ百周年を地域等にPRしていただきたい。複数のクラブの合同事業や地区の事業としてもよい。
 - ・百周年祝賀プロジェクトについて
 - ・CSCの目標数を上方更新する可能性がある。
 - ・会員増強数についてCACが設定することは越権行為なので、CACとしては設定しない。
 - ・百周年記念商品やコインが販売される予定。記念切手も各国で発行予定です。
 - ・百周年バナーを作成して国際役員、ガバナーがサイン。それをつなぎ合わせて旗としシカゴ大会で展示する予定。

- ・ 試金石物語
 - ・ HPの Lions100 に様々なライオンズストーリーを配信する。
- ・ 百周年を記念して様々な展示物がシカゴ、会則地域やエリアフォーラム等に展示される予定です。
- ・ シカゴ大会時に多くのメンバーが国際協会本部を訪問することが予想されるので、通訳や見学用ラジオ、お土産等を準備する予定である。
- ・ メルビンジョーンズ像を本部に設置する予定。メルビンジョーンズ墓も整備される。
- ・ 資料 P7 の日程で百周年に関する各種会議が開催され、研修会が開催されます。その前後に各コーディネーターにも報告が求められます。
- ・ 来年1月より MyLCI のダッシュボード機能が使用可能となり、CSC の達成率等を細かく分析可能となる。

⑥ 質疑応答

330 B → CSC のアクティビティ報告について、その対象人数を正確に把握出来ないようなものはどうするのか？

A → 常識的な数字を報告してもらえれば、国際協会が判断します。

330 B → GMT、GLT と協力するとは具体的には？

A → 百周年会員増強を通して各チームと連動して会員増強につとめる。百周年の間はその音頭を百周年コーディネーターが取ることを念頭に置いている。

⑦ 閉会

2015年10月1日

【議事録作成人】

正木 守

【議事録署名人】

高田 順一

斎藤 隆彦

2015～2016 年度 336 複合地区会員増強プロジェクト会議要録

日 時 : 2015 年 9 月 15 日 (火) 13:30～16:00
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会	議 長 (336-D 地区ガバナー)	矢 野 敏 明	○
"	副議長 (336-C 地区ガバナー)	片 岡 文 彰	×
"	幹 事 (336-B 地区ガバナー)	尾 崎 博	×
"	会 計 (336-A 地区ガバナー)	橋 本 充 好	×
FWT エリアリーダー		松 前 龍 宗	○
336 複合地区 GMT コーディネーター		渡 部 雅 文	○
336 複合地区 GLT コーディネーター		竹 下 雅 雄	○
336 複合地区百周年記念コーディネーター		井 上 亮 二	○
336 複合地区 FWT コーディネーター		松 尾 ヒ デ 子	○
336 複合地区 FWT コーディネーター		齋 藤 翠	○

次 第 :

1. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会 議長 矢野 敏明
 本日は、336 複合地区の会員増強プロジェクト会議を開催する運びとなりました。よろしくお願い申し上げます。
2. FWT エリアリーダー挨拶 FWT エリアリーダー 松前 龍宗
 山田国際会長が第二副会長のときから日本の会員倍増を提唱されており、この度の会員増強プロジェクト会議に至りました。よろしくお願いいたします。
3. 資料確認
 - A : 全日本会員増強プロジェクトチーム
 - ・全日本 GMT・GLT・FWT・100 周年実行委員会合同会議 (8/11) 議事録
 - ・関連記事 (ライオン誌日本語版 2015 年 10 月号掲載)
 - B : FWT 西日本会議 (9/8)
 - ・FWT 10 月 21 日までの行動目標
 - C : 336-B 地区 GMT・GLT・FWT 緊急会議 (9/5) 資料抜粋
 - ・日本ライオンズの未来に向けての FWT の役割
 - ・336-C 地区における家族会員増強への取り組み
 - ・336-B 地区における家族会員の現状と課題

➤ 2015-2016 年度指導力育成目標 (336-A～D 地区ガバナー)
4. 協議事項
 - (1) 336 複合地区の会員増強について
 - ① FWT エリアリーダーより全日本会議の報告
 松前エリアリーダーより、会員増強プロジェクトチームが9月1日より発足した経緯、全日本の状況等について、資料に基づき報告があった。

② 今年度の方針・取組

渡部 GMT コーディネーター

各地区の会員増強目標は、地区 GMT コーディネーターと地区ガバナーとで目標数に差異がある。

FWT が全日本で 4 万人増強を目標とされたことから、GMT も全国で 4 万人増強を目標とし、334～337 で 2 万人（MD334 6,880 人、MD335 4,080 人、MD336 4,320 人、MD337 4,720 人）を増強目標とすることを申し合わせた。

336 複合地区で目標を達成するには、支部の結成が有効であると考える。

竹下 GLT コーディネーター

昨日、今年度第 1 回目の複合地区 GLT コーディネーター会議が開催された。

GLT としての数字目標はないが、今期から GMT・FWT・百周年と合同で会員増強を図ることになった。

また、今年度は第一・第二副地区ガバナー研修会を国内で開催することとされ、西は 11 月 27 日に福岡で開催することが決定した。

松尾 FWT コーディネーター

C 地区では家族会員に否定的な意見が多いが、クラブ内規を作成し 16 名が入会したクラブもある。家族会員が幽霊会員にならないようにすべきである。

齋藤 FWT コーディネーター

A 地区では例会訪問を行っているが、2 年前の家族会員問題にしこりがあり、女性会員・家族会員の増強は難しい場合もある。根気強く訴えるのみである。

また、A 地区では退会防止・会員増強特別委員会の設置を推進している。

井上百周年記念コーディネーター

山田会長の会員倍増の目的は、国際理事の枠が日本に多く回ってくることで、日本が国際協会で発言力が大きくなることである。また、日本古来のライオンズのあり方を見直すべきであるという考え方から、例会ではなく奉仕活動に重きを置くべきとされているが、クラブには、急激な方向転換は受け入れられにくい。

各準地区では今年度の取り組みが始まっており、336-B 地区では、1 クラブ 10 名の増強を依頼している。これ以上修正することはクラブに混乱をきたすため、現在の方針を推進すべきである。

GMT と FWT の増強目標が各 4 万人とされているが、合同で増強するべきである。期間限定ではなく、今後数年先も路線が変わらないことが重要である。その間に入会して良かったという風潮が現れれば増強につながる。

以前より家族会員であった人、これから家族会員として入会する人との整合性（会費の高低）がとれなくなるため、支部会員を増やすことが好ましいと考える。

過去の国際会長より、趣味を通じてクラブを作ることが提唱されたこともある。

松前 FWT エリアリーダー

FWT としては、10 月 21 日までに家族会員増強を図ることが先決であり、現在の会員の家族に対してアプローチをし、その後のことはそれから考える。クラブ内規の問題があるため、10 月 21 日までに入会の目途をつけ、1 月より入会いただく。

矢野議長

クラブの制限の影響を受けない新しいクラブを作り、奉仕事業のみに参加するというのも一案である。既存クラブではなく、各地区に全く新しいタイプのクラブを作り、入会金、国際会費を支払い、クラブ会費は低料金にしてはどうか。

③ 今後の進め方について

第2回目の会議を10月中に開催し、継続して審議する。各地区ガバナーも同席し今後の進め方を決定する。

(2) その他

11月20日に国際会長が336複合地区へ来訪し、地区内クラブ会長を対象に講演会を開催する予定である。

5. 閉会



2015-2016

ライオンズ必携

第 55 版

主な改訂個所一覧表

2015年10月30日

330 331 332 333 334 335 336 337 複合地区

2014-2015 会則委員長連絡会議

1. 国際協会会則及び付則の改正(第98回国際大会2015年6月米国ハワイ州ホノルル)

- 会則第5条1, 3項, 付則第2条1, 2, 4項, 第4条1項, 第6条3項, 第8条3項, 第9条3項

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第 55 版 P.41-44</p> <p>国際会則第 5 条 役員及び国際理事会</p> <p>第 1 項 役員。本協会の役員は、会長、前会長、第一副会長、第二副会長、<u>第三副会長*</u>(以上は執行役員である)、国際理事、地区ガバナー、運営役員、並びに国際理事会が指定するその他の役員である。</p> <p>第 2 項 (省略)</p> <p>第 3 項 国際理事会の会則地域別構成及び選挙。 国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、<u>及び第三*</u>副会長並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。</p> <p>[2016-2017 年度より有効] 各偶数年に 17 人の理事、すなわちインド、南アジア、アフリカ及び中東のクラブから <u>3</u>人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから <u>6</u>人を選出するものとする。</p> <p>[2017-2018 年度より有効] 各奇数年に 17 人の理事、すなわちインド、南アジア、アフリカ及び中東のクラブから 2 人、カナダのクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから <u>4</u>人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから <u>6</u>人を選出するものとする。</p> <p>[2018-2019 年度より有効] 各偶数年に 17 人の理事、すなわちインド、南アジア、アフリカ及び中東のクラブから <u>4</u>人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから <u>5</u>人を選出するものとする。</p>	<p>ライオンズ必携第 54 版 P.41-42</p> <p>国際会則第 5 条 役員及び国際理事会</p> <p>第 1 項 役員。本協会の役員は、会長、前会長、第一副会長、第二副会長 (以上は執行役員である)、国際理事、地区ガバナー、運営役員、並びに国際理事会が指定するその他の役員である。</p> <p>第 2 項 (省略)</p> <p>第 3 項 国際理事会の会則地域別構成及び選挙。 国際理事会は、会長、前会長、第一及び第二副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。</p> <p>各偶数年に 17 人の理事、すなわちインド、南アジア、アフリカ及び中東のクラブから <u>2</u>人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから <u>7</u>人を選出するものとする。</p> <p>各奇数年に 17 人の理事、すなわちインド、南アジア、アフリカ及び中東のクラブから <u>2</u>人、カナダのクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから <u>3</u>人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから <u>7</u>人を選出するものとする。</p> <p>(*第三副会長職は 2016-2017 年度より復活する。また 2016 年から 3 年間にわたって、米国を代表する理事を 3 人減らし、ISSAME(インド、南アジア、アフリカ及び中東)を代表する理事を 2 人と OSEAL (東洋東南アジア) を代表する理事 1 人を増やす。)</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第 55 版 P.53-56</p> <p>国際付則 第 2 条国際理事会選挙</p> <p>第 1 項 国際大会における選挙。協会の会長、第一副会長、第二副会長、<u>第三副会長*</u>、並びに全理事は、年次国際大会において無記名投票で選出される。国際大会が開かれる地区(単一、準、複合)内のクラブ会員は、会長、第一副会長、及び第二副会長の役職を除き、役員職に選ばれることはできない。</p> <p>第 2 項 <u>第三副会長立候補の資格。</u></p> <p>(a) 国際<u>第三副会長</u>候補者は:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) グッドスタンディングのクラブのグッドスタンディングの正会員であり、 (2) 選挙又は任命により国際理事としての任期を満了したか満了を控えている者で、 (3) 所属地区(単一、準、複合)の大会で推薦を得ていること。但し、単一地区又は準地区の大会が候補者を推薦することができるのは、かかる推薦を行う時に、単一地区又は準地区が国際付則第 8 条 2 項の規定する地区の最低条件を満たしている場合に限る。 (4) 本付則又は会則の規定通りに、所属地区(単一、準、複合)の推薦証明を得た者でなければならない。この推薦証明は、同候補者が第三副会長に選出された場合には、本協会の更に上位の役職に就く場合の推薦証明ともみなされる。 <p>(b) 本付則又は会則の規定に従って補充される役職に空席が生じた場合を除き、<u>第三副会長*</u>を務めたクラブ会員のみを第二副会長に、第二副会長を務めたクラブ会員のみを第一副会長に、第二及び第一副会長を務めたクラブ会員のみを国際会長に選出することができる。本付則又は会則の規定に従って補充される会長又は副会長職に空席が生じた場合には、現在国際理事を務めているか又は務めたことのあるクラブ会員を、その空席補充のために任命することができる。</p> <p>(*)第三副会長職は 2016・2017 年度より復活する。</p>	<p>ライオンズ必携第 54 版 P.51-52</p> <p>国際付則第 2 条国際理事会選挙</p> <p>第 1 項 国際大会における選挙。協会の会長、第一副会長、第二副会長、並びに全理事は、年次国際大会において無記名投票で選出される。国際大会が開かれる地区(単一、準、複合)内のクラブ会員は、会長及び第一副会長の役職を除き、役員職に選ばれることはできない。</p> <p>第 2 項 <u>第二副会長立候補の資格。</u></p> <p>(a) 国際<u>第二副会長</u>候補者は:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) グッドスタンディングのクラブのグッドスタンディングの正会員であり、 (2) 選挙又は任命により国際理事としての任期を満了したか満了を控えている者で、 (3) 所属地区(単一、準、複合)の大会で推薦を得ていること。但し、単一地区又は準地区の大会が候補者を推薦することができるのは、かかる推薦を行う時に、単一地区又は準地区が国際付則第 8 条 2 項の規定する地区の最低条件を満たしている場合に限る。 (4) 本付則又は会則の規定通りに、所属地区(単一、準、複合)の推薦証明を得た者でなければならない。この推薦証明は、同候補者が第二副会長に選出された場合には、本協会の更に上位の役職に就く場合の推薦証明ともみなされる。 <p>(b) 本付則又は会則の規定に従って補充される役職に空席が生じた場合を除き、第二副会長を務めたクラブ会員のみを第一副会長に、第二及び第一副会長を務めたクラブ会員のみを国際会長に選出することができる。本付則又は会則の規定に従って補充される会長又は副会長職に空席が生じた場合には、現在国際理事を務めているか又は務めたことのあるクラブ会員を、その空席補充のために任命することができる。</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版 P.55-56 国際付則第2条 国際理事会選挙 第4項 候補者推薦及び推薦証明。 (a) 空席が生じて本付則又は会則の規定の下に役職が補充される場合(この場合の立候補には推薦も推薦証明も必要としない)を除き、それぞれ該当する単一地区キャビネットあるいは準地区キャビネット及び複合地区協議会の議長及び幹事は、国際本部から提供される用紙を使って、地区ガバナー以外のすべての国際役員候補者の推薦を証明しなければならない。この推薦証明書は、国際理事候補者の場合には、推薦された候補者に対して投票が行われる国際大会開催日の30日前までに、<u>第三*</u>副会長候補者の場合には90日前までに、国際本部に到着しなければならない。ファックス又は電子メールで推薦証明を通知することができるが、ファックス又は電子メール送信後3日以内に推薦証明書を送付して、証明を確認しなければならない。そのような推薦証明書が提出され国際本部で受領されない限り、推薦は有効にならない。 (以下略)</p> <p>ライオンズ必携第55版 P.63 国際付則第6条 年次国際大会 第3項 大会役員。本協会の会長、<u>第一、第二及び第三*</u>副会長、幹事、並びに会計は、国際大会の役員になる。会長は国際理事会の承認を得て、国際大会のために必要な他の役員を任命することができる。</p> <p>(*第三副会長職は2016-2017年度より復活する。) 参考：1995年ソウル国際大会で第三副会長職の廃止が決議され、1997年フィラデルフィア国際大会終了時をもって第三副会長職が廃止された。上記のとおり2015年ホノルル国際大会での改正により、2016年福岡国際大会では、第二副会長および第三副会長が同時に選出される。</p>	<p>ライオンズ必携第54版 P.53-54 国際付則第2条 国際理事会選挙 第4項 候補者推薦及び推薦証明。 (a) 空席が生じて本付則又は会則の規定の下に役職が補充される場合(この場合の立候補には推薦も推薦証明も必要としない)を除き、それぞれ該当する単一地区キャビネットあるいは準地区キャビネット及び複合地区協議会の議長及び幹事は、国際本部から提供される用紙を使って、地区ガバナー以外のすべての国際役員候補者の推薦を証明しなければならない。この推薦証明書は、国際理事候補者の場合には、推薦された候補者に対して投票が行われる国際大会開催日の30日前までに、<u>第二</u>副会長候補者の場合には90日前までに、国際本部に到着しなければならない。ファックス又は電子メールで推薦証明を通知することができるが、ファックス又は電子メール送信後3日以内に推薦証明書を送付して、証明を確認しなければならない。そのような推薦証明書が提出され国際本部で受領されない限り、推薦は有効にならない。 (以下略)</p> <p>ライオンズ必携第54版P.61 国際付則第6条 年次国際大会 第3項 大会役員。本協会の会長、<u>第一及び第二</u>副会長、幹事、並びに会計は、国際大会の役員になる。会長は国際理事会の承認を得て、国際大会のために必要な他の役員を任命することができる。</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版P.59</p> <p>国際付則第4条 国際理事会の委員会</p> <p>第1項 常設委員会。会長は、国際理事会の承認を得て、三人以上の構成員、但し長期計画委員会の場合には七人以下の構成員から成る下記の常設委員会を任命する。各委員会は、国際理事会の定例会議において報告しなければならない。</p> <p>(a) 監査 (b) 会則及び付則 (c) 大会 (d) 地区及びクラブ・サービス (e) 財務及び本部運営 (f) リーダーシップ開発 (g) 長期計画 (h) 会員増強 (i) PR (j) 奉仕事業 (k) 協会の運営に必要と考えられるその他の委員会</p> <p>(Leadership から Leadership Development に委員会名称を変更。)</p>	<p>ライオンズ必携第54版P.57</p> <p>国際付則第4条 国際理事会の委員会</p> <p>第1項 常設委員会。会長は、国際理事会の承認を得て、三人以上の構成員、但し長期計画委員会の場合には七人以下の構成員から成る下記の常設委員会を任命する。各委員会は、国際理事会の定例会議において報告しなければならない。</p> <p>(a) 監査 (b) 会則及び付則 (c) 大会 (d) 地区及びクラブ・サービス (e) 財務及び本部運営 (f) リーダーシップ (g) 長期計画 (h) 会員増強 (i) PR (j) 奉仕事業 (k) 協会の運営に必要と考えられるその他の委員会</p>
<p>ライオンズ必携第55版 P.69-70</p> <p>国際付則第9条 地区大会及び選挙 〔2016年7月1日より有効〕</p> <p>第3項 クラブ代議員方式。協会及び地区（単一、準、複合）においてグッドスタンディングである各正クラブは、大会が開かれる月の前月1日付国際本部の記録に基づき少なくとも1年と1日クラブに在籍している会員10人ごと及びその過半数の端数について、代議員一人及び補欠一人を地区大会（単一、準、複合）に出席させることができる。</p> <p>（中略）</p> <p>クラブは、大会議事規則によって定められた代議員資格証明締切り時の <u>15 日前</u>までに滞納金を支払って、グッドスタンディングとなることができる。</p> <p>（上記改訂箇所は、2016年7月1日より有効となる。）</p>	<p>ライオンズ必携第54版P.66-67</p> <p>国際付則第9条 地区大会及び選挙</p> <p>第3項 クラブ代議員方式。協会及び地区（単一、準、複合）においてグッドスタンディングである各正クラブは、大会が開かれる月の前月1日付国際本部の記録に基づき少なくとも1年と1日クラブに在籍している会員10人ごと及びその過半数の端数について、代議員一人及び補欠一人を地区大会（単一、準、複合）に出席させることができる。</p> <p>（中略）</p> <p>クラブは、大会議事規則によって定められた代議員資格証明締切り時まで滞納金を支払って、グッドスタンディングとなることができる。</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版P.64-65</p> <p>国際付則第8条 地区機構 第3項 地区再編成。<u>複合地区となることを希望するすべての単一地区、もしくは、一つまたはそれ以上の準地区を追加すること、あるいは一つまたはそれ以上の既存の準地区に何らかの変更を加えることを希望するすべての複合地区は、それぞれ 35 クラブ及び 1,250 人の会員を有する単一地区または準地区と複合地区の大会で過半数の票により承認された地区再編成案を、国際理事会に提出する。一つまたはそれ以上の準地区の整理統合を希望するすべての複合地区は、そのうちの一つまたはそれ以上の準地区が 35 クラブ及び 1,250 人の会員を下回る場合においては、複合地区大会で過半数の票により承認された地区再編成案を、国際理事会に提出する。</u></p> <p>各地区再編成案は、各予定準地区が少なくとも 35 のライオンズクラブおよび合計 1,250 人以上のグッドスタンディングの会員を有することを条件に、国際理事会によって考慮される。ただし、複合地区内の準地区数を減少させる場合はこの限りではない。理事会は、再編成案の承認を検討するに当たって、その他妥当と思われる要素を勘案することができるし、クラブ数及び（又は）会員数の追加を要求することができる。</p> <p style="text-align: center;">(以下略)</p> <p>(地区再編成案が一つまたはそれ以上の準地区を整理統合するものであり、そのうちの一つまたはそれ以上の準地区が 35 クラブ及び 1,250 人の会員を下回る場合においては、複合地区がその複合地区大会で地区再編成案を（影響を受ける正規の準地区の承認なしに）承認できる。)</p>	<p>ライオンズ必携第54版P.62-63</p> <p>国際付則第8条 地区機構 第3項 地区再編成。<u>複合地区になることを希望するすべての単一地区と、一つかそれ以上の準地区を追加すること、または何らかの形で一つかそれ以上の既存の準地区を変更もしくは再編成することを希望するすべての複合地区は、それぞれの単一地区の大会で承認された再編成案を、また複合地区再編成の場合には、複合地区の大会並びに再編成する準地区の大会で承認された再編成案を、全予定準地区の境界線を示す地図及び各予定準地区に属するライオンズクラブのリストと共に、国際理事会に提出する。但し、再編成するそれぞれの準地区が、第8条2項に規定される地区の最低条件を満たしていない場合には、再編成する準地区の大会における承認は必要とされない。</u></p> <p>各地区再編成案は、各予定準地区が少なくとも 35 のライオンズクラブおよび合計 1,250 人以上のグッドスタンディングの会員を有することを条件に、国際理事会によって考慮される。ただし、複合地区内の準地区数を減少させる場合はこの限りではない。理事会は、再編成案の承認を検討するに当たって、その他妥当と思われる要素を勘案することができるし、クラブ数及び（又は）会員数の追加を要求することができる。</p> <p style="text-align: center;">(以下略)</p> <p>(第1段落を全文削除し、差し替える。)</p>

註：2015年6月国際理事会でLCIFが新組織に変わり，国際理事会方針書第16章LCIFが削除された。そのため第17章ライオン誌は第16章となり，以降の章もそれぞれ繰り上げされた。国際理事会方針書第17章会員の正会員の規定および会員種別と義務，権利および特権の表が改められた。

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版P.88-92</p> <p>国際付則 別紙A-会員種別</p> <p>a.正会員 <u>クラブ，地区，または国際協会の役職に立候補する資格（ただし資格要件を満たしている場合）と，会員の投票を要するあらゆる事項に対する投票権を持つ会員。義務には，速やかな会費納入，クラブ活動参加，並びに地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動が含まれる。この種類の会員は，クラブ代議員数算出の対象となる。</u></p>	<p>ライオンズ必携第54版P.85-90</p> <p>国際付則 別紙A-会員種別</p> <p>a.正会員 ライオンズクラブの会員であることから生じるすべての権利と特権を持ち、又すべての義務を負う会員。この権利には、他に規定される資格を有していることを条件に、クラブ、地区、及び国際協会の役職に就く権利、並びにあらゆる事項に対する投票権が含まれる。義務には、定期的な出席、速やかな会費納入、クラブ活動参加、並びに地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動が含まれる。家族会員プログラムの基準に定められる通り、有資格の家族員は正会員であり、正会員としてのすべての権利と特権を有するものとする。学生会員プログラムの基準に規定される通り、有資格の学生会員、元レオ及び若年成人会員は正会員であり、正会員としてのすべての権利および特権を有するものとする。この種類の会員は、クラブの代議員数算出の対象となる。</p> <p>(正会員の義務から定期的な出席を削除する。)</p>

ライオンズ必携第 55 版 (新)

国際付則 別紙B-会員種別表

種別	会費即時支払 (クラブ、地 区、国際)	クラブ活動 参加	良い印象 を与える 言動	クラブ、地 区又は国際 の役職への 立候補	投票権	地区又は国 際の大会へ の代議員
正会員	必要	必要	必要	有	有	有
賛助会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項の み	無
準会員	クラブ会費のみ 支払う	可能な時	必要	無	地区大会 (第 1クラブ) クラブ事項 (第1及び第 2クラブ)	無
名誉会員	必要なし クラ ブが国際及び地 区の会費を支払 う	可能な時	必要	無	無	無
終身会員	クラブ及び地区 の会費を支払 い、国際会費は 支払わない	可能な時	必要	正会員の義 務を果たし ていれば有	正会員の職務 を果たしてい れば有	正会員の義 務を果たし ていれば有
不在会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項の み	無
優待会員	必要	可能な時	必要	無	有	有

(義務、権利と特権の2つの表を1つの表にまとめ、「定期的な出席」の欄を削除。なお、名誉会員の活動参加「不要」は「可能な時」に変更された。)

ライオンズ必携第 54 版 (旧)

義務

カテゴリー	定期的な出席	会費即時支払 (クラブ、地 区、国際)	クラブ活動参加	良い印象を与 える言動
正会員	必要	必要	必要	必要
賛助会員	必要なし	必要	可能な時	必要
準会員	第1クラブでは必要、第2クラ ブでは必要なし	クラブ会費のみ支払う	可能な時	必要
名誉会員	必要なし	必要なし クラブが国際及び地区の会 費を支払う	必要なし	必要
終身会員	必要なし	クラブ及び地区の会費を払 い、国際会費は払わない	可能な時	必要
不在会員	必要なし	必要	可能な時	必要
優待会員	必要なし	必要	可能な時	必要

権利と義務

カテゴリー	クラブ、地区又は国際 の役職に立候補	投票権	地区又は国際の大会への 代議員
正会員	有	有	有
賛助会員	無	クラブ事項のみ	無
準会員	無	地区大会(第1クラブ)、クラ ブ事項のみ(両方)	無
名誉会員	無	無	無
終身会員	正会員の義務を果た していればできる	正会員の義務を果たしてい ればできる	正会員の義務を果たして いればできる
不在会員	無	クラブ事項のみ	無
優待会員	無	有	有

2. ライオンズクラブ会則および付則標準版の改正(2015年6月ホノルル国際理事会)

- 付則第1条1, 8項, 第4条1項, 第5条3項, 第7条1項, 別紙

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版P.88-92</p> <p>標準版ライオンズクラブ付則 第1条会員</p> <p>1項 会員種別</p> <p>(a) 正会員：<u>クラブ、地区、または国際協会の役職に立候補する資格(ただし資格要件を満たしている場合)と、会員の投票を要するあらゆる事項に対する投票権を持つ会員。義務には、速やかな会費納入、クラブ活動参加、並びに地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動が含まれる。この種類の会員は、クラブ代議員数算出の対象となる。</u></p>	<p>ライオンズ必携第54版P.85-90</p> <p>標準版ライオンズクラブ付則 第1条会員</p> <p>1項 会員種別</p> <p>(a) 正会員：ライオンズクラブの会員であることから生じるすべての権利と特権を持ち、又すべての義務を負う会員。この権利には、他に規定される資格を有していることを条件に、クラブ、地区、及び国際協会の役職に就く権利、並びにあらゆる事項に対する投票権が含まれる。義務には、定期的な出席、速やかな会費納入、クラブ活動参加、並びに地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動が含まれる。家族会員プログラムの基準に定められる通り、有資格の家族員は正会員であり、正会員としてのすべての権利と特権を有するものとする。学生会員プログラムの基準に規定される通り、有資格の学生会員、元レオ及び若年成人会員は正会員であり、正会員としてのすべての権利および特権を有するものとする。この種類の会員は、クラブの代議員数算出の対象となる。</p> <p>(正会員の義務から、「定期的な出席」を削除する。)</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版 P.118</p> <p>標準版ライオンズクラブ付則第1条会員 8 項 出席および参加 クラブは、その会合および活動への<u>定期参加</u>を奨励する。</p> <p>「ATTENDANCE AND PARTICIPATION.」 The club shall encourage regular <u>participation in club meetings and activities.</u> (項目見出しを英語原文と一致させ、出席よりも参加を強調する。)</p> <p><u>attendance at</u> → <u>participation in</u> (日本語翻訳の「参加」は変わらないが、原文の意味合いは、会合およびアクティビティに積極的に参画して関わりを持つことを意味している。)</p>	<p>ライオンズ必携第54版 P.106-108</p> <p>標準版ライオンズクラブ付則第1条会員 8 項 出席 クラブはクラブの会合と活動への規則正しい<u>参加</u>を奨励しなければならない。会員が<u>引き続き会合または活動に参加しない時は、クラブはその会員と連絡を取り、規則正しい参加を奨励するようあらゆる努力をする。年間皆出席賞は、12 ヶ月間本クラブの定例会議に出席しているか、または例会を欠席したときは規則に従ってメイク・アップをした会員に与えられる。</u></p> <p>「ATTENDANCE AND PARTICIPATION.」 The club shall encourage regular <u>attendance at club meetings and activities.</u> (第1文中のアテンダンスの文言を差し替え、第2文以下を削除する。)</p>
<p>P.125</p> <p>クラブ付則第4条委員会 1 項 常設委員会 クラブ会長は次の常設委員会を設置することができる。ただし、<u>会員委員長は、選挙で選ばれるものとする。この他にも、クラブ理事会が決定した委員会を設けることができる。</u></p> <p>(a) 運営委員会 会則および付則 財務 (以下略)</p>	<p>P.124</p> <p>クラブ付則第4条委員会 1 項 常設委員会 クラブ会長は次の常設委員会を設置することができる。ただし、<u>会員委員長は、選挙で選ばれるものとする。</u></p> <p>(a) 運営委員会 出席 会則および付則 財務 (以下略)</p> <p>(出席委員会を一覧から削除し、クラブ理事会は追加の委員会を設けることができるようにする。)</p>
<p>P.127</p> <p>クラブ付則第5条会合 3 項 クラブ例会/催し 本クラブの例会は、理事会に推薦され、クラブで承認された日時および場所で、開かれる。本会則および付則で他に特に定められる場合を除き、<u>理事会が例会および/または催しについてクラブ全会員に的確に連絡し参加を促すのに適当と定めた方法で、例会の通知が行われる。クラブの例会はクラブの会員が決定した奉仕事業またはその他の催しに置き換えることができる。(クラブは毎月少なくとも1回会議、催し、もしくは奉仕活動を行うことが奨励される)。</u></p> <p>見出しの原文 「REGULAR CLUB MEETINGS/EVENTS」</p>	<p>P.126</p> <p>クラブ付則第5条会合 3 項 例会 本クラブの例会は、理事会によって推薦され、クラブで承認された日時および場所で開かれる。すべての例会は決定された時刻どおり速やかに開会し、また閉会する。本会則および付則でほかに特に規定する場合を除き、<u>例会の通知は理事会が適当と認めた方法で各会員に対して行われる(クラブは少なくとも月2回は例会を開くよう推奨されている)。</u></p> <p>(例会よりもクラブの催しに参加することを重視する条文に変更された。)</p>

改正 (55 版)	旧 (54 版)
<p>ライオンズ必携第55版 P.129-130</p> <p>クラブ付則第7条クラブ支部運営</p> <p>1項 クラブ支部役員 支部を構成する会員が支部長、幹事および会計を選出する。以上の3人と支部連絡員が支部の執行委員会を構成する。支部の会員は、親クラブ理事会のメンバーとなる支部長を選出する。また、支部の種々記録、予定されている支部活動、月例財務報告書を提供し、支部と親クラブとの間の率直な話し合いおよび効果的なコミュニケーションを推進する努力を統制するため、支部長には、親クラブの例会および(または)理事会会議およびアクティビティに出席することが奨励される。支部会員には、親クラブの例会およびアクティビティに出席するよう奨励される。</p>	<p>ライオンズ必携第54版 P.129</p> <p>クラブ付則第7条クラブ支部運営</p> <p>1項 支部クラブ役員 支部の構成員は支部長、幹事、会計を選出しなければならない。上記三役は支部連絡員とともに支部の執行委員会を組織する。支部長は親クラブの理事会構成員となり、親クラブの例会、理事会に出席し、支部の記録、支部のアクティビティ計画の報告、月例財務報告を提出して開かれた討論を奨励し、支部と親クラブの交流を図る。支部の会員は、親クラブの会合に出席するよう奨励される。</p> <p>(アクティビティ参加を取り入れた条文に変更された。国際本部翻訳を掲載し、文中の「支部会長」は「支部長」に置き換える。支部長は委員長連絡会議で統一。)</p>

ライオンズ必携第55版 P.133 別紙A 会員種別表

会員種別	会費(国際、地区、クラブ)の即時支払い	クラブ活動参加	良好のイメージを示す言動	国際協会、地区、クラブの役職に立候補	投票権	国際または地区の大会で代議員
正会員	要	要	要	可	可	可
賛助会員	要	可能な時	要	不可	クラブ事項のみ可	不可
準会員	要 クラブ会費のみ支払う	可能な時	要	不可	地区大会(第1クラブ) クラブ事項のみ(両方)	不可
名誉会員	不要 クラブが該当する国際および地区の会費を支払う	可能な時	要	不可	不可	不可
終身会員	クラブ及び地区の会費を支払い、国際会費は支払わない	可能な時	要	正会員の義務を果たしていれば可	正会員の義務を果たしていれば可	正会員の義務を果たしていれば可
不在会員	要	可能な時	要	不可	可(ただし、クラブ関係の事項のみ)	不可
優待会員	要	可能な時	要	不可	可	可

(義務、権利と特権の2つの表を1つの表にまとめ、「定期的な出席」の欄を削除。なお、名誉会員の活動参加「不要」は「可能な時」に変更された。)

2014-2015 議長連絡会議は家族会員の例会出席義務について検討し、クラブが採択できるように正会員の表を分割し、二人目以降の家族会員の表を挿入することが提案された。クラブ付則を改正する場合は、標準版クラブ付則第 9 条による。

別紙A

会員種別と義務

会員種別	定期的な出席 (例会)	会費（国際、 地区、クラ ブ）の即時支 払	クラブ活動 参加	良好のイメー ジを示す言動
正 会 員	要	要	要	要
一人目の家族会員/ 世帯主	要	要	要	要
二人目以降の家族 会員	(可能な時)	国際会費半額	可能な時	要
賛助会員	不要	要	要	要

(以下略)

権利および特権

会員種別	国際協会、地区、ク ラブの役職に立候補	投票権	国際または地区の大 会で代議員
正 会 員	可	可	可
一人目の家族会員/ 世帯主	可	可	可
二人目以降の家族 会員	可	可	可
賛助会員	不可	クラブ事項の み可	不可

(以下略)

3. 複合地区会則の改正 (2015年6月第61回334複合地区年次大会)

●第16条

註：2015年6月国際理事会でLCIFが新組織に変わり、国際理事会方針書第16章LCIFが削除された。そのため第17章ライオン誌は第16章となり、以降の章もそれぞれ繰り上げされた。〔複合地区会則第9条5項〕

改正 (55版)	旧 (54版)
<p>ライオンズ必携第55版 P.153</p> <p>◎第16条 地区ガバナー・キャビネット</p> <p>3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長およびLCIF/GMT/GLT/FWT/100周年記念地区コーディネーターに投票権が与えられる。(334複合地区)</p>	<p>ライオンズ必携第54版 P.152</p> <p>◎第16条 地区ガバナー・キャビネット</p> <p>3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長およびLCIF/GMT/GLT地区コーディネーターに投票権が与えられる。(334複合地区)</p>

4. 参考資料

P.215 公認プロトコール 役職の順位

(2014年10月スコッツデール国際理事会で、LCIF事務総長が新たに加わった。)

1. 国際会長
 2. 前国際会長
 3. 国際副会長 (地位の順)
 4. 元国際会長 (b)
 5. 国際理事 (a)
(国際理事会アポインティ) */**
 6. 元国際理事 (c)
 7. LCIF エリアコーディネーター、GMT/GLT エリアリーダー
 8. 複合地区協議会議長 (a)
 9. 地区ガバナー
 10. 協会事務総長
 11. 協会幹事
 12. 協会会計
 13. LCIF 事務総長
 14. 元協議会議長(a)
 15. 前地区ガバナー(a)
 16. 複合地区委員長、複合地区コーディネーター (LCIF、GMT、GLTを含む)
 17. 第一副地区ガバナー
 18. 第二副地区ガバナー
 19. 元地区ガバナー (a)
- (以下略)

その他主な改訂箇所：

P.23

まえがきの例会出席について、国際本部の方針により出席義務よりも参加重視に変更。

第二は、クラブ例会のあり方と出席義務の問題である。

正会員にはクラブの運営に直接参加する権利と義務がある。そして、当該クラブの運営の方向づけは例会の場において決まるのであるから、会員は自己の貴重な時間を割いて例会に出席することに努力すべきだが、出席率のみに重点を置いては会員減少につながりかねない。またメイク・アップ規則採用の選択はクラブに任せられており、当該クラブの事情によっては奉仕事業の参加に重きを置くことも可能である。

2014年国際協会はクラブ例会のあり方を見直し、「Your Club、Your Way!（あなたのクラブ、あなたのやり方で）」新パンフレットを発行した。厳格な式次第に従いプロトコールや儀礼を重視する伝統的タイプ、サイバークラブとも呼ばれるテクノロジーを駆使しカジュアルな交流目的のつながり重視タイプ、伝統重視の例会を開きコミュニケーションはEメールやスマートフォンを使う混合タイプの3種類を掲げており、クラブは会員のニーズに合わせて、有意義な例会を作るよう提案している。

P.183、P.187 レオクラブ会則標準版

国際本部部署名の変更。「青少年プログラム課」→「レオクラブ・プログラム課」

P.213 LCIF 一般援助交付金の申請額変更。

US\$7,500 から US\$75,000 → US\$10,000 から US\$100,000

P.252 CEP クラブ向上プロセス Club Excellence Process※

※2015年4月国際理事会で Club Quality Initiative に英語名が変更されている。

FWT 女性および家族チーム Family and Women Team

2014年10月国際理事会で、GMT・GLTの構造を反映する家族および女性会員増強組織を設けるパイロットプログラムが承認され、日本において実施されている。

P.262 百周年記念 Centennial Celebration

2017年にライオンズクラブ創立百周年祭を迎えるにあたり、「2018年6月までに1億人の人々に奉仕する」という百周年記念奉仕チャレンジの目標が掲げられた。また百周年記念会員増強賞が設けられ、百周年記念の期間中（2015年4月1日～2018年6月30日）に会員増加に貢献したライオンズ会員とライオンズクラブを称えるもので、会員とライオンズクラブは、1. 新会員のスポンサーと、2. 新クラブの結成の2つのカテゴリーにおける成果に基づき、特別な表彰を受けることができる。

P.265 マイエルシーアイ MyLCI（会員報告サイト）

国際協会が2013年開設したウェブサイト。クラブはeMMR ServannAからMyLCIへアクセスし、会員データを閲覧したり、会員名簿などを印刷できる。またアクティビティ報告や、会計計算書の確認のほか、会員カードの印刷を行うこともできる。

P.268 ライオンズクラブ国際財団（LCIF）Lions Clubs International Foundation

1968年に国際協会によって設立された財団。2015-16からLCIFの組織が変わり、国際協会（LCI）とは別組織のLCIF理事会構成となった。LCIF国際理事21名、執行委員7名。

2015-2016年度336複合地区内準地区 第1回IT委員長会議

1. 日時：2015年10月15日（木） 15：00～16：30
2. 場所：広島市中区立町 1-24 有信ビル4F 会議室
3. 出席者：

336複合地区PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長	池田 康彦	○
(2015-2016) 336複合地区IT専門委員	池原 堅	○
(2015-2017) 336複合地区IT専門委員 (2015-2016) 336-A地区IT推進委員	長尾 和彦	○
(2015-2016) 336-A地区IT特別委員会委員長	弘内 喜代志	×
(2015-2016) 336-B地区広報委員長	滝口 広志	○
(2015-2016) 336-C地区PR・ライオンズ情報・IT委員長	高橋 英晶	○
(2015-2016) 336-D地区PR・情報委員長	管田 亘城	○
(2015-2016) 336-D地区キャビネット副幹事	大木 寿之	○

4. 池田委員長挨拶

各地区とも今年度は4回程度のWeb会議の推進をお願いしております。
又、HP未開設クラブや開設しても更新がされないなど問題が多い、
フェイスブックを併用してIT推進が出来るようお願いしたい。

5. 出席者の紹介

出席者の自己紹介を行った。

6. 議 事

(1) 各地区現状報告並びに要望事項などについて

B 地区⇒滝口委員長より

B 地区では Web 会議についてはガバナー否定的、IT 委員会も推進が出来ていない。
HP については95クラブ中33クラブが開設、62クラブが未開設
HP 開設してもあまり意義を感じない。それよりフェイスブックの活用を推進している。

A 地区⇒長尾 IT 専門委員より

昨年よりキャビネット事務局のIT化が遅れていることもあり予算を500万円計上していただいたのでクラブ省力化を推進している。サバンナと連動できる仕組みを作り上げているが廃止されることもあり今後、Web 上で集計できるシステムを計画している。

HP については148クラブ中30%程度で自動登録できるシステムを計画中的のこと。

Web 会議についてはサポート中とのこと。

A 地区では以前より IT 推進チームを作っている事もあり、クラブ事務局員は理解できている。

但し、会長、幹事は中々、抵抗がありそう!

C 地区⇒高橋委員長より

Web 会議は委員会で実施した。システムはソバミーティングを使い設定方法など初期の設定から実施したが何とか出来そうである。

キャビネット幹事、事務局員も参加し、他システムでの Web 会議も披露した。

今期中に IT 委員会で推進して行く予定である。

HP 開設については昨年度よりも未開設クラブ(22クラブ)が増えてしまった。

更新も出来ていないのでキャビネットより低価格で専門業者に依頼し、推進を図っている。

D 地区⇒管田委員長・大木キャビネット副幹事より

Web 会議はソバミーティングを使って大いに活用している。

矢野議長中心に Web 会議を推進、キャビネット会議、地区役員研修会でも実施している。

先般は FWT、GMT、GLT の会議でも Web 会議を実施した。

HP 開設 95クラブ中 37クラブである。

D 地区は HP&フェイスブックを活用するクラブも有る。

又、データ共有にグーグルドライブを利用し、キャビネット事務局 3 台の PC が同期して使用している。

～クラウド型使用料金⇒500円/1クライアント

グーグルドライブ(15GB)を活用し、Web 共有出来ることからフォーマットを作成し、LCIF、地区年次大会予備登録など集約できるシステム構築を進めている。

IT 専門委員(正)池原より

各地区とも HP 未開設クラブ、未更新クラブに対して対策が急務と考えますが この問題点を複合地区としてどのように対処して行くか意見を求めた。

※各地区委員長より HP&フェイスブックの併用での推進を図っていく事が良いのではとの意見が大勢をしめた。

次に Web 会議については B 地区を除き、積極的に推進していただいだけ、D 地区では範囲が広いこともあり、大いに推進して頂いている。

まずは各地区 Web 会議ができる体制を整えていただくよう要望した。

その他、キャビネット事務局での Web 共有としてグーグルドライブの活用について D 地区大木キャビネット副幹事より説明を受け、次回会議までにシステム機能の検討をお願いした。(各地区委員長さん HP で機能調査することとした)

B 地区では単独で Web チームを立ち上げ、IT 推進委員に長尾氏が複数年の期間携わりシステム構築を図っている。

A 地区長尾 IT 専門委員より状況説明を頂いた。

今後、各地区 IT 推進にあたり、情報を共有化できるものは共有化し、IT 推進が出来る仕組みを池田複合 IT 委員長をお願いした。

池田委員長より

各地区で誰でも利用できるシステムを使うことは良いことだと思う。

複合として共有できるシステム構築するにはサバンナがなくなることを踏まえ D 地区利用のグーグルドライブを進めて行ける様、次回会議に報告することになる。

HP 未開設クラブについてはフェイスブックの活用を進めて行ってください。
今回の会議の内容はガバナー協議会で話をする。

7. 閉会の辞

複合地区 IT 専門委員 長尾 和彦

【総 評】

今回、初めて各地区委員長さんにお集まり頂き、現状を踏まえた報告と活動状況の報告を聞かせていただいたことでこれから複合として IT 化の推進をどのように進めて行けば良いかがハッキリわかってきました。

次回 1 月には本日、議題となった事項について協議していくことで終了しました。

池田複合地区 IT 委員長、IT 専門委員、各地区 IT 委員長さんにはたいへん貴重な意見を頂き、有意義な会議でした。感謝申し上げます。

第 2 回、3 3 6 複合地区 IT 委員長会の開催は池田委員長、了解いただきましたので日時が決定次第、ご連絡いたします。

尚、場所については岡山にて開催予定です。

第1回複合地区YCE委員長連絡会議要録

◎ 日時： 2015年9月14日(月) 13:30-16:00

◎ 場所： 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

出席者：	330複合地区YCE委員長	河合 悦子
	331複合地区YCE委員長	大澤 勝雄
	332複合地区YCE委員長	長岐 正志
	333複合地区YCE委員長	金井 一夫
	334複合地区YCE委員長	橋本 和久
	335複合地区YCE委員長	正岡 章
	336複合地区YCE委員長	別所 清平
	337複合地区YCE委員長	濱脇 哲夫

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 近藤 正彦

◎ 議事：

会議に先立ち、近藤議長連絡会議世話人からご挨拶があり。

1. 世話人の互選

各委員長から自己紹介の後、世話人にMD334 橋本委員長、副世話人にMD335 正岡委員長が互選された。

2. 複合地区YCE委員長の手引き

上記手引きを確認した。

3. 本年度活動計画

上記計画を確認した。

4. 海外通信窓口担当地区の確認と業務内容について

上記を確認した。近藤議長連絡会議世話人から、各複合地区の窓口担当地区(国)数の偏りが大きいとの指摘があり。現在に至った経緯、各MDの希望について意見交換を行った。

MD333 金井委員長から、近年メール及びインターネットの交換実務への活用が進み、現地に赴いての直接交渉を必要としなくなっているとの意見があり。

5. 各地区旅行代理店の確認と業務内容について

各地区旅行代理店(前年度夏期分)と業務内容、共通見積もりフォームを一同で確認した。各地区旅行代理店に変更が生じた際は、連絡事務所あて報告する。

6. 前年度からの申し送り事項について

前年度連絡会議からの申し送りを確認した。

7. 2014-2015 YCE 委員長連絡会議収支会計報告

別紙1の通り確認された。前年度繰越収支差額から年度初めに必要な用品(名札ケースなど)を購入する。

8. 冬期交換

A) 派遣生

(1) 派遣日程と人数調整

各窓口からの以下の配分情報(別紙2)が概ね了承された。

(2) 共通経費について

共通経費について現在までの経緯が確認された。近年派遣人数、用品作成、海外送料ともに減少傾向で、共通経費の目的を見なおす意見も出ていることから、次回引き続き検討予定。

(3) 冬期派遣事務手続き要領

冬期派遣事務手続きの流れを確認、以下の締切日を決定した。

冬期派遣候補者の名簿の締切: 2015年9月30日(水)連絡事務所必着

冬期派遣生アプリケーション・フォーム締切: 2015年10月15日(木)窓口必着

(4) 名簿作成要領

交換生情報を記入する各種フォームと記入要領を確認した。

(5) 派遣生用ユニフォーム

昨年度同様ユニフォームは青のジャケットを基本着用、YCEエンブレム、YCEネクタイ(またはYCEリボン)の装用が申し合わされた。後日案内予定。

<ジャケット>

設定はおおよそ昨年度夏期と同様、ただしジャケットについては生地が厚すぎるので素材を薄いものにする希望があり、見積もりを取る予定。業者〔榑佐田〕扱いとし、別途案内予定。申し込みは各地区から業者あて直接行い、納品には約1カ月を要するので注意する。同ジャケットは他の業者から購入しても良いが同じ青色に合わせる。

<YCEエンブレム、ネクタイ、リボン>

昨年度夏期と同設定にて業者〔榑グローリーシバタ〕扱い、地区単位で複合事務局あて申込む。追って案内予定。

B) 来日生

(1) 来日日程と人数調整

本年度の来日生情報(別紙3)が配布された。また以下の情報提示があり。

(2) 来日事務手続きの流れ

来日事務手続きの流れを確認され、以下の締切日が決定された。

冬期来日ホスト家庭名簿締切: 2015年10月15日(木)窓口必着

冬期来日ホストファミリーフォーム締切: 2015年10月30日(金)窓口必着

9. 2014-15 夏期来日についてMD336 からのお願い事項 (別紙4)

MD336 別所委員長から、昨年度夏期台湾来日到着便の遅れについて報告があり。急きよ来日前日(7/16)に現地窓口から連絡が入り、台風11号の影響により翌7/17来日生到着便が変更となる連絡があり。来日生は変更後の便で当初の予定より8-9時間遅れで到着、更に入国審査カウンターの混雑により、全員が到着出口に現れた頃には深夜3時を過ぎていた。大阪市内に出る公共交通機関もストップしており、

全来日生37名のうち、MD334及びMD335に関西空港で引き渡された9名を除く28名がやむなく宿泊費の割高な関西空港ホテルに宿泊せざるを得なかった。については宿泊費用は、台湾来日生の約8割に共通するもので、不慮のことでMD336側でも全額負担が困難であり、YCEの緊急資金規定により同資金から支出のお願いがあり。次回議長連絡会議で検討予定。

10. 次回会議

日時：2015年12月11日(金) 13:30-16:00

場所：日本ライオンズ連絡事務所

出席者：複合地区YCE委員長

主要案件：1. 冬、春期交換直前情報

2. 夏期交換最新情報

3. 夏期派遣各締切の決定

4. 夏期頒布品の検討

- 本年度も窓口情報送信及び交換実務にメールやインターネットを活用する。
- 冬期派遣担当幹事旅行会社からの冬期派遣旅程・見積については、別途複合地区区内で了承の得られたものを各担当通信窓口MDから各MDへメール送信予定。
(写し：日本ライオンズ連絡事務所)

以上

2015-2016 年度 336 複合地区内準地区 第 1 回 YCE 委員長連絡会議要録

日 時 : 2015 年 9 月 18 日 (金) 14:00~16:00
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山県岡山市北区下石井二丁目 1 番 18 号
 ORIX 岡山下石井ビル 9 階
 出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会 議長	D 地区ガバナー	矢野 敏明	×
336 複合地区ガバナー協議会 副議長	C 地区ガバナー	片岡 文彰	○
336 複合地区 YCE・国際関係委員長		別所 清平	○
336-A 地区 YCE・国際関係委員長		白土 圭志	×
336-B 地区 YCE・国際関係委員長		赤野 勝俊	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員長		黒川 義之	○
336-D 地区 YCE 委員長		寺田 一男	○

次 第 :

1. 担当ガバナーあいさつ 336 複合地区ガバナー協議会副議長 片岡 文彰
 本日はお集まりいただきありがとうございます。初めてということでよく分からない点が多いですが、よろしく願い申し上げます。
2. 委員長あいさつ 336 複合地区 YCE・国際関係委員長 別所 清平
 前年度は担当ガバナーでしたが、今年度は委員長を務めます。本日は冬期交換について主に協議いたします。よろしく願い申し上げます。
3. 協 議
 - (1) 第 1 回複合地区 YCE 委員長連絡会議報告……………《日本連絡事務所資料》
 別所委員長より資料に基づき説明があった。
 - (2) 336 複合地区 YCE 担当旅行社について
 今年度も引き続き(株)近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店とすることを申し合わせた。
 - (3) 2015-2016 年度冬期派遣について
 - ① 派遣生割り当て・派遣希望者名簿 …………… (別紙 A-1',2')
 別紙 A-1',2'のとおり申し合わせた。
 - ② 派遣日程並びに費用一覧 (昨年度参考) …………… (別紙 B)
 - ③ 事務手続の〆切
 - 派遣候補者名簿《別添(1)(2)》: 〆切 9/25 (金)
 - ・ 7/23 メール送信済の派遣候補者名簿 (和文、英文) をキャビネットで作成し、〆切までに複合事務局へ提出する。
 - ・ 派遣先は略号で記載 (No.は空欄) 略号は YE プログラムマニュアル

P.76,77 参照

- ・ 氏名 (ふりがな)、年齢 (出発時)、性別
- ・ 住所 (派遣生が出発後も連絡が取れる連絡先)
下宿中の場合、名簿には実家を記載する。参考として現住所を確認しておく。
- ・ 電話番号、ファックス、E-mail (データ受信もできるもの)
- ・ 学校名、学年 (現在)
- ・ スポンサークラブ名 (英文は国際本部登録の名称)

➤ 派遣生アプリケーションフォーム<<別添(3)(4)>> : 〆切 10/9 (金)

- ・ マレーシア、ペルー派遣生は、アプリケーションフォームをYEプログラムマニュアルP.54,55を参考にパソコン(英文)で作成。
キャビネットを確認後、〆切までに複合事務局へ提出する。
様式はMD336のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードしてください。

➤ 添付書類 : 〆切 10/9 (金)

- ・ 診断書 (健康調査記入用紙)
様式はMD336のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードしてください。
- ・ 英作文 (ホストファミリー宛自己紹介/A4で1~3枚 様式は自由)
- ・ パスポートのコピー
- ・ 顔写真 (笑顔のもの1枚)、家族写真 (1枚)

④ 派遣生ユニフォームについて…………… (別紙C)

- 男女とも青のブレザーにYCEエンブレムを胸ポケットにつけたスタイルで統一
 - ・ ブレザーの注文はキャビネットに取りまとめて11月初旬頃までに直接業者〔(株)佐田〕へ (仕上がりまで約4週間)
- ズボン・スカートは紺またはグレー (自前可)
- ネクタイ (男子用)・リボン (女子用) は規定のもの
 - ・ エンブレム・ネクタイ・リボンの注文はキャビネットに取りまとめて複合事務局へ (〆切予定 : 11月下旬)

※ 注文についての詳細は、後日案内いたします。

⑤ 名刺について

派遣生に名刺を持たせて下さい。(統一して作成はしない)

⑥ 冬期は頒布品 (交換ピン等) の注文はありません。お土産を持たせて下さい。

⑦ オリエンテーションを必ず行ってください。

(4) 2015-2016 年度冬期来日について

- ① 各地区への配分、並びに来日期間 …………… (別紙 D')
来日生受入配分は別紙 D'のとおり決定した。来日生の詳細が分かり次第受入地区へ連絡する。
送迎移動について、経路、担当者案を複合事務局にて作成することとなった。

② 事務手続のメ切

- ホスト家庭名簿<別添(5)> :メ切 10/13 (火)
・ 来日前から来日生とメールでやり取りするので、メールアドレスは必ず記載すること。(ホスト家庭のメールアドレスがない場合は、ホストクラブ等に代行をお願いする)
- ホストファミリーフォーム<別添(6)> :メ切 10/23 (金)
・ パソコン (英文) で作成しキャビネットで確認後、メ切迄に複合事務局へ提出する。

※ 上記資料は MD336 のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードして必ず所定の様式でご提出ください。

- 添付書類 :メ切 10/23 (金)
・ 家族写真 (1 枚 データの場合は jpg か PDF 形式)

(5) 2014-2015 年度夏期来日について

- ① 来日生移動・送迎旅費 …………… (別紙 E-1,2,3,4)

- 336 受入来日生移動、送迎費用
- 台湾来日生遅れによる費用
4 地区按分が申し合わされていた 2014-2015 年度夏期来日生送迎費用について、各地区の負担金額の説明があった。台風による台湾来日生到着遅れのため、宿泊等予定外費用が発生したがこの費用も含め 4 地区で按分する案が示され按分経費負担について了承された。開催予定の臨時ガバナー協議会に諮り、承認後各キャビネット宛に請求することとなった。他複合地区受入の台湾来日生分の予定外費用については複合地区負担となった。
台湾来日生の日本国内移動については費用負担が大きいため、国内移動費をプール計算方式 (実際かかった移動費用を人数で按分し請求) にする等新たな方策をガバナー協議会で検討してはどうかとの意見があった。

- ② 台湾来日生到着遅れについて …………… (別紙 F-1,2)
別所委員長より資料が示され第 1 回複合地区 YCE 委員長連絡会議での報告があった。到着遅れが原因の宿泊費の件を含めこういったリスクについて、10 月開催の議長連絡会議で協議されることとなった旨説明があった。

(6) 2014-2015 年度夏期交換事業報告

① 準地区委員長からの報告 …………… (別紙 G)
各地区委員長より事前に提出された資料をもとに報告があった。

② 交換記録保管について

交換の記録を残すため、派遣生・来日生・ホストファミリーからの感想文、レポート、写真等をデータで複合事務局へ提出する。

(7) その他

① 年間予定について…………… (別紙 H)

② 台湾来日について

【台湾側希望】

日程：7月17日(日)～8月6日(土) 人数：35名

事務局が休日となり関係先への連絡が難しくなる点や空港、駅の混雑を考慮し、土日の出発、到着は避けたい(特に7/17は3連休中)との意見があった。

台湾側へ以下の来日日程を打診することとなった。

・2016年7月15日(金)～8月4日(木)

人数は35名で了承された。

③ その他

・ 冬期スキーキャンプについて

12/23(水)～25(金) いぶきの里スキー場(岡山県新見市)で開催する。336-B地区主催、全地区から参加予定。

・ オリエンテーションについて

近畿日本ツーリスト担当者派遣について、冬期派遣のある各地区で必要に応じて依頼されるよう案内があった。

(8) 次回会議について

2015年 12月 16日(水) 14:00 ～ 16:00

来年夏期派遣生 来月に帰集

(2015 - 2016)

第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録

2015 年 9 月 16 日(水)13:30-16:00 日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕

330 複合地区国際大会委員長	阿久津 隆文
331 複合地区国際大会委員長	松浦 則雄
332 複合地区ガバナー協議会事務局長	北川 英之(代理出席)
333 複合地区国際大会委員長	萩原 光義
334 複合地区国際大会委員長	中村 光宏
335 複合地区国際大会委員長	小林 登
336 複合地区国際大会委員長	福永 栄一
337 複合地区国際大会委員長	麻生 好彦

国際理事(LCI国際大会委員会副委員長) 西川 義規

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 近藤 正彦

第 99 回福岡国際大会ホスト委員会実行委員長 北島 建則
(オブザーバー)

議 事:

議事に先立ち、近藤議長連絡会議世話人からご挨拶があり、本年度LCI国際大会委員会副委員長となられた西川国際理事が出席され、福岡国際大会ホスト委員会から北島実行委員長がオブザーバー出席された。

I. 世話人、副世話人の互選

世話人に MD330 阿久津委員長、副世話人には MD331松浦委員長及び MD336 福永委員長を互選した。

II. 国際大会委員長連絡会議の任務及び実務について

本連絡会議の基本的な任務及び実務を次の通り確認した。

- (1) 任務: 国際大会、東洋東南フォーラムの意義を強調し、会員の積極的参加を促す
- (2) 実務: (国際大会) 代議員投票の促進と管理、大会参加手順の具体的指導、国際大会情報の収集、伝達
(フォーラム) フォーラム参加手順の具体的指導、フォーラム情報の収集、伝達
- (3) 「MD330-337 公認 TC(ツアーコーディネーター)規定」

III. 第 98 回ホノルル国際大会

(1) 大会報告書

報告書を確認した。日本からの大会参加数は 4,159 名、世界からの総参加登録数は 18,132 名と後日正式発表があり。

O S E A L

IV. 第 54 回東洋東南アジア・フォーラム(タイ・バンコク)【2015 年 12 月 3 日(木) - 6 日(日)】

第 2 回議長連絡会議にポンサク・ケドサワデヴオン フォーラム委員長が PR 来日出席され、協議した内容について近藤議長世話人から説明があり。

・既に 2 月に開催された第 1 回ステアリング委員会でフォーラム計画案は基本的に了承さ

れている。

・去る8月にバンコクで起きた爆弾テロがフォーラム本部ホテルのある複合施設の近くで発生したことについては、フォーラム期間はタイ国王の88歳の誕生日(12/3 祝日)を中心とした連休期間となり、街中の警備が非常に厳重になり、より一層の安心感を持って参加してもらえる。

・日本から多くのメンバーが参加されるよう、フォーラム委員会としてできる限りの努力をしますので、どのようにしたら皆さんが参加しやすいか意見や要望を伝えてほしい。

(1)最新日程 (別紙1)

フォーラム組織委員会発表の最新日程を確認した。

(2)フォーラム参加について

フォーラム組織委員長から、第2回議長連絡会議で、日本の目標登録数2,000名の希望があり、日本から山田国際会長を輩出し福岡での国際大会を控え、MD 毎の努力目標設定を望む意見が多く、過去データを参考に以下配分パーセンテージを確認し、次回議長連絡会議に諮る。

[フォーラム登録・努力目標数-計2,000名]

MD	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
%	22.5%	4.7%	6.2%	10.3%	16.5%	23.0%	7.0%	9.8%
人数	450名	94名	124名	206名	330名	460名	140名	196名

フォーラム事前登録について

- ・第2回議長連絡会議において、ポンサク・ケドサワデヴォン委員長から当初の早期登録締切8/31を9/15まで延長することが発表された。
- ・登録料の支払い方法は、銀行送金のみ対応とのことで、日本としては送金手数料の負担が大きい上に海外送金の諸手続きが煩雑なため、他の送金方法の見直しを要望したが、いまだ現地委員会からの返答はないとのことだった。
- ・早期登録期限(9/14)までとなっているが、現地ウェブサイトには変更がないため、再度早期登録の締切と登録料の据え置き(110米ドル)が可能であるかどうかを現地委員会へ要望する。

<現時点の登録要件>

- > 登録料： 110米ドル (9/15 から 120米ドル予定)
- > 申込み方法：
指定フォーム[推奨、(別紙2)]またはオンラインにて申し込む。
- > 支払い方法： 現地指定口座へ銀行振込み
 - ・手数料送金人負担につき、なるべくグループでまとめて送金することが望ましい。
 - ・送金写しは必ずフォーラム委員会あて送信する。(メール/ファックス可)。折り返し、登録を受け付けた旨の連絡が入る。
- > 注意事項： 現地登録も可能だが、フォーラムキットのフルセットが受け取れない場合があるので、事前に早期の登録を推奨する。

第54回フォーラム公式サイト: <http://www.oseal2015.org/>

会議後の最新情報

次の通り、現地フォーラム委員長と交渉の結果、変更となりました。

- ・早期登録(Early bird Registration)が10月15日(木)まで延長されました。この期日までに必ず早期登録及び送金を完了してください。
- ・送金方法は銀行振り込みのみ。

(3)福岡国際大会レセプション & ジャパン・ナイト

[12月4日(金)17:30-19:00、本部ホテル 23階 World Ballroom A-B-C]

- ・同一会場で2つのレセプションを続けて開催予定。

第99回国際大会(福岡)をPRするレセプションと、ジャパン・ナイト(国際理事候補者をオセアルメンバーに紹介するレセプション)

- ・次回までに設営詳細を担当者間(MD330と福岡ホスト委員会)で決定予定。

(4)本部ホテル(センターラ・グランド)の優先予約について(締切り9/10)

フォーラム委員会からの配慮により、ガバナー、第一副地区ガバナー向けに、150室の優先枠への予約案内があり、結果約30室の予約申し込みがあり、締切られた。

(5)国際会長晩餐会

[12月5日(土)19:00-22:00、本部ホテル Convention Center B1、事前申込制、登録料100米ドル]

例年通り、日本は当連絡会議を通じて8MD参加合計数を一括申込みする。山田国際会長による晩餐会であり、8MDの目標合計数を500名として、過去の参加数から以下の通り各MD目標登録数を配分、議長連絡会議に諮る。

[国際会長晩餐会登録目標合計数-500名]

MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
113	24	31	52	83	115	35	49

(名)

V. 第99回福岡国際大会【2016年6月24日(金)-28日(火) 福岡】

(1) 大会最新日程(別紙3)

LCI発表の大会最新日程を確認した。

(2) 国際大会委員長報告書について

各MD大会委員長情報を、LCI指定フォームにて、複合事務局から9/18までにLCI大会部指定アドレスあて届け出る。

(3) 太平洋アジア課からの文書について(別紙4)

今大会は、多くの点で、特別な国際大会となることが予想され、例年通りの大会登録及び宿泊予約を一緒に行う方式ではなく、地区単位で大会登録のみを行った後、宿泊予約は福岡国際大会ホスト委員会の宿泊センター(<http://lions99-fukuoka.jp/hotel.html>)へ2段階に分けて行う手順を確認した。LCI大会部から日本へのオフィシャルホテル割当については、秋の国際理事会後(10月上旬)以降に発表となる予定。

(4) ライオンズ団体大会登録の手順(別紙5)

例年 LCI 発行が発行する「ツアーコーディネーター手続き規約」に替わり、日本のみに適用す

る「ライオンズ団体大会登録の手順」が 9/15 付け太平洋アジア課から送信されている。
変更点については、大会登録は地区単位で取りまとめて行い、地区は「団体登録のま
め役」となる。

(5) **大会登録及びホテル予約申込書(個人大会登録・宿泊手配依頼書)** (別紙 6)

LCIウェブサイト掲載の指定用紙を確認した。

(6) **GEセミナー参加者の旅行手配に関して**

日本での開催のため、申請方法が例年と異なる。LCIから各地区DGE及び配偶者の旅
行経路と料金の調査が行われる見込み。

VI. 次回会議予定

➤ 第2回連絡会議[10月27日(火)14:00-17:00、日本ライオンズ連絡事務所にて]

検討事項:

1. 第54回オセアルフォーラム(タイ・バンコク)ジャパンナイト設営等
2. 第99回国際大会(福岡)関連

出席予定者: 8MD 国際大会委員長、西川国際理事

以上



2015年9月15日

ライオンズクラブ国際協会第99回福岡国際大会について

ライオンズクラブ国際協会
太平洋アジア課

福岡国際大会は、開催国日本から3万人を超える登録者が見込まれること、開催地出身の国際会長により主催される、米国以外では非常に稀な国際大会となること、また、ホノルル国際大会で可決された会則の変更により、国際第2副会長と国際第3副会長の選挙が同時に行われる大会となることなど、多くの点で、特別な国際大会となることが予想されます。

国際大会は国際協会本部により運営される行事ではありますが、その成功のためには福岡国際大会ホスト委員会のみならず、開催国日本のライオンズによるご協力が不可欠となりますので、なにとぞよろしくお願いたします。

特に、大会登録その他の事務が円滑に行われるため、以下のとおり国際本部大会部との間で確認いたしましたのでお知らせします。各地区においては、クラブへの周知方、よろしくお願いたします。また、各複合・地区において、旅行会社等が手続きを代行する場合にも、以下について十分周知徹底されますようによろしくご指導をお願いたします。

1. 国際大会登録について

国際大会に参加するには、登録が必要です。日本からの国際大会への登録は、原則としてすべて地区を単位とする団体登録扱いにします。その手続きの流れは以下の通りです。

- (1) 地区で、クラブからの大会参加者のとりまとめを行い、別添の「団体登録一覧表(エクセル)」に氏名、会員番号、クラブ名、クラブ番号を入力する。 A
- (2) 上記作成したリストを国際本部太平洋アジア課にメール添付で提出する。その際に、登録料を振り込んだことが確認できる控えを添付する。
- (3) 提出してから10営業日以内に、国際本部大会部から受領確認書が届くので確認する。
- (4) 1月上旬に、登録確認書が一括で地区に届くので確認する。
- (5) 登録のキャンセルや変更は、(1)で提出した登録一覧表に対して追加・訂正するかたちで提出してください。
- (6) 5月中旬に、各地区の大会参加者とりまとめ担当者あてに、大会名札の印字されたシートが一括送付されます。その際に、大会プログラム等の受け渡しの場所と時間を知らせる通知も届きます。(日本は各地区ごとにまとめて受け渡す場所と時間を、別途特別に設定します。)

2. 宿泊予約と晩さん会や昼食会チケット購入について

通常は、国際本部に大会登録する際に、宿泊手配とMJF 昼食会や晩さん会へのチケット購入の申し込みを行います。福岡大会に関しては、大会登録と宿泊手配等は 2 段階に分けて行うようにしてください。原則、大会登録を上記のとおり済ませてから、福岡国際大会ホスト委員会の宿泊センターを通じて宿泊予約を行います。(注: 国際大会登録されていない方の宿泊手配は本部でブロックしているホテルとの契約により 5/13 までには行えません。また、直接本部契約ホテルに連絡して予約することはできません。団体登録一覧表の宿泊の部分は空欄のまま提出してください。

各種チケットの購入等は、大会登録が完了してから別途申し込むことが可能ですので、各地区には、まず大会登録のみを取りまとめることをお勧めいたします。

3. 団体登録一覧表に記載しない役職について

国際協会の現職国際執行役員、現職国際理事、および元国際理事は、大会登録料の支払いが必要ありません。また、地区ガバナーエレクト(第一副地区ガバナー)については、エレクトセミナー参加者として別途とりまとめが行われます。したがって、以上に該当する役職にある会員については、別途国際協会からの通知に従い、各地区の団体登録一覧表には記載しないでください。

4. イベント会場(晩さん会、レセプション等)の申し込みについて

国際大会の開催期間中、国際協会との契約により、契約ホテルはイベント会場を無償提供しますが、その予約手配は特別な場合を除き、国際協会を通じて行います。直接ホテルに連絡しないようお願いいたします。

特に、本部ホテルとなる「ヒルトン・シーホーク」については、国際理事会方針により、プロトコル順に従い会場が割り当てられます。一般の旅行コーディネーターによる申し込みは、すべての執行役員への優先割り当てが終了してから行われますのでご注意ください。また、割り当てはすべて国際本部が行います。

福岡大会においては、山田国際会長に第 1 位の優先権があります。山田国際会長の申し込みとして会場割り当てを希望する場合には、遅くとも 9 月 28 日までに、山田国際会長補佐官を通じて国際大会まで使用許可申請が提出されるようにしてください。この日を過ぎますと、アメリカおよびインドの執行役員に希望を確認することとなりますのでご注意ください。

5. 問い合わせその他について

国際大会登録その他のお問い合わせは、上記団体登録等については、pacificasian@lionsclubs.org まで E メールでお送りくださいますようお願いいたします。オンライン等により直接大会部に登録された場合には、当課では状況がわかりませんので、registration@lionsclubs.org まで直接お問い合わせください。日本にのみ該当する日本語の書式や説明資料は、随時太平洋アジア課のウェブサイトを更新しますので、こちらをご確認ください。<https://sites.google.com/site/pacificasianja/conventions/Fukuoka>

第54回OSEALフォーラム(バンコク) 参加者名簿集計 2015/11/4 現在

No.	参加者名簿 提出	氏名	地区	R	Z	クラブ	役職	性別	336の タベ	国際会長 晩餐会	ジャパン ナイト	オフィシャル コース	登録代行
	110	128名							88	30	2	60	121
1		菅 武廣	336-A	1	2	松山湯築	元地区ガバナー	M	×	×	×	×	○
2		菅 鈴子	336-A	1	2	松山湯築	元地区ガバナー夫人	F	×	×	×	×	○
3	○	黒田 浩	336-A	1	3	松山白鷺		M	○			○	○
4	○	井出 幸彦	336-A	2	2	今治東		M	○			○	○
5	○	井出 範子	336-A	2	2	今治東		F	○			○	○
6	○	平賀 将則	336-A	4	2	高松西		M	○			○	○
7	○	北島 茂俊	336-A	4	2	高松西		M	○			○	○
8	○	北島 芳枝	336-A	4	2	高松西		F	○			○	○
9	○	武智 義典	336-A	4	2	高松西		M	○			○	○
10	○	入船 清次	336-A	4	2	高松西		M	○			○	○
11	○	松前 龍宗	336-A	4	4	高松玉藻	元協議会議長・FWTエリアリーダー	M	○	○		○	○
12	○	岡森 和子	336-A	4	4	高松玉藻		F	○	○		○	○
13	○	真鍋 隆	336-A	5	2	こんぴら	第一副地区ガバナー	M	○	○		○	○
14	○	橋本 充好	336-A	6	1	高知柏	地区ガバナー	M	○	○		○	○
15	○	橋本 節子	336-A	6	1	高知柏	地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
16	○	三谷 智省	336-A	6	1	高知柏	元地区ガバナー	M	○	○		○	○
17	○	下飯野 芳幸	336-A	6	1	高知東	キャビネット幹事	M	○	○			○
18	○	東 信喜	336-A	7	2	高知黒潮		M	×				○
19	○	山本 哲美	336-A	7	2	高知黒潮		M	×				○
20	○	坂東 伸政	336-A	7	2	高知黒潮		M	×				○
21	○	戸田 保徳	336-A	7	2	高知黒潮		M	×				○
22	○	大藪 芳文	336-A	7	2	高知黒潮		M	×				○
23	○	岸 岩男	336-A	7	2	高知中央		M	○				○
24	○	和田 信介	336-A	7	2	高知中央		M	○				○
25	○	東川 裕	336-A	7	3	南国		M	○			○	○
26	○	島内 自重	336-A	7	3	土佐香南		M	○			○	○
27	○	島内 淑子	336-A	7	3	土佐香南		F	○			○	○
28	○	浅野 照	336-A	7	3	土佐香南		F	○			○	○
29	○	川辺 信郎	336-A	8	2	徳島城山	第二副地区ガバナー	M	×			○	○
30	○	市村 通夫	336-A	9	3	鴨島		M	○	○		○	○
31		大谷 博	336-B	1	1	岡山	第一副地区ガバナー	M	○	○		○	○
32		尾崎 博	336-B	2	1	岡山西	地区ガバナー	M	○	○		○	○
33	○	尾崎 玲子	336-B	2	1	岡山ハーモニー	地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
34	○	有本 みどり	336-B	2	1	岡山ハーモニー		F	○			○	○
35	○	内田 正子	336-B	2	1	岡山ハーモニー		F	○			○	○
36	○	渡部 雅文	336-B	4	2	倉敷西	元協議会議長	M	○			○	○
37	○	渡部 恵子	336-B	4	2	倉敷西	元協議会議長夫人	F	○			○	○
38		藤南 和将	336-B	5	1	倉敷		M				×	×
39		松本 晃良	336-B	5	1	倉敷		M				×	×
40	○	井上 亮二	336-B	5	2	倉敷中央	元地区ガバナー	M	○	○		○	○
41	○	井上 勝子	336-B	5	2	倉敷中央	元地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
42	○	佐能 賢治	336-B	6	1	井原		M	×			○	○
43	○	佐能 信子	336-B	6	1	井原		F	×			○	○
44	○	太田 健一	336-B	6	2	総社雪舟	第二副地区ガバナー	M	○	○		○	○
45	○	太田 文江	336-B	6	2	総社雪舟	第二副地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
46	○	山本 彰	336-B	7	2	倉吉		M	×				○
47	○	河本 裕	336-B	7	2	倉吉		M	×				○
48	○	井手添 誠	336-B	7	2	倉吉		M	×				○
49	○	井手添 敬子	336-B	7	2	倉吉		F	×				○
50	○	加藤 康彦	336-B	7	2	倉吉		M	×				○

第54回OSEALフォーラム(バンコク) 参加者名簿集計 2015/11/4 現在

No.	参加者名簿 提出	氏名	地区	R	Z	クラブ	役職	性別	336の タブ	国際会長 晩餐会	ジャパン ナイト	オフィシャル コース	登録代行
	110	128名							88	30	2	60	121
51	○	東田 幸一	336-B	7	2	倉吉		M	×				○
52	○	羽合 江美	336-B	7	2	倉吉		F	×				○
53	○	山本 庄英	336-B	7	2	倉吉		M	×				○
54	○	倉光 公治	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
55	○	坂根 広章	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
56	○	畑 昭宏	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
57	○	藤原 宏行	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
58	○	三嶋 新二	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
59	○	南 章彦	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
60	○	横山 龍大	336-B	7	2	倉吉グレート		M	×				○
61	○	田中 康晴	336-B	8	2	米子グレートサウス		M	○				○
62	○	下嶋 三郎	336-B	8	2	米子グレートサウス		M	○				○
63	○	ソコンデー・オラビン	336-B	8	2	米子グレートサウス		F	○				○
64	○	徳永 修	336-C	2	1	尾道	キャビネット幹事	M	○	○		○	○
65	○	徳永 朱美香	336-C	2	1	尾道	キャビネット幹事夫人	F	○	○		○	○
66	○	片岡 文彰	336-C	2	1	尾道	地区ガバナー	M	○	○		○	○
67	○	片岡 房子	336-C	2	1	尾道	地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
68	○	河井 寛	336-C	2	1	尾道因島		M	○			○	○
69	○	葉名 範秀	336-C	2	1	尾道瑠璃		M	○			○	○
70	○	阿形 淳一	336-C	2	1	尾道瑠璃		M	○				○
71	○	阿形 貴子	336-C	2	1	尾道瑠璃		F	○				○
72	○	中平 裕之	336-C	2	1	尾道瑠璃		M	○				○
73	○	九十九 誠	336-C	2	1	尾道瑠璃		M	○				○
74	○	市河 剛	336-C	2	1	尾道せとうち		M	○			×	○
75	○	木川 寿也	336-C	3	1	呉グリーン		M	○				○
76	○	木川 玉恵	336-C	3	1	呉グリーン		F	○				○
77	○	木川 裕美	336-C	3	1	呉グリーン		F	○				○
78		安田 克樹	336-C	3	2	竹原	第一副地区ガバナー	M	○	○		○	○
79		楠木 ヘルミニア	336-C	3	2	竹原		F	○			○	○
80	○	寺越 慎一	336-C	4	1	広島平和	元協議会議長	M	○			○	○
81	○	坂本 政弘	336-C	4	1	広島平和		M	○			○	○
82	○	小只 正俊	336-C	4	1	広島双葉		M	○			○	○
83	○	今井 誠則	336-C	4	1	広島紅葉	第二副地区ガバナー	M	○	○		○	○
84	○	永田 富恵	336-C	4	1	広島紅葉		F	○	○		○	○
85	○	藤原 吉元	336-C	4	1	広島紅葉		M	○			○	○
86	○	福永 栄一	336-C	5	2	広島ニュー	元地区ガバナー	M	○	○		○	○
87	○	鶴岡 芳光	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				○
88	○	森山 勝利	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				○
89		森山 佐千子	336-C	5	2	広島ニュー		F	○				
90	○	有井 聡曜	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				○
91	○	大野 博之	336-C	5	2	広島ニュー		M	×				○
92	○	松岡 晃	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				○
93		津田 新八郎	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				
94		森脇 直樹	336-C	5	2	広島ニュー		M	○				
95	○	永島 隆哉	336-D	1	1	安来		M	×	×		×	○
96	○	中田 孝幸	336-D	1	1	安来十神		M	×	×			○
97	○	小藤 芳明	336-D	1	1	安来十神		M	×	×			○
98	○	坂根 勝	336-D	1	2	松江	元地区ガバナー	M	○	○		○	○
99	○	坂根 百合子	336-D	1	2	松江	元地区ガバナー夫人	F	○	○		○	○
100	○	矢野 敏明	336-D	1	2	松江葵	協議会議長・地区ガバナー	M	○	○		○	○

第54回OSEALフォーラム(バンコク) 参加者名簿集計 2015/11/4 現在

No.	参加者名簿提出	氏名	地区	R	Z	クラブ	役職	性別	336の タペ	国際会長 晩餐会	ジャパン ナイト	オフィシャル コース	登録代行
	110	128名							88	30	2	60	121
101	○	阿合 孝徳	336-D	1	2	松江葵		M	○	×		○	○
102	○	日野 修一	336-D	1	2	松江葵		M	○	×		○	○
103	○	大木 寿之	336-D	1	2	松江葵		M	○	×		○	○
104		児玉 啓介	336-D	2	1	出雲		M		×			○
105		板倉 靖夫	336-D	2	1	出雲		M		×			○
106		今岡 裕統	336-D	2	1	出雲		M		×			○
107	○	秋田 千鶴	336-D	3	2	浜田	第二副地区ガバナー	F	○	○		○	○
108		藤本 幸嗣	336-D	4	3	平生	第一副地区ガバナー	M	○	○		○	○
109	○	神田 義満	336-D	5	3	防府		M	○	×			○
110	○	渡邊 弘信	336-D	5	3	防府		M	○	×			○
111	○	笠原 高六郎	336-D	5	3	防府		M	○	×			○
112	○	藤原 由美子	336-D	5	3	防府		F	○	×			○
113	○	黒川 裕希	336-D	5	3	防府		M	○	×			○
114	○	中原 達夫	336-D	5	3	防府		M	○	×			○
115	○	寺田 一男	336-D	5	3	防府中央		M	○	×			○
116	○	水野 俊仁	336-D	5	3	防府中央		M	○	×			○
117	○	古川 篤雄	336-D	5	3	防府中央		M	×	×			○
118	○	米本 竜也	336-D	5	3	防府中央		M	×	×			○
119	○	中島 誠	336-D	5	3	防府中央		M	○	×			○
120	○	深田 慎司	336-D	5	3	防府中央		M	○	×			○
121	○	田中 昌子	336-D	6	2	小野田		F	○	×		○	○
122	○	姜 徳治	336-D	6	2	楠		M	×	×		×	○
123	○	大谷 昭治	336-D	6	2	楠		M	×	×		×	○
124	○	花田 眞吉	336-D	6	2	楠		M	×	×		×	○
125	○	平本 正亨	336-D	6	2	楠		M	×	×		×	○
126		谷野 徹	336-D	7	1	下関西	元国際理事	M	○	○	○	○	×
127		谷野 孝子	336-D	7	1	下関西	元国際理事夫人	F	○	○	○	○	×
128		岡村 聖爾	336-D	7	1	下関北		M	○			○	○

平成27年度 献血推進団体（ライオンズクラブ）との意見交換会 次第

1日目 (7月22日)		
13:30	開会あいさつ ・中四国ブロック血液センター 所長 土肥 博雄 ・ライオンズクラブ国際協会336複合地区ガバナー協議会議長 矢野 敏明 様	10分
13:40	「中四国ブロックにおける血液事業について」 【資料No. 1】 ・中四国ブロック血液センター 副所長兼総務部長 大川 正史	20分
14:00	「輸血用血液製剤の検査及び製造について」 ・中四国ブロック血液センター 品質部長 中橋 祥隆 ・中四国ブロック血液センター 製剤部長 中田 一正	30分
14:30	ライオンズクラブとの基本方針について 【資料No. 2】 中国四国地方におけるライオンズクラブの献血協力状況について ・中四国ブロック血液センター 企画課広報係長 玉置 洋介	15分
14:45	休憩	15分
15:00	事例発表 (A地区) 【資料No. 3-1】 ・高知桜ライオンズクラブ 西澤 窈子 様	15分
	事例発表 (B地区) 【資料No. 3-2】 ・岡山京山ライオンズクラブ 金礪 毅 様	15分
	事例発表 (C地区) 【資料No. 3-3】 ・広島フェニックスライオンズクラブ 津田 正昭 様	15分
	事例発表 (D地区) 【資料No.3-4】 ・下関東ライオンズクラブ 笹下 博志 様	15分
16:00	休憩	15分
16:15	施設見学会	45分
17:00	メルパルク広島へ移動 (バスにて送迎)	
18:30	情報交換会 ・開会あいさつ ・広島県赤十字血液センター 所長 山本 昌弘 ・乾杯 ・ライオンズクラブ国際協会336複合地区 環境保全・保健福祉委員長 坂根 勝 様 ・閉会あいさつ ・中四国ブロック血液センター 副所長兼総務部長 大川 正史	
2日目 (7月23日)		
9:30	「広域事業運営体制と献血推進について」 【資料No. 4】 ・中四国ブロック血液センター 事業部長 岡田 英俊	30分
10:00	休憩	10分
10:10	グループ別意見交換会 各センター報告 10分×3=30分 グループ別ディスカッション 20分×3=60分	90分
11:40	閉会あいさつ ・中四国ブロック血液センター 事業部長 岡田 英俊	10分
11:50	閉会	

献血推進団体(ライオンズクラブ)との意見交換会 参加者名簿

地区	役職	所属クラブ	氏名
MD	336複合地区 ガバナー協議会議長	松江葵	矢野 敏明 様
MD	336複合地区 環境保全・保健福祉委員長	松江	坂根 勝 様
A	環境保全・保健福祉・アラート委員長	高知桂	宇都宮 博史 様
A	キャビネット担当副幹事	高知桜	西澤 窈子 様
A	環境保全・保健福祉・アラート委員(3R)	宇和島	土居 通興 様
A	環境保全・保健福祉・アラート委員(5R)	三豊	石川 裕之 様
A	環境保全・保健福祉・アラート委員(8R)	徳島吉野川	大井 倫夫 様
B	環境保全委員長	岡山京山	金礪 毅 様
C	キャビネット担当副幹事	尾道因島	河井 實 様
C	5R1Z ZC	広島デルタ	高橋 淳 様
C	5R2Z ZC	広島鯉城	原田 俊則 様
C	薬物乱用防止・環境保全・保健福祉・献血委員長	広島フェニックス	津田 正昭 様
C	薬物乱用防止・環境保全・保健福祉・献血委員(1R)	福山北	徳毛 直文 様
D	保健福祉環境保全委員長	下関東	笹下 博志 様

血液センター職員 名簿

センター名	所 属 役 職	氏 名
鳥取センター	献 血 推 進 課 長	松 田 忠
鳥取センター	献 血 推 進 課 推 進 係 長	尾 崎 竜 太
島根センター	献 血 推 進 課 長	中 村 隆
島根センター	献 血 推 進 課 推 進 係 長	杉 原 淳 文
岡山センター	推 進 課 長 (兼) 献 血 課 長	村 上 文 一
岡山センター	推 進 課 推 進 一 係 長	廣 江 善 男
広島センター	献 血 推 進 副 部 長 (兼) 推 進 課 長 (兼) 献 血 課 長	戸 根 安 洋
広島センター	推 進 課 推 進 一 係 長	二 宮 崇
広島センター	推 進 課 推 進 二 係 長	泉 晴 子
広島センター	紙 屋 町 出 張 所 事 業 課 推 進 係 長	松 本 佳 子
広島センター	本 通 出 張 所 管 理 係 主 任	前 川 理 香
山口センター	献 血 課 長 (兼) 推 進 課 長	鹿 嶋 昭 文
山口センター	推 進 課 推 進 係 長	清 水 賢 一
徳島センター	献 血 推 進 課 長	富 田 寿 人
徳島センター	献 血 推 進 課 推 進 係 長	郡 順 子
香川センター	献 血 推 進 課 長 (兼) 丸 亀 町 出 張 所 長	徳 田 修 太 郎
香川センター	献 血 推 進 課 推 進 係 長	細 谷 淳
愛媛センター	事 業 副 部 長 (兼) 推 進 課 長	兵 頭 健 一
愛媛センター	推 進 課 主 事	秋 山 大 悟
高知センター	献 血 推 進 課 長	小 橋 信 之
高知センター	献 血 推 進 課 推 進 係 長	小 野 卓 二

事 務 局		
中四国 ブロックセンター	所 長	土 肥 博 雄
	副 所 長	大 川 正 史
	事 業 部 長	岡 田 英 俊
	品 質 部 長	中 橋 祥 隆
	製 剤 部 長	中 田 一 正
	企 画 課 長	重 田 達 身
	企 画 課 企 画 係 長	富 成 和 貴
	企 画 課 広 報 係 長	玉 置 洋 介
	企 画 課 主 事	近 藤 教 美
	企 画 課 主 事	春 川 沙 希
	企 画 課 主 事	磯 岡 裕 貴

2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第1回会議 報告書

日 時：2015年8月6日(木) 13:30～17:10

場 所：ライオン誌日本語版事務所

出席者：国際理事 西川 義規 (兵庫県・姫路白鷺ライオンズクラブ)

議長連絡会議世話人 近藤 正彦 (330複合地区/東京八王子陵東ライオンズクラブ)

15-16年度委員 久津間康允 (330複合地区/神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ)

15-16年度委員 中 嶋 辛 (331複合地区/北海道・室蘭北斗ライオンズクラブ)

15-16年度委員 佐藤 義則 (332複合地区/宮城県・蔵王ライオンズクラブ)

15-16年度委員 塚田 雅二 (333複合地区/千葉県・佐倉ライオンズクラブ)

15-16年度委員 石井 博之 (334複合地区/三重県・津中央ライオンズクラブ)

15-16年度委員 中村 房雄 (335複合地区/大阪府・泉大津ライオンズクラブ)

15-16年度委員 寺越 慎一 (336複合地区/広島平和ライオンズクラブ)

15-16年度委員 井村 一男 (337複合地区/長崎県・諫早ライオンズクラブ)

14-15年度委員 佐藤 義彦 (335複合地区/京都ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 小柴 登司 (沖縄県・浦添ウエストライオンズクラブ)

会計顧問 長谷部 繁 (東京武蔵野ライオンズクラブ)

法律顧問 坂入 高雄 (東京銀座ライオンズクラブ)



第1回会議開催に当たり、会議の招集者である近藤八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議世話人の開会あいさつがあり、続いて前年度佐藤編集長から出席者の紹介が行われた。その後西川国際理事からあいさつと公式版ライオン誌の編集者会議及びデジタル化についての現況を始めとした国際関係報告があり、前年度寺越委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. 2014-15年度ライオン誌日本語版事務所「決算報告(別紙)」

2. 2014-15年度ライオン誌日本語版事務所「監査報告」

2014-15年度決算について貸借対照表と収支計算書を基に担当職員が説明した。今期は国際協会補助金に対する為替レートが予算より円安に転じ約360万円多く入金され、これに伴う読者還元策として日本から34年ぶりの国際会長誕生に向けた増刊号を発行した。その結果、最終的には100,126円の収支差額が出たことが報告された。

続いて、長谷部繁公認会計士から各科目について詳細な監査報告があり、それらを検討の上、2014-15年度ライオン誌日本語版事務所決算を承認した。なお、8月7日13時から、2014-15年度の寺越委員長と佐藤編集長立ち会いの下、八複合地区監査委員による監査を受けることが報告された。

3. 2015-16年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出

委員長に333複合地区の塚田雅二委員、編集長に337複合地区の井村一男委員が選出された。

新年度人事の決定後、2015-16年度の塚田委員長、井村編集長の就任あいさつがあり、続いて新委員長、編集長の進行で議事を再開した。

4. 「ライオン誌日本語版委員会方針」の確認

1972年度の角川源義編集長が作成し、これまで継承してきた「方針」を今年度も改めて確認した。

5. 2015-16年度ライオン誌日本語版事務所予算(案)(別紙)

2014-15年度に100,126円の収支差額が生じたことにより、未処分収支差額金は32,953,260円となっていることが報告され、全額を2015-16年度繰越収支差額金とすることを決定した。

その後、前年度第12回会議での決定を基に作成した2015-16年度予算案が提出され検討した。前回会議では本誌購読の基準会員数を9万5千人、国際協会補助金の為替レートを1ドル121円として計算した予算を立てたが、為替レートは安全を見て120円に設定。また、支出項目の原稿料・編集費は一昨年度の決算額に近い900万円としていたが、レイアウトの外注を抑えることで、内製率を高めた昨年度並みの額に収めることとし、最終的に193万円の収支差額が出る予算に修正した上で、2015-16年度ライオン誌日本語版事務所予算を承認した。

なお、事務所移転に伴う新規什器・備品の購入や引っ越し等の経費については事務所移転関連費の科目を立て、財源としては事務改善等積立金を充てる。また、現状よりスペースが狭くなることから一部資料のデジタル化を進め、完了後は原本を処分することになっているが、その費用については資料整備費の科目を立て、財源としては資料整備準備金を充てる。

借室料が前年度決算とほとんど変わらないことについて質問があった。初年度は7～9月が現行賃料プラス8～9月の新事務所共益費、10月以降が新事務所の借室料となることから、前年度決算と大きな差が出ないことが説明された。これまで全体像の報告はあったが、ライオン誌日本語版委員会としての予算に関わるものなので、単体の数字を提示するよう意見があった。

6. 2015年8月号(7月21日見本/95,400部発行)出来

主要記事を紹介し、委員から意見を求めた。今月号は国際大会を始め新年度関連記事を集め、クラブ・レポート、獅子吼など通常の連載コラムは休載した。

7. 2015年9月号記事内容の確認

事前に配布された9月号校正と、当日配布された直近の取材記事(山田国際会長国際本部初登庁、ボーイスカウト世界ジャンボリー)校正を基に、記事の内容を検討した。特集「全日本ライオンズ若手フォーラム」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：石井博之委員」。

8. 2015年10月号以降台割(案)と主要記事予定

10月号、10月号増刊、及び11月号の台割案が提出された。

10月号は特集「ライオンズクラブ統計」、「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：井村一男編集長」。

10月号増刊は東日本大震災に対するLCIF交付金の特集号とし、「交付金事業例」、「支援を

受けた被災者の声」、「東日本大震災復興対策本部報告」、「東日本大震災LCIF交付金事業リスト」で構成する。

11月号は特集「山田實紘国際会長公式訪問」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：塚田雅二委員長」。

2015-16年度主要記事予定について、特に「国際理事だより」と「編集室」のローテーションを確認した。特集企画案は、2016年に開催される福岡国際大会、山田国際会長が主宰するブダペスト国際理事会、バンコク・フォーラムなどが上がり、その他の企画には次回会議で検討する新編集長計画案なども参考にして各委員がそれぞれ案を持ち寄り、今後の会議で決定する。

9. 事務所統合委員会

7月18日に開催され、寺越委員長、佐藤編集長、久津間委員、及び職権委員でもある西川国際理事が出席した合同検討委員会の内容について報告された。また、統合委員会への出席は前年度に引き続き久津間委員、佐藤委員、寺越委員の3人をお願いする。

- 事務組織の統合を見据え、連絡事務所の濱田智子所長を共同事務所の所長とする。その他の人事については今後更に検討する。
- 就業規則については、次回会議で社会保険労務士の提言を聞き、対応を検討する。
- 法律顧問に関して、ライオン誌では広告審査及び記事の内容などについて委員会で意見を聞く機会が多いことから、委員会としてはこれまで同様、会議への出席が必要だと判断していることを伝えた。
- 会計の統合に向けて具体的検討を始めている。

10. eMMR ServannA

eMMR ServannAの概要と経過、また国際本部のMyLCIとの関係などが、ITアドバイザーによって説明された。大前提として、ServannAは各地区が個別にシステム会社と契約を結んでいるシステムであり、それぞれカスタマイズを行っているため、ライオン誌のシステムを含め実質的に36のシステムが存在していること。eMMRは国際本部が開発したシステムで、本部の依頼により国内の報告システムであるServannAと、国際本部の報告システムであるMyLCIをつなぐためのプログラムであることを確認した。

国際本部ではeMMRのアップグレードを行わないことを明言し、国際本部への報告についてはMyLCIへの切り替えを希望していることもあり、今後、本部の出方を見ながら各地区と調整を図る必要が出てくることが想定される。

11. ライオン誌デジタル化

時間の関係で本議案の討議は出来なかったが、デジタル化への対応問題は、重要な案件であるので、今後は委員会ごとに議案に含めるものとする。

12. ライオン誌日本語版出版物

- 残部が少なくなっているライオンズスクール中級編とLCIF早分かりの改訂について検討した。中級編は現在、国際協会においてさまざまな変化があることから、時間をかけてそれらを整理し内容等を検討する。LCIF早分かりは、LCIFの組織再編など大きな動きがあったことから改訂作業を進め、発行時期は在庫状況を見ながら調整する。

13. その他

- ライオン誌サポーター・アンケートの内容を検討すると共に、新年度のサポーター制度

について検討した。基本的にはこれまで同様、各地区1人ずつサポーターを推薦して頂くよう地区ガバナーに要請する。また、各委員が責任を持ってサポーターを推薦すると共に、一般公募のサポーターも受け付ける。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

9月2日(水)	13:30~16:00	第2回会議	JOTOビル9階
10月1日(木)	13:30~16:00	第3回会議	会場未定

2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議 報告書

日 時：2015年9月2日(水) 13:30～16:00

場 所：ライオン誌日本語版事務所

出席者：国際理事 西川 義規 (兵庫県・姫路白鷺ライオンズ?)
国際理事 安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ?)
国際理事 佐藤 宜之 (大分ライオンズ?)
議長連絡会議世話人 近藤 正彦 (330複合地区/東京八王子陵東ライオンズ?)
委員長 塚田 雅二 (333複合地区/千葉県・佐倉ライオンズ?)
委員 久津間康允 (330複合地区/神奈川県・小田原白梅ライオンズ?)
委員 中 嶋 辛 (331複合地区/北海道・室蘭北斗ライオンズ?)
委員 佐藤 義則 (332複合地区/宮城県・蔵王ライオンズ?)
委員 石井 博之 (334複合地区/三重県・津中央ライオンズ?)
委員 中村 房雄 (335複合地区/大阪府・泉大津ライオンズ?)
委員 寺越 慎一 (336複合地区/広島平和ライオンズ?)
ITアドバイザー 莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ?)
ITアドバイザー 小柴 登司 (沖縄県・浦添ウェスト ライオンズ?) ※オンライン



塚田委員長の開会あいさつに続き、西川、安井、佐藤各国際理事のあいさつと報告、近藤世話人のあいさつがあり、その後、塚田委員長の進行で議事に入った。西川国際理事からは、10月にドイツで開催される公式版編集者会議の重要性が述べられると共に、各エリア・フォーラムを取材する際に併せて福岡国際大会のPRをお願いしたいとの話があった。

【議事】

1. 2014-15年度監査委員監査(8月7日実施)報告(別紙-監査委員監査報告書)

前年度委員長の寺越委員と前年度編集長の佐藤委員、前年度監査委員の中村委員から、8月7日に2014-15年度決算について八複合地区監査委員による監査を受け、問題なく承認されたことが報告された。

なお、中村委員から、なるべく早い時期の複合地区ガバナー協議会において報告出来るよう、監査日程を早めた方がいいのではないかとの意見があった。各複合地区のガバナー協議会開催日を事前に把握した上で、委員会での決算承認手続きも含め日程を調整する。

2. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2015年7月度の月次決算報告を基に、会計担当者から現況が説明された。7月には有料誌の年間購読料収入が集中して入金されることと、8月号は国際大会特集で外注を伴う連載が休載となり編集部で全ページの制作を行ったことなどから、2,923,494円の収支差額が出たことが報告された。なお、事務所統合の伴い会計顧問による月次レビューがなくなったため、今年度からは月次決算の監査委員への送付は委員会での承認後に行う。

- 国際協会からの上半期補助金34,369,803円の入金があったことが報告された。本部集計による家族会員を除いた会員数93,281人（前年度94,311人）、7・8月の平均為替レート123.5円、前年度会員数による加減調整額-1,545ドルで、為替レートが予算より3.5円高かったことにより、予算（34,200,000円）を若干上回る額となった。

3. 事務所統合委員会

近藤世話人から前日に行われた開所式の様子と、最終的な統合案をまとめる作業を行っていることなどの現状報告があった。

4. 2015-16年度ライオン誌日本語版編集長方針(別紙-編集長方針)

井村編集長から提出された2015-16年度の編集長方針案が説明され、検討の結果、これを承認した。同方針は本誌10月号「編集室」に掲載する。

5. 2015年9月号(8月20日見本/96,300部発行)出来

福岡国際大会のPRのため同大会ホスト委員会に提供している表4広告に関して、具体的な行事と日程を入れた方が参加者にとって利便性が高いのではとの意見があり、ホスト委員会に提案することにした。

6. 2015年10月号記事内容の確認

当日配布された10月号校正を基に、記事の内容を検討した。FWTからの要請により、10月21日に開催されるFWT全日本女性シンポジウムの告知のため、表2スペースを提供することを承認した。

7. 2015年11月号以降台割(案)と主要記事予定

11月号、11月号増刊、及び12月号の台割案が提出された。

11月号は特集「山田實絃国際会長公式訪問」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「ANZIパシフィック・フォーラム・リポート：塚田雅二委員長」、「編集室：塚田雅二委員長」。

11月号増刊は東日本大震災に対するLCIF交付金の特集号とし、「交付金事業例」、「支援を受けた被災者の声」、「東日本大震災復興対策本部報告」、「東日本大震災LCIF交付金事業リスト」で構成する。

12月号は特集「ブダペスト国際理事会」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「USAカナダ・フォーラム・リポート：中嶋辛委員」、「編集室：佐藤義則委員」。

2015-16年度主要記事予定について、各エリア・フォーラムの取材は、ヨーロッパ・フォーラムが1月号で佐藤委員、ISAAMEフォーラムが2月号で中村委員、FOLACフォーラムが3月号で寺越委員が担当する。佐藤国際理事から、各エリア・フォーラムにおける福岡国際大会PRへの協力要請があり、ホスト委員会から提供を受け英文のパンフレットとピンなどを持参し、配布することになった。

- ライオン誌サポーター・アンケートの内容を検討した。8月号への反響としては、山田国際会長誕生への感動と期待の声が多かった。一方、ライオン誌に望むこと・提言では、デジタル化に伴う印刷版廃止への懸念を表す意見が多く、ライオン誌の活用状況ではエディタースルールのクイズを例会で活用しているとの声が幾つか上がっていた

- 地区ガバナー推薦のサポーター一覧が配布されると共に、委員からサポーター推薦を受け付けた。

8. ライオン誌デジタル化

佐藤委員からライオン誌デジタル化への対応方法を検討するため、ライオン誌日本語版委

員会ITアドバイザーの協力を得て小委員会を作ることが提案され、承認された。第1回小委員会は10月1日午前中に開催し、午後に開催される第3回ライオン誌日本語版委員会でその意見を集約して、10月6、7日にドイツ・アウグスブルクで開催される公式版編集者会議に臨む。その後はウェブ会議を中心に年4回程度の小委員会開催を計画し、2017年12月までのデジタル化に対応していく。

9. その他

- 10月6～7日にドイツ・アウグスブルクで開催される公式版編集者会議の概要が提示された。会議には10月8日から同地で開催されるヨーロッパ・フォーラムの取材に合わせて佐藤委員が出席する。
- 前回会議で改訂作業を進めることが決まったLCIF早分かりについては、在庫状況を見ながら発行時期を調整する。一方、残部が少なくなっているライオンズスクール中級編の改訂については、時間をかけ委員会内で検討する。
- 耐用年数が過ぎ、印刷機能の故障が続いている複合機の新規購入について見積を基に検討した。基本的に購入の方向で進めるが、実機を見た上で他社との相見積も取って最終決定する。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

10月1日(木)	13:30～16:00	第3回会議	会場未定
11月6日(金)	13:30～16:00	第4回会議	日本ライオンズ事務所
12月9日(水)	15:00～17:30	第5回会議	日本ライオンズ事務所

2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 報告書

日 時：2015年10月1日(木) 13:30～15:30

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：委員長	塚田 雅二 (333複合地区／千葉県・佐倉ライオンズクラブ)
委員	久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ)
委員	中 嶋 辛 (331複合地区／北海道・室蘭北斗ライオンズクラブ)
委員	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズクラブ)
委員	石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズクラブ)
委員	中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズクラブ)
委員	寺越 慎一 (336複合地区／広島平和ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	小柴 登司 (沖縄県・浦添ウエストライオンズクラブ)



塚田委員長の開会あいさつの後、委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2015年8月度の月次決算報告を基に、会計担当者から現況が説明された。8月は事務所移転のための経費約103万円と同じく移転に伴う資料の電子化費用約120万円の支出があり、月次では約223万円、累計では694,375円の収支不足が生じていることが報告された。

2. 事務所統合委員会

日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所の同居により、物理的な統合はひとまず完了し、現在、経理面や事務規定などの統合に向けて細部にわたって検討していることなど、現在の進捗状況が報告された。

3. 2015年10月号(9月18日見本／96,600部発行)出来

福岡国際大会のPRのため同大会ホスト委員会に提供している表4広告に関して、前回会議で具体的な行事と日程を入れた方が参加者にとって利便性が高いのではとの意見があり、ホスト委員会に提案したところ、早急に対応頂き、この号から日程が含まれた広告になっている。特集は「ライオンズクラブ統計」だった。

4. 2015年11月号記事内容の確認

当日配布された11月号本誌と増刊の校正を基に、記事の内容を検討した。本誌特集は「山田實紘国際会長公式訪問」で、西日本公式訪問での会長セミナーと公式訪問スピーチ、東日本公式訪問におけるクラブ会長とのミーティングと公式訪問スピーチの四つのスピーチを基に構成した。エリア・フォーラム・リポートは、ANZI-パシフィック・フォーラムを取材した塚田委員長の担当で、委員長からフォーラムの様子が紹介された。また、9月10日に発生した関東・東北豪雨水害に関する333-E地区を中心とした支援活動取材し、記事を差し替えて

掲載した。増刊は「交付金事業」「被災者の声」「復興支援対策本部報告」の3部構成となっている。

5. 2015年12月号以降台割(案)と主要記事予定

12月号移行の台割案が提出された。

12月号は特集「ブダペスト国際理事会」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「USAカナダ・フォーラム・レポート：中嶋辛委員」、「編集室：佐藤義則委員」。特集は、山田国際会長主宰の理事会として会長の動向を紹介するに止まらず、理事会全体の流れも含めて紹介する。エリア・フォーラム・レポートはUSAカナダ・フォーラムで、取材を担当した中嶋委員からフォーラムの様子が報告された。

1月号は特集「福岡国際大会」、「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「ヨーロッパ・フォーラム・レポート：佐藤義則委員」、「編集室：中嶋辛委員」。特集は、10月に行われる国際協会の視察後にホスト委員会の中心メンバーによる座談会を企画する。

2月号は特集「バンコク・フォーラム」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。「ISAAMEフォーラム・レポート」は先月の委員会で中村委員が担当することを決めたが、中村委員のご都合が悪くなったため他の委員が代わりに取材することとし、フォーラム日程と航空機の運航スケジュールを確認の上、調整を図る。

2015-16年度主要記事予定について、特集企画は2月号まで決まっているが、3月号以降については、各委員が企画案を持ち寄り、今後の委員会で決定する。

- ライオン誌サポーター・アンケートの内容を検討した。今回はライオン誌の閲読状況を聞いたところ、サポーターの50%は「ほぼ全ての記事に目を通す」と回答、「興味のある記事を選んで目を通す」が40%だった。その一方、ライオン誌例会については、「開催したことがある」との回答は20%、「ない」が70%だった。これに対し寺越委員から、所属クラブでは、これまでの個人発送からクラブ一括発送に切り替え、例会で配布するようにしたところ閲読率が上がり、ライオン誌への関心が高まったことが紹介され、例会でのライオン誌の配布や活用をPRしていくことも必要との意見が出された。また、佐藤委員からは、9月号で良かった、参考になった記事として、80%の人がクラブ・レポートを選択していたことを取り上げ、公式版編集者会議でも各国の活動紹介が非常に重要であることを強調してきたいと話された。

6. ライオン誌デジタル化

佐藤委員からライオン誌デジタル化への対応方法を検討するため、ライオン誌日本語版委員会ITアドバイザーの協力を得て、第1回の小委員会を開催したことが報告された。補助金の額やホノルル国際理事会で決まった印刷版4回発行の内容、電子版自体の在り方等、不透明な部分が多いため、まずは現在の印刷版をベースとした電子版作成を念頭に、今後の展開を検討していくことになった。

また、1958年の創刊以来のバックナンバー全ページをJPEG画像で保存しているが、これをPDF化すると共に、電子版として公開することも視野に入れ、見積等を取って具体的な検討に入ることになった。

7. その他

- 8月まで入居していた築地細田ビルの原状回復に関して、前任の法律顧問である坂入高雄弁護士を通じてビルの管理会社と交渉をした結果、原状回復は不要となった。これに

伴い、坂入弁護士に支払う成功報酬を決定した。

- 残部が少なくなっているライオンズスクール中級編の改訂は、もう少し時間をかけ委員会内で検討することとする。これに関連して、中級編の執筆者の一人、高橋義太郎元議長（元編集長）から、332-D地区で製作した新会員向けのDVDをライオン誌で配布してはどうかとの提案があったことが佐藤委員から紹介され、同地区からDVDを取り寄せ、各委員で内容を確認した上で可否を検討することになった。LCIF早分かりについては、栢森新治LCIF理事を始めLCIF開発チームの協力を得ながら改訂作業を進める。
- 広告代理店を通じて同梱広告出稿の可能性について打診があった企業について、委員会で審査し、出稿があった場合、これを受けることを承認した。実際に出稿が決まった場合は、文言等に関して、現在統合委員会では人選が進んでいる新たな顧問弁護士に審査を依頼する。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

11月6日(金)	13:30~16:00	第4回会議	日本ライオンズ事務所
12月9日(水)	15:00~17:30	第5回会議	日本ライオンズ事務所
1月12日(水)	13:30~16:00	第6回会議	日本ライオンズ事務所

2014-15年度ライオン誌日本語版事務所 監査委員監査 報告書

日 時：2015年8月7日(金)13:00～14:00

場 所：ライオン誌日本語版事務所

出席者：監査委員	阿部 英明 (330複合地区／神奈川県・大和ライオンズクラブ)
監査委員	古谷野 環 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)
監査委員	大竹 伸一 (333複合地区／茨城県・水戸葵ライオンズクラブ)
監査委員	中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズクラブ)
監査委員	坂 根 勝 (336複合地区／島根県・松江ライオンズクラブ)
14-15年度委員長	寺越 慎一 (336複合地区／広島平和ライオンズクラブ)
14-15年度編集長	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズクラブ)
会計顧問	長谷部 繁 (東京武蔵野ライオンズクラブ)
欠席者：監査委員	佐々木賢治 (332複合地区／岩手県・東山ライオンズクラブ)
監査委員	大村 行範 (334複合地区／静岡県・富士タカオカライオンズクラブ)
監査委員	浅野 貞三 (337複合地区／福岡県・中間ライオンズクラブ)



寺越慎一2014-15年度ライオン誌日本語版委員会委員長の開会あいさつに続き、議事に入った。

1. 2014-15年度ライオン誌日本語版事務所決算報告

2014-15年度決算について貸借対照表と収支計算書を基に担当職員が説明した。今期は国際協会補助金に対する為替レートが予算より円安に転じ約360万円多く入金され、これに伴う読者還元策として日本から34年ぶりの国際会長誕生に向けた増刊号を発行した。その結果、最終的には100,126円の収支差額が出たことが報告された。

2. 2014-15年度ライオン誌日本語版事務所監査実施報告

長谷部繁公認会計士から、ライオン誌日本語版委員会の要請により実施したライオン誌日本語版事務所の2014-15年度監査の内容説明と監査意見が示され、会計担当者から報告のあった会計報告書が、ライオン誌日本語版事務所の2015年6月30日現在の財政状態、及び同日をもって終了する2014-15年度の収支状況を適正に表示していることを認める旨報告された。

3. 質疑応答

●国際協会補助金について

国際協会補助金について入金時期と為替レートについて質問があった。

国際協会補助金は、上半期が年次決算の書類提出後の8月下旬に7月8月の平均ライオンズ・レートで入金され、下半期は半期決算の書類提出後の2月下旬に1月2月の平均ライオンズ・レートで入金されることが説明された。

●ライオン誌発送の送料について

ライオン誌の発送に関して、発送事務費は計上されているが、送料等の収支が記

載されていないことについて質問があった。

送料は個人発送、クラブ一括発送とも全て実費請求をしており、クラブから入金されたものは預かり金として処理し、実発送数を累計した上で次回請求時に加減調整を行っていることが説明された。

●その他

- ・毎月、公認会計士のレビューを経た月次決算書と委員会報告書が送付されてくるので、内容が把握しやすい。
- ・請求月と会計年度が一致したことで、シンプルで分かりやすい形になった。
- ・デジタル版への移行について、移行スケジュール等について質問があった。10月に編集者会議が行われ、そこで国際協会PR部及び公式版編集者と意見交換を行うと共に、ある程度詳しい情報が得られる見込みであることが説明された。

4. 会計監査の承認

事前にお送りした資料をもとに、1～3の手順（会計担当者からの決算報告、外部監査を実施して頂いた長谷部公認会計士からの監査報告、不明な点についての質疑応答）を経て、監査を実施して頂いた結果、ご出席の各監査委員からライオン誌日本語版事務所の2014.15年度会計報告書は適正であるのご承認を頂いた。

なお、都合により当日の監査を欠席された332複合地区、334複合地区、337複合地区の各監査委員からは後日、監査を承認する旨の通知と共に、決算書に判を頂いた。

日本ライオンズ連絡事務所一般会計報告書

2014－2015年度

2015年8月27日会計監査

日本ライオンズ連絡事務所会計報告書

2014年7月1日～2015年6月30日の財政状況を下記のとおりご報告します。


2015年8月27日

2014-2015年度議長連絡会議


世話人 (MD353議長)

城取勝喜 

副世話人 (MD330議長)

金子正之 

副世話人 (MD334議長)


丸山正芳 

下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。


2015年8月27日

2014-2015年度日本ライオンズ連絡事務所会計監査委員

330複合地区会計監査委員

池田正 


331複合地区会計監査委員

高橋和雄 

332複合地区会計監査委員

小林元雄 


333複合地区会計監査委員

関口延木 


334複合地区会計監査委員

大村行範 

335複合地区会計監査委員

中村房雄 

336複合地区会計監査委員

坂根勝 

337複合地区会計監査委員

浅野貞之 

I 貸借対照表

日本ライオンズ連絡事務所一般会計

2015年6月30日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	76,010	94,125	△ 18,115
銀行預金	58,750,308	60,039,265	△ 1,288,957
未収入金	15,000	0	15,000
前払金	215,534	215,175	359
仮払金	263,000	0	263,000
頒布品	163,750	9,075	154,675
流動資産合計	59,483,602	60,357,640	△ 874,038
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
銀行預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
敷金	17,251,812	11,263,392	5,988,420
什器備品	5,077,252	5,077,252	0
什器備品減価償却累計額	△ 4,403,648	△ 4,228,723	△ 174,925
その他固定資産合計	17,925,416	12,111,921	5,813,495
固定資産合計	67,925,416	62,111,921	5,813,495
資産合計	127,409,018	122,469,561	4,939,457
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	62,500	60,900	1,600
未払消費税	478,700	348,500	130,200
未払金	0	0	0
流動負債合計	541,200	409,400	131,800
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	541,200	409,400	131,800
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	50,000,000	50,000,000	0
2. 一般正味財産	76,867,818	72,060,161	4,807,657
正味財産合計	126,867,818	122,060,161	4,807,657
負債及び正味財産合計	127,409,018	122,469,561	4,939,457

Ⅱ 正味財産増減計算書
 日本ライオンズ連絡事務所一般会計
 2014年7月1日～2015年6月30日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費 (注)	34,270,200	35,574,660	△ 1,304,460
② 受取利息	2,478	2,541	△ 63
③ 基本財産運用益	9,961	9,961	0
④ 雑収益	1,200,000	2,200,000	△ 1,000,000
⑤ 各種会議旅費分担金収益	8,329,024	6,985,376	1,343,648
⑥ 事業収益	20,349,080	18,600,890	1,748,190
経常収益合計	64,160,743	63,373,428	787,315
(2) 経常費用			
① 事業費			
議長連絡会議費	185,270	163,542	21,728
委員長連絡会議費	47,351	43,703	3,648
議長連絡会議旅費	4,039,090	3,462,380	576,710
委員長連絡会議旅費	4,289,946	3,523,010	766,936
頒布品製作費・送料	13,818,306	13,382,847	435,459
② 管理費			
会計監査旅費	362,700	502,803	△ 140,103
国際大会・アジアフォーラム関係費	700,026	1,033,725	△ 333,699
人件費	16,660,000	16,660,000	0
福利厚生費	3,815,560	3,619,023	196,537
印刷費	1,076,432	1,059,199	17,233
通信費	1,237,505	1,268,831	△ 31,326
旅費交通費	768,484	760,063	8,421
地代家賃	8,313,168	8,159,216	153,952
水道光熱費	639,538	640,037	△ 499
リース・レンタル料	912,220	895,707	16,513
事務用品費	389,004	97,493	291,511
図書費	67,112	66,873	239
顧問料	907,200	888,300	18,900
支払手数料	104,031	110,156	△ 6,125
雑費	366,518	374,370	△ 7,852
租税公課	478,700	348,700	130,000
什器備品減価償却額	174,925	471,061	△ 296,136
経常費用合計	59,353,086	57,531,039	2,118,183
当期経常増減額	4,807,657	5,842,389	△ 1,330,868
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,807,657	5,842,389	△ 1,034,732
一般正味財産期首残高	72,060,161	66,217,772	5,842,389
一般正味財産期末残高	76,867,818	72,060,161	4,807,657
II 指定正味財産増減の部			
基本財産増加額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	126,867,818	122,060,161	4,807,657

注：複合地区会則に定める日本ライオンズ連絡事務所費は会員一人当たり月30円。

2014-15年度家族登録の二人目以降の(子)会員は免除。

上期：家族二人目以降の(子)会員合計19,133人 半期180円 免除合計額3,443,940円

下期：家族二人目以降の(子)会員合計24,320人 半期180円 免除合計額4,377,600円 年度合計7,821,540円

Ⅲ 収支計算書
 日本ライオンズ連絡事務所一般会計
 2014年7月1日～2015年6月30日

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	執行割合 (%)	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
会費収入	35,100,000	34,270,200	829,800	97.64	注3
受取利息収入	2,000	2,478	△ 478	123.90	
基本財産利息収入	10,000	9,961	39	99.61	
雑収入	0	1,200,000	△ 1,200,000	-	LCIF家賃補助
各種会議旅費分担金収入	7,800,000	8,329,024	△ 529,024	106.78	注1
頒布品売り上げ収入	17,270,000	20,349,080	△ 3,079,080	117.83	
事業活動収入計	60,182,000	64,160,743	△ 3,978,743	106.61	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
議長連絡会議費	200,000	185,270	14,730	92.64	
委員長連絡会議費	200,000	47,351	152,649	23.68	
議長連絡会議旅費	4,000,000	4,039,090	△ 39,090	100.98	注1
委員長連絡会議旅費	3,800,000	4,289,946	△ 489,946	112.89	注1
頒布品製作費・送料	13,700,000	13,818,306	△ 118,306	100.86	
②管理費支出					
会計監査旅費	520,000	362,700	157,300	69.75	
国際大会・アジアフォーラム関係費	1,100,000	700,026	399,974	63.64	
人件費	17,000,000	16,660,000	340,000	98.00	
福利厚生費	3,840,000	3,815,560	24,440	99.36	
印刷費	1,200,000	1,076,432	123,568	89.70	
通信費	1,400,000	1,237,505	162,495	88.39	
旅費交通費	780,000	768,484	11,516	98.52	
地代家賃	8,313,168	8,313,168	0	100.00	
水道光熱費	700,000	639,538	60,462	91.36	
リース・レンタル料	1,000,000	912,220	87,780	91.22	
事務用品費	400,000	389,004	10,996	97.25	
図書費	80,000	67,112	12,888	83.89	
顧問料	907,200	907,200	0	100.00	
支払手数料	120,000	104,031	15,969	86.69	
雑費	420,000	366,518	53,482	87.27	
租税公課	300,000	478,700	△ 178,700	159.57	
事業活動支出計	59,980,368	59,178,161	802,207	98.66	
事業活動収支差額	201,632	4,982,582	△ 4,780,950		
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0		
2. 投資活動支出					
敷金支出	0	5,988,420	△ 5,988,420		JOTOビル敷金折半
投資活動支出計	0	5,988,420	△ 5,988,420		
投資活動収支差額	0	△ 5,988,420	5,988,420		
III 予備費支出					
当期収支差額	201,632	△ 1,005,838	1,207,470		
前期繰越収支差額	59,948,240	59,948,240	0		
次期繰越収支差額	60,149,872	58,942,402	1,207,470		注2

注：1. 複合地区連絡会議規定第6条により、各種連絡会議の出席者旅費は各複合地区が均等に負担されています。
 各複合地区が負担された旅費は「各種会議旅費分担金収入」に計上しています。
 会計監査委員の旅費は、連絡事務所会費収入から直接支出してします。
 2. 流動資産59,483,602-流動負債541,200=(累計)次期繰越収支差額58,942,402
 3. 複合地区会則に定める日本ライオンズ連絡事務所費は会員一人当たり月30円。
 2014-15年度家族登録の二人目以降の(子)会員は免除。
 上期：家族二人目以降の(子)会員合計19,133人 半期180円 免除合計額3,443,940円
 下期：家族二人目以降の(子)会員合計24,320人 半期180円 免除合計額4,377,600円 年度合計7,821,540円

IV 財産目録
 日本ライオンズ連絡事務所一般会計
 2015年6月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金手許有高	76,010		
(2) 銀行預金			
みずほ銀行 丸の内中央支店			
普通預金(無利息型)	1,213,315		
三菱東京UFJ銀行 新丸の内支店			
普通預金(決済専用型)	43,525,834		
普通預金(一般利息型)	4,011,159	47,536,993	
三菱東京UFJ銀行 新丸の内支店			
定期預金No.4762285	10,000,000		
(3) 未収入金(役員必携代金)	15,000		
(4) 前払金(労働保険料)	215,534		
(5) 仮払金			
銀座プロッサム会場費	63,000		
国際大会出張旅費前渡	200,000	263,000	
(6) 頒布品			
ライオンズ必携第54版(@125×1,310部)	163,750		
流動資産合計		59,483,602	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
三菱東京UFJ銀行 新丸の内支店			
定期預金No.4760649	50,000,000		
(2) その他固定資産			
日章興産株式会社 敷金	11,263,392		
三菱地所リアルエステートサービス(株)敷金	11,976,840		
ライオン誌日本語版委員会(敷金折半)	△ 5,988,420		
什器備品(家具・収納システム)	5,077,252		
什器備品減価償却累計額	△ 4,403,648		
その他固定資産合計	17,925,416		
固定資産合計		67,925,416	
資産合計			127,409,018
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金(住民税)	62,500		
未払消費税	478,700		
流動負債合計		541,200	
2. 固定負債			
負債の部合計		0	
正味財産			541,200
			126,867,818

日本ライオンズ連絡事務所特別会計
東日本大震災義捐金口座会計報告書
2011年3月11日～2015年6月30日

2015年8月27日会計監査


日本ライオンズ東日本大震災義捐金口座会計報告書


2011年3月11日～2015年6月30日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2015年8月27日

2014-2015年度議長連絡会議

世話人 (MD335議長) 城塚 勝彦 

副世話人 (MD330議長) 金子 正之 


副世話人 (MD334議長) 久保 正之 

下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。


2015年8月27日

2014-2015年度日本ライオンズ連絡事務所会計監査委員

330複合地区会計監査委員

近藤 三寿 


331複合地区会計監査委員

高橋 和彦 


332複合地区会計監査委員

小林 元雄 


333複合地区会計監査委員

関口 延樹 


334複合地区会計監査委員

大村 行雄 



335複合地区会計監査委員

中村 房雄 

336複合地区会計監査委員

坂根 朋 

337複合地区会計監査委員

浅野 貞三 


【累計報告】

日本ライオンズ東日本大震災義捐金口座 特別会計

(1) 貸借対照表

2015年6月30日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	0	<流動負債計>	0
普通預金/三菱東京UFJ銀行・中野駅前支店 No. 552-0113156 2015年6月26日口座解約	0	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残高	0
合計	0	合計	0

(2) 収支計算書

自 2011年3月11日

至 2015年6月30日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	1,720,222,025	<収入計>	1,720,222,025
332複合地区支援金	1,500,793,186	LCIF	
一時金 147,000,000		大災害援助交付金 US\$1,000,000	82,000,000
ライフジャケット 2,219,954		特別財政支援プログラム US\$1,000,000	82,000,000
332-A地区支援 3,000,000		クラブ復興支援 US\$500,000	41,000,000
332-B地区支援 255,998,924		日本指定献金振替 (US\$18,510,145)	(1,495,786,887)
332-C地区支援 344,056,511		2011年3月～6月 US\$3,170,000	259,940,000
332-D地区支援 234,434,910		2011年7月～12月 US\$4,961,967	386,033,426
清算返戻金 Δ 6,718,848		2012年1月～6月 US\$5,188,859	418,297,579
979,991,451		2012年7月～12月 US\$4,214,327	334,066,745
日本病院会関係		2013年1月～6月 US\$500,000	49,000,000
332-B地区内 188,598,684		2013年7月～12月 -	-
332-C地区内 67,620,473		2014年1月～6月 -	-
332-D地区内 266,085,000		2014年7月～12月 US\$474,991.54	48,449,137
清算返戻金 Δ 1,502,422		US\$18,510,145	1,495,786,887
520,801,735		韓国指定献金振替 US\$154,943	12,705,326
333複合地区支援金	37,759,749	ボシュロム指定寄付 US\$165,709.73	19,885,168
一時金 43,000,000		LCIF經由指定寄付 US\$293,429.00	29,008,999
清算返戻金 Δ 5,240,251		LCIF經由指定寄付振替 (US\$478,187.00)	Δ 46,854,350
災害支援会議費用	4,218,710	LCIF交付金額 (USドル) US\$21,146,039	
役員旅費 4,129,260		LCIF交付金入金額 (円貨) ¥1,715,532,030	
視察バス・タクシー代 89,450		弁済金	4,630,000
サポートチーム関係	155,489,782	受取利息	59,995
緊急支援物資費用 155,494,192			
清算返戻金 Δ 4,410			
補助金	3,858,200		
337-A地区若葉高校ダンス部 1,000,000			
336-C地区チームひろしま 1,358,200			
337-D地区給食の心を東北へ 1,500,000			
ボシュロム関係 (啓発パンフレット)	17,876,213		
支払手数料	226,185		
振込手数料 137,283			
取引手数料 88,902			
残高	0		
合計	1,720,222,025	合計	1,720,222,025

【累計報告】

LCIFから義捐金口座を通じて指定の支援先へ送金：

指定寄付送金先	送金額	LCIF指定寄付	USドル	入金日本円額
332-B地区口座（岩手県）	2,460,000	ニューヨーク岩手県人会	US\$30,000	2,460,000
332-D地区口座（福島県）	1,230,000	ニューヨーク福島県人会	US\$15,000	1,230,000
日本看護協会	984,000	ニューヨーク看護協会	US\$12,000	984,000
332-C地区口座（ダラス）	8,100,000	ダラス-フォートワース日米協会	US\$100,000	8,100,000
332-C地区口座（ダラス）	8,084,000	ダラス-フォートワース日米協会	US\$86,000	8,084,000
332-B地区口座（334-C地区）	500,000	334-C地区指定寄付	US\$17,647	1,500,000
332-C地区口座（334-C50万+330-A30万）	800,000	330-A地区指定寄付	US\$3,061	300,000
332-D地区口座（334-C地区）	500,000			
332複合地区支援金口座	351,350	330-A地区指定寄付	US\$3,444	351,350
332複合地区支援金口座	500,000	東京田無LC指定寄付	US\$4,901	500,000
332複合地区支援金口座	1,500,000	330-B地区指定寄付	US\$14,705	1,500,000
332-C地区口座（テキサス）	5,610,000	テキサス個人指定寄付	US\$55,000	5,610,000
332-B地区口座（330-A地区）	3,500,000	330-A地区指定寄付	US\$29,412	3,500,000
332-B地区口座（330-A地区）	5,000,000	330-A地区指定寄付	US\$42,017	5,000,000
332-C地区口座（テキサス）	7,735,000	テキサス個人指定寄付	US\$65,000	7,735,000
合計	¥46,854,350	合計	US\$478,187	¥46,854,350

2014-2015年度
日本ライオンズ東日本大震災義捐金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2015年6月30日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	0	<流動負債計>	0
普通預金/三菱東京UFJ銀行・中野駅前支店 No. 552-0113156 2015年6月26日口座解約	0	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残高	0
合計	0	合計	0

(2) 収支計算書

自 2014年7月1日
至 2015年6月30日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	103,697,386	<収入計>	103,697,386
332複合地区支援金	102,905,474	LCIF	
ライフジャケット	2,219,954	2014/8/5 日本指定献金振替	US\$419,991.54 42,839,137
332-A地区支援	-	2015/2/3 日本指定献金振替	US\$165,709.73 19,885,168
332-B地区支援	22,089,356	2015/3/31 330-A地区振替	(US\$29,411.76) Δ 3,500,000
332-C地区支援	42,108,004	2015/4/28 330-A、テキサス指定	US\$94,411.76 11,234,999
332-D地区支援	5,218,000	2015/5/15 テキサス振替	(US\$65,000.00) Δ 7,735,000
清算返戻金	-	2015/5/15 330-A地区振替	(US\$42,016.81) Δ 5,000,000
	71,635,314	2015/5/19 330-A地区指定	US\$42,016.81 5,000,000
日本病院会関係		LCIF交付金額(USドル)	US\$585,701.27
332-B地区内	12,683,360	ライオンズレートによる入金額	¥62,724,304
332-C地区内	8,596,800		
332-D地区内	9,990,000	受取利息	8,507
清算返戻金	-	前期繰越額	40,964,575
	31,270,160		
災害支援会議費用	736,940		
役員旅費	736,940		
支払手数料	54,972		
振込手数料	33,156		
取引手数料	21,816		
残高	0		
合計	103,697,386	合計	103,697,386

LCIFから義捐金口座を通じて指定の支援先へ送金：

指定寄付送金先	送金額	LCIF指定寄付	USドル	入金日本円額
332-C地区口座(テキサス)	5,610,000	テキサス個人指定寄付	US\$55,000	5,610,000
332-B地区口座(330-A地区)	3,500,000	330-A地区指定寄付	US\$29,412	3,500,000
332-B地区口座(330-A地区)	5,000,000	330-A地区指定寄付	US\$42,017	5,000,000
332-C地区口座(テキサス)	7,735,000	テキサス個人指定寄付	US\$65,000	7,735,000
合計	¥21,845,000	合計	US\$191,429	¥21,845,000

三菱東京UFJ銀行552-0113156東日本大震災義捐金口座記録

日付	地区名	クラブ名	入金額(円)	摘要	出金額(円)	通帳残高(円)
6月28日	BK	インターネット取引手数料			1,728	41,907,455
7月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	41,905,727
8月5日	LCIF	US\$419,991.54	42,839,137	LCIF義捐金振替 \$1=¥102		84,744,864
8月18日	利息		4,091	普通預金受取利息収入		84,748,955
8月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	84,747,227
8月22日	LCIF	US\$55,000.00	5,610,000	テキサス指定寄付(石巻セントラルLC)		90,357,227
9月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	90,355,499
9月19日	332-D	地区キャビネット口座		D-66 二本松市・除雪機	942,880	89,412,619
9月19日	BK	振込手数料			756	89,411,863
9月19日	332-D	地区キャビネット口座		D-67 飯館村・デジタル地球儀	5,218,000	84,193,863
9月19日	BK	振込手数料			756	84,193,107
9月19日	332-C	地区キャビネット口座		テキサス指定寄付(石巻セントラルLC)	5,610,000	78,583,107
9月19日	BK	振込手数料			756	78,582,351
9月19日	332-C	地区キャビネット口座		C-103 石巻市・森整備/山小屋	7,940,160	70,642,191
9月19日	BK	振込手数料			756	70,641,435
9月19日	332-B	地区キャビネット口座		B-34 みやこ広場・工房&サロン	9,000,000	61,641,435
9月19日	BK	振込手数料			756	61,640,679
9月19日	332-D	地区キャビネット口座		医D-4 甲状腺診断装置1台	9,990,000	51,650,679
9月19日	BK	振込手数料			756	51,649,923
10月17日	332-B	地区キャビネット口座		医B-4 陸前高田広田病院・車	2,205,000	49,444,923
10月17日	BK	振込手数料			756	49,444,167
10月17日	332-B	地区キャビネット口座		医B-5 宮古病院・移送車	8,640,000	40,804,167
10月17日	BK	振込手数料			756	40,803,411
10月17日	332-C	地区キャビネット口座		医B-7 高田病院・車両	1,838,360	38,965,051
10月17日	BK	振込手数料			756	38,964,295
10月17日	332-C	地区キャビネット口座		医C-8 南浜病院X線透視	8,596,800	30,367,495
10月17日	BK	振込手数料			756	30,366,739
10月17日	332-C	地区キャビネット口座		C-107 関上小中校・太鼓	3,500,000	26,866,739
10月17日	BK	振込手数料			756	26,865,983
10月20日	BK	インターネット取引手数料			1,728	26,864,255
10月20日	BK	残高証明発行手数料			540	26,863,715
11月7日	332-C	地区キャビネット口座		C-109 石巻市立桃生中・楽器	531,840	26,331,875
11月7日	BK	振込手数料			756	26,331,119
11月7日	332-B	地区キャビネット口座		B-35 釜石・コピーメンテナンス	1,000,000	25,331,119
11月7日	BK	振込手数料			756	25,330,363
11月7日	332-C	地区キャビネット口座		C-108 石巻・山小屋椅子・テント	1,013,256	24,317,107
11月7日	BK	振込手数料			756	24,316,351
11月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	24,314,623
12月12日	332-C	地区キャビネット口座		C-110 ポップコーン用発電機他	712,692	23,601,931
12月12日	BK	振込手数料			756	23,601,175
12月12日	332-C	地区キャビネット口座		C-112 蔵王自然の家・用具他	2,426,085	21,175,090
12月12日	BK	振込手数料			756	21,174,334
12月12日	332-C	地区キャビネット口座		C-111 朝市マルシェ・工事費	3,000,000	18,174,334
12月12日	BK	振込手数料			756	18,173,578
12月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	18,171,850
12月26日	JLO	連絡事務所一般会計		役員会議旅費(未払金)	360,220	17,811,630
12月26日	BK	振込手数料			324	17,811,306
1月19日	BK	インターネット取引手数料			1,728	17,809,578
2月3日	LCIF	US\$165,709.73	19,885,168	LCIF義捐金振替 \$1=¥102		37,694,746
2月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	37,693,018
2月20日	332-C	地区キャビネット口座		C-113 山元町集会所テント	1,961,280	35,731,738
2月20日	BK	振込手数料			756	35,730,982
2月20日	332-C	地区キャビネット口座		C-114 利府町テント・炊き出し用具	2,039,256	33,691,726
2月20日	BK	振込手数料			756	33,690,970
2月20日	332-C	地区キャビネット口座		C-116 石巻市立中津山第一小・遊具	2,026,595	31,664,375
2月20日	BK	振込手数料			756	31,663,619
2月20日	332-C	地区キャビネット口座		C-117 塩竈市北浜区・テント他	1,031,886	30,631,733
2月20日	BK	振込手数料			756	30,630,977
2月20日	332-C	地区キャビネット口座		C-118 南三陸町・運搬リフト	1,550,000	29,080,977
2月20日	BK	振込手数料			756	29,080,221
2月23日	利息		3,235	普通預金受取利息収入		29,083,456
3月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	29,081,728
3月31日	332-B	地区キャビネット口座		330-Aチャリティコンサート収益(3/30)	3,500,000	25,581,728
3月31日	BK	振込手数料			756	25,580,972
4月17日	332-C	地区キャビネット口座		C-119 利府町・炊き出し用具	460,080	25,120,892
4月17日	BK	振込手数料			756	25,120,136

三菱東京UFJ銀行552-0113156東日本大震災義捐金口座記録

日付	地区名	クラブ名	入金額(円)	摘要	出金額(円)	通帳残高(円)
4月17日	332-C	地区キャビネット口座		C-122 松隈台第一町内会・音響機器	806,328	24,313,808
4月17日	BK	振込手数料			756	24,313,052
4月17日	332-B	地区キャビネット口座		B-36 みやこ広場キッチンカー	5,324,400	18,988,652
4月17日	BK	振込手数料			756	18,987,896
4月20日	BK	インターネット取引手数料			1,728	18,986,168
4月20日	BK	残高証明発行手数料			540	18,985,628
4月28日	LCIF	US\$94,411.76	11,234,999	330-A、テキサス指定献金振替		30,220,627
5月15日	332-B	地区キャビネット口座		330-Aコンサート収益、公式訪問	5,000,000	25,220,627
5月15日	BK	振込手数料			756	25,219,871
5月15日	332-C	地区キャビネット口座		テキサス個人指定寄付	7,735,000	17,484,871
5月15日	BK	振込手数料			756	17,484,115
5月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	17,482,387
5月19日	LCIF	US\$42,016.81	5,000,000	330-A地区指定献金振替		22,482,387
5月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-120 三陸ごさかなネット	1,000,000	21,482,387
5月25日	BK	振込手数料			756	21,481,631
5月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-123 岩沼市・芝刈り機	849,960	20,631,671
5月25日	BK	振込手数料			756	20,630,915
5月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-125 七ヶ浜町・児童図書	868,320	19,762,595
5月25日	BK	振込手数料			756	19,761,839
5月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-126 気仙沼LC文庫	1,999,911	17,761,928
5月25日	BK	振込手数料			756	17,761,172
5月25日	332-B	地区キャビネット口座		B-37 陸前高田市立気仙中・図書	2,442,515	15,318,657
5月25日	BK	振込手数料			756	15,317,901
5月25日	332-B	地区キャビネット口座		B-38 大船渡市立赤崎中・図書	2,467,741	12,850,160
5月25日	BK	振込手数料			756	12,849,404
5月25日	332-B	地区キャビネット口座		B-39 釜石保育園・遊具	1,254,700	11,594,704
5月25日	BK	振込手数料			756	11,593,948
5月25日	332-B	地区キャビネット口座		B-40 山田町立船越小・記念碑	600,000	10,993,948
5月25日	BK	振込手数料			756	10,993,192
6月15日	JLO	連絡事務所一般会計		役員会議旅費(未払金)	376,720	10,616,472
6月15日	BK	振込手数料			324	10,616,148
6月15日	332-C	地区キャビネット口座		C-128 名取市立増田中・楽器	860,000	9,756,148
6月15日	BK	振込手数料			756	9,755,392
6月15日	332-C	地区キャビネット口座		C-121 蒲谷・世界ジャンボリー派遣	1,082,240	8,673,152
6月15日	BK	振込手数料			756	8,672,396
6月15日	332-C	地区キャビネット口座		C-124 南三陸町・心のケア	2,342,920	6,329,476
6月15日	BK	振込手数料			756	6,328,720
6月18日	BK	インターネット取引手数料			1,728	6,326,992
6月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-129 寄らいいん杜産・中古プレハブ	1,000,000	5,326,992
6月25日	BK	振込手数料			756	5,326,236
6月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-127 仙台高砂・テント、防災グッズ	1,105,195	4,221,041
6月25日	BK	振込手数料			756	4,220,285
6月25日	332-C	地区キャビネット口座		C-115 気仙沼イルミネーション	2,000,000	2,220,285
6月25日	BK	振込手数料			756	2,219,529
6月25日	MD332	震災復興支援金口座		ライフジャケット支援	2,218,773	756
6月25日	BK	振込手数料			756	0
6月26日	利息		1,181	普通預金受取利息収入		1,181
6月26日	解約			6/29MD332へATM送金	1,181	0




ライオンズクラブ国際協会
ライオン誌日本語版事務所

2014年度会計報告書(2014. 7~2015. 6)を下記の通り
報告致します。


2015年8月6日

ライオン誌日本語版

委員長

寺越慎一 


編集長

佐藤義則 


下記会計監査の結果適正であることを認めます。

2015年8月7日


330複合地区

阿部英明 


331複合地区

古谷野環 

332複合地区

佐々木賢治 


333複合地区

大竹伸一 


334複合地区

大村行範 


335複合地区

中村房雄 

336複合地区

坂根勝 

337複合地区

浅野貞三 

貸借対照表

2015年6月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部	263,671,966	負 債 の 部	40,064,225
流動資産	(255,912,245)	流動負債	(8,050,806)
現金	26,828	未払金	6,617,269
普通預金	31,093,219	前受金	572,000
定期預金	180,000,000	預り金	861,537
郵便振替貯金	41,006,773		
未収入金	114,925		
貯蔵品	110,007		
頒布品	1,988,567		
前渡金	704,263	固定負債	(32,013,419)
前払費用	661,802	退職給付引当金	32,013,419
立替金	205,861		
仮払金	0		
		正味財産の部	223,607,741
固定資産	(7,759,721)	基金	130,000,000
有形固定資産	(69,301)	資料整備準備金	13,342,234
什器備品	69,301	事務改善等積立金	21,903,461
無形固定資産	(239,200)	為替差損準備金	25,408,786
電話加入権	239,200	未処分収支差額金	
その他の固定資産	(7,451,220)	前期繰越収支差額金	32,853,134
差入保証金	7,451,220	当期収支差額金	100,126
合 計	263,671,966	合 計	263,671,966

財 産 目 録

2015年6月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部

流 動 資 産					(255,912,245)
現 金	期末現金手許有高				26,828
普 通 預 金	㈱みずほ銀行築地支店	口座番号	2137842	4,138,093	
	㈱りそな銀行東京中央支店	口座番号	4755702	26,932,559	
	㈱三菱東京UFJ銀行築地支店	口座番号	0982846	<u>22,567</u>	31,093,219
定 期 預 金	㈱みずほ銀行築地支店	2015.09.14	No. 6673374-50	50,000,000	
	㈱みずほ銀行築地支店	2015.09.14	No. 6673374-51	50,000,000	
	㈱みずほ銀行築地支店	2015.09.17	No. 6673374-54	20,000,000	
	㈱三菱東京UFJ銀行築地支店	2015.08.22	No. 1174324-25	20,000,000	
	㈱三菱東京UFJ銀行築地支店	2015.09.14	No. 1174324-28	20,000,000	
	㈱三菱東京UFJ銀行築地支店	2015.08.26	No. 1174324-29	<u>20,000,000</u>	180,000,000
郵便振替貯金	東京貯金事務センター振替課	口座番号	00140-1-155508		41,006,773
未 収 入 金	特別負担金 新結成クラブ他			13,096	
	頒布品他			<u>101,829</u>	114,925
貯 蔵 品	記念品	ロゴバッジ(2014年8月作成) @ 972 × 55 =		53,460	
		ロゴバッジ(2005年10月作成) @ 991 × 25 =		24,775	
	切手			<u>31,772</u>	110,007
頒 布 品	ライオンズ 文庫 7号(ライオンズよ永遠に)	内 @ 160 × 49 =		7,840	
(内：内部保管)		外 @ 160 × 1438 =		230,080	
(外：外部保管)	ライオンズ 文庫 8号(ウィ・サーブ)	内 @ 210 × 22 =		4,620	
		外 @ 210 × 1941 =		407,610	
	ライオンズ・スクール上級編(リーダーシップを養う)	内 @ 106 × 183 =		19,398	
		外 @ 106 × 1757 =		186,242	
	ライオンズ・スクール初級編(ライオンズクラブ入門)	内 @ 113 × 111 =		12,543	
		外 @ 113 × 2355 =		266,115	
	ライオンズ・スクール中級編(クラブ運営の基礎知識)	内 @ 106 × 170 =		18,020	
		外 @ 106 × 284 =		30,104	
	ライオン誌復刻版	内 @ 56 × 95 =		5,320	
		外 @ 56 × 2229 =		124,824	
	ライオンズ新書01(ライオンズ力をも高める)	内 @ 143 × 93 =		13,299	
		外 @ 143 × 0 =		0	
	ライオンズ新書01(ライオンズ力をも高める)	内 @ 110 × 140 =		15,400	
		外 @ 110 × 4850 =		533,500	
	ライオンズ新書02(LCIF早分かり)	内 @ 154 × 263 =		40,502	
		外 @ 154 × 475 =		<u>73,150</u>	1,988,567
前 渡 金	ANA他 職員3名ホノルル国際大会航空券等				704,263
前 払 費 用	㈱細田協佑社 7月分借室料			511,980	
	坂入高雄 2015.7~8月 法律顧問料			64,800	
	長谷部繁 2015.7~8月 会計顧問料			64,800	
	GoToMeeting 2015.7~12月			<u>20,222</u>	661,802
立 替 金	7月号送料他			205,861	205,861

固定資産		(7,759,721)
有形固定資産	モシユラス一式、パーティション等16点	69,301
電話加入権	3542-9571~3, 3542-9608, 3546-2630	239,200
差入保証金	㈱細田協佑社 敷金	1,462,800
差入保証金	日本ライオンズ連絡事務所 敷金	5,988,420
資産の部合計		263,671,966
負債の部		
流動負債		(8,050,806)
未払金	7月号印刷代他 (凸版印刷)	2,955,331
	7月号発送事務費他 (宛名商会)	713,351
	7月号発送事務費 (障害者支援情報センター)	334,200
	7月号クラブ発送送料他 (佐川急便)	520,452
	7月号掲載記念品 (クッキー工房マミー)	15,640
	事務所メール送料他 (ヤマト運輸)	28,397
	6/21-30給料	705,405
	6月分社会保険料 (事業主負担分)	736,270
	4~6月分労働保険料 (事業主負担分)	146,534
	5月分通信費 (電話/ソフトバンクテレコムパートナーズ)	12,792
	6月分事務用品費他 (ｼﾞｬｽﾄ)	66,760
	VISAカード (出張旅費他)	167,337
	2013.7~6月分消費税及び地方消費税(京橋税務署)	214,800
前受金	2015.8~6月号有料誌代	6,617,269
預り金	6月分社会保険料 (職員預り金)	572,000
	6月分源泉税 (小川他)	730,238
	6月分振込手数料預り金	34,305
	解散クラブ精算額他	7,128
		89,866
固定負債		(32,013,419)
退職給付引当金		32,013,419
負債の部合計		40,064,225
差引正味財産		223,607,741

収 支 計 算 書

自2014. 7. 1 至2015. 6. 30

(単位：円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
項 目				項 目			
直接出版費	64,285,000	64,511,700	△ 226,700	購読料収入	116,280,000	120,521,221	△ 4,241,221
印刷費	34,800,000	34,611,148	188,852	国際協会補助金	59,280,000	62,935,721	△ 3,655,721
発送事務費	14,400,000	14,048,087	351,913	特別負担金	57,000,000	57,585,500	△ 585,500
旅費交通費	5,500,000	6,563,691	△ 1,063,691	広告料収入	3,000,000	2,509,704	490,296
編集関係諸費	500,000	297,901	202,099	その他収入	4,865,000	3,502,032	1,362,968
原稿料・編集費	9,000,000	6,133,216	2,866,784	頒布品収支差額	3,000,000	1,686,219	1,313,781
広告関係諸費	85,000	5,573	79,427	受取利息	65,000	61,307	3,693
増刊号印刷・発行		2,852,084	△ 2,852,084	雑収入	1,800,000	1,754,506	45,494
員会費	5,125,000	4,647,206	477,794	特別収入	871,200	1,242,720	△ 371,520
旅費交通費	5,000,000	4,327,610	672,390	事務改善等積立金 取崩高	871,200	1,242,720	△ 371,520
会議費	100,000	22,680	77,320	為替差損準備金 取崩高	0	0	0
雑費	25,000	296,916	△ 271,916	収入合計	125,016,200	127,775,677	△ 2,759,477
事務所移転関連費		177,880	△ 177,880				
東日本大震災被災者クラブ特別費	720,000	713,840	6,160				
事務費	54,886,200	57,624,925	△ 2,738,725				
人件費	31,500,000	31,133,103	366,897				
福利厚生費	5,100,000	5,135,453	△ 35,453				
旅費交通費	1,400,000	1,183,140	216,860				
通信費	1,600,000	1,463,390	136,610				
備品費	150,000	222,410	△ 72,410				
事務用品費	600,000	815,104	△ 215,104				
図書費	20,000	18,330	1,670				
消耗品費	20,000	22,702	△ 2,702				
IT関連費	2,151,200	2,250,072	△ 98,872				
顧問料	777,600	777,600	0				
支払手数料	80,000	62,106	17,894				
保守・修繕費	0	0	0				
借室料	7,900,000	7,899,120	880				
水道光熱料	150,000	155,124	△ 5,124				
租税公課	400,000	227,245	172,755				
減価償却費	50,000	46,850	3,150				
退職給付費用	2,500,000	5,759,259	△ 3,259,259				
雑費	487,400	453,917	33,483				
固定資産廃棄損	0	0	0				
支出合計	125,016,200	127,675,551	△ 2,659,351				
当期収支差額金	0	100,126	△ 100,126				
合計	125,016,200	127,775,677	△ 2,759,477	合計	125,016,200	127,775,677	△ 2,759,477

頒布品収支計算書

自2014. 7. 1 至2015. 6. 30

(単位：円)

前期繰越棚卸高	1,539,602	当期収入額	3,015,813
当期仕入高	1,458,546		
小計	2,998,148		
他勘定振替	6,476		
次期繰越棚卸高	1,988,567		
当期頒布品原価	1,003,105		
頒布品送料	320,013		
頒布促進費	5,832		
頒布品廃棄損	644		
頒布品収支差額	1,686,219		
合計	3,015,813	合計	3,015,813

退職給付引当金内訳書

自2014. 7. 1 至2015. 6. 30

(単位：円)

当期引当金戻入額	0	前期末残高	27,394,160
当期末残高	32,013,419	当期引当金繰入額	4,619,259
合計	32,013,419	合計	32,013,419

退職給付費用内訳書

自2014. 7. 1 至2015. 6. 30

(単位：円)

退職給付引当金繰入額	4,619,259
特定退職年金掛金拠出額	1,140,000
合計	5,759,259